経済攻究会

第一回報告～第七回報告

大正十二年二月

同　十五年二月

史料目録No.219

調査資料
その他(国内)

73420

田中鉄三郎氏関係資料

旧番号
い24(299)

金融史資料	
分類記号	IAx
整理番号	22(299)
資料名	田中鉄三郎氏所蔵資料
保管容器	ロ107

研30009

通貨、金融史料	
分類	I Ba ヒソ
整理番号	い24 299
受入番号	い3482
名称	田中鐵三郎氏所蔵史料
備考	

73420

経済攻究会　第一回報告―第七回報告

史料目録No.219

經濟攻究會第一回報告

大正十二年二月

（印刷ヲ以テ謄寫ニ代フ）

稅制整理案

經濟攻究會

當經濟攻究會ニ於テ議決シタル稅制整理案ヲ發表スルニ臨ミ聊カ本會ノ性質ヲ說明セントス本會ハ政治的集團ニアラス又所謂社交俱樂部ニモアラス唯民間志ヲ同ウセルモノ相會合シテ經濟上ノ時事問題ニ就キ其ノ知識ヲ交換シ議論ヲ上下シテ互ニ相資益スルヲ以テ目的トスト雖モ苟モ事ノ實行又ハ釐革ヲ要スルモノハ或ハ之ヲ當局ニ建策シ或ハ之ヲ公表シテ世論ヲ促起シ以テ其ノ成案ヲ空シクセサランコトヲ期ス此ノ趣旨ニヨリ大正十一年七月其ノ第一回ヲ開キタルニ會者ハ現在我國民ノ負擔カ其ノ實力ニ比シ過重ナルコトヲ認メ之カ輕減ヲ謀ルノ必要ヲ看取シ其ノ第一着步トシテ現行稅制ノ整理改廢ヲ講究スヘキコトニ衆議一決シタリ爾來屢次會合シテ考究審議ヲ重ネ玆ニ案ヲ具シテ世上ニ發表スルノ機會ニ到達シタリ勿論世上稅制ノ調査ニ從事セルモノ其ノ例ニ乏シカラス殊ニ政府ハ財政經濟調査會ヲ起シ其ノ內ヨリ稅制整理調査委員ヲ選任シ朝野間ヨリ簡拔セル幾多ノ名士ト極メテ豐富ナル材料トニヨリ調査既ニ完了シテ世上ニ公表セラレタリト雖モ該案ハ租稅ノ總額ヲ減縮セサルコトヲ前提トシテ整理ヲ企劃シタルモノノ如シ是ハ本會ノ慊焉タル所ニシテ本會ノ目標ハ專ラ國民ノ負擔ヲ輕減シ併セテ其ノ不公正ヲ矯正スル爲ニ整理ヲ行ハントスルニ在リ

思フニ現下國民ノ負荷過重ナルコトハ實ニ民衆ノ肺腑ヨリ放溢スル公言ニシテ復タ多辯ヲ費ヤスノ要ヲ見ス歐洲大戰以來徵税ノ增額異常ナルハ時勢ノ推移ニモ基クヘシト雖モ其ノ主因ハ物價ノ昂騰ト軍備擴張計畫ニ伴フ政費ノ膨脹ニ在リ但シ歐洲戰亂中ハ我財界一時殷賑ヲ呈シ負擔ノ增進ニ對シ相當ノ彈力ヲ有シタリト雖モ戰後ノ反動時期ニ入リタル今日ニ於テハ都市ノ商工業不振ニ沈ムト同時ニ地方農村亦荒廢ヲ極メ且物價依然低下セサルカ爲ニ中下層ヲ通シ生活上ノ脅威ヲ受ケツツアルモノ數フルニ勝フヘカラス而モ前日ト同一ノ負擔ヲ爲スコトハ民力ノ堪ヘ得ル所ニアラス況ンヤ近年地方財政ノ膨脹ハ中央政費ニ平行否夫レ以上ニ急激ニシテ之カ轉嫁ヲ受クルニ於テヲヤ抑國民ノ納税義務ハ法律ノ定ムル所ニ從フノ外生セサルコトハ帝國憲法ノ明示スル所ナルニ拘ハラス府縣制及市町村制ニ據リ地方税ノ變更ヲ勅令ニ委任シタル結果地方當局ハ其ノ放漫ナル財政計畫ヲ遂行スル爲ニ縦ニ地方税ヲ增徵スルニ至レルハ是レ憲法ノ精神ヲ無視スルモノニシテ國民ハ不法ノ誅求ニ苦シメリト稱スルヲ憚カラス

之カ救治ノ方途トシテハ物價ノ低落ヲ講スルコト亦一策ナリト雖モ其ノ效果ノ最モ速ナルハ公租公課ヲ輕減スルニ優レルモノナシ幸ナル哉華盛頓會議ハ軍備縮小ノ協約ヲ成立セシメタルヲ以テ此ノ機ヲ逸セス中央政府及地方政廳共ニ政費ニ大斧鉞ヲ加ヘ不急事業ヲ停止シ其ノ他總テ緊縮節約シテ之ヲ賦課ノ削減ニ充當シ以テ民力ヲ休養シ財界ノ根柢ヲ固クスルコトヲ圖ラハ猶ホ時ニ及フヘキナリ然ルニ最近發表セラレタル歳計豫算並ニ諸施設計畫ヲ覽ルニ手ヲ減税ニ觸レサルニアラス口ニ行政整理ヲ叫ヘリト雖モ而モ頗ル微溫的姑息的ニシテ猶ホ已ムニ愈ルト謂フヘキ程度ヲ超エス又地方ニ對シテハ財政ノ膨脹ヲ戒ムル爲ニ一片ノ訓示ヲ發スルニ過キス是レ本會ノ甚タ失望スル所ナリ

本會ハ軍備ヲ始トシ諸般國費及地方費ノ節約ヲ加フヘキ餘地猶ホ甚大ナルヲ確信シ之ニ關シテハ更ニ調査ヲ遂ケ具體案ヲ作成セントス從テ國民ノ納税負擔モ大ニ輕減シ得ヘキヲ認メ之ヲ基準トシテ直税ト間税トヲ問ハス又國税ト地方税トヲ論セス總テ制度ニ缺陷アリ徵收ニ公正ヲ失ヘルモノニ對シ加除修正ヲ試ミントスルモノニシテ今後調査研究ノ結果或ハ多少補正スル所アルヘシト雖モ大體今日マテニ決定セル改正案ノ綱領次ノ如シ

一　所得税ハ之ヲ輕減シ且不公正ヲ整理スルコト

現行所得税ハ負擔ノ公正均衡ヲ缺キ且税率過重ニシテ納税者ノ生活ヲ壓迫シ企業心ヲ沮喪セシメ却テ脱税ノ弊ヲ助長スルノミナラス課税方法煩雜ナルカ爲ニ税法ノ理解ヲ困難ナラシメ徵税ト多クノ手數ト費用ヲ要ス故ニ是等弊害ヲ矯正センカ爲ニ左記ノ改正ヲ行ハントス

甲、第三種所得ニ綜合セル株式配當金ヲ第二種所得ニ移シ其ノ税率ヲ百分ノ三トスルコト

（理由）株式配當金ヲ第三種所得ニ綜合スルコトハ理法上或ハ適當ナルベキモ實際上非常ノ手數ヲ要シ常ニ紛爭ト脱税

トヲ誘致スベシ今ヤ政府ハ資産家ノ慣用スル所謂保全會社ニ對シ法規ヲ以テ脱税ヲ防止スルノ計畫ヲ立テタルモ他ニ脱税ヲ爲スベキ手段乏シカラザルヲ以テ寧ロ第二種所得ニ移シ絶對ニ脱税ヲ防止スルニ如カズ加之公債社債等ヲ源泉課税法ニ據リ單獨ニ課税シナガラ同一性質ノ配當金ニ對シ別途ノ取扱ヲ爲スハ不公正ノ嫌アリ是レ以上ノ如ク改正セントスル所以ナリ而シテ税率ヲ百分ノ三ト定メタルハ次項公債社債利子ト均衡ヲ保タシメ且減税ヲ加味シタルモノナリ但シ現行法ニテハ配當ハ其ノ十分ノ六ヲ所得トスルガ故ニ右百分ノ三ハ現行法ノ下ニ於テ百分ノ五ノ税率ヲ配當金ニ對シ均分ニ賦課スルト同一ノ結果トナルヲ以テ甚シキ減收ヲ來サザルヲ信ズ

乙、第二種所得ナル公債社債利子預金利子ノ税率ヲ均等ニ百分ノ三トスルコト

（理由）同一性質ノモノニ對シ其ノ税率ヲ區別スルハ公平ヲ缺クヲ以テ總テ同率トシ且之ヲ百分ノ三ニ輕減セントス

丙、貯蓄預金以外ノ銀行預金利子及信託預金利子ヲ第二種所得ニ移シ當座預金利子ハ免税トスルコト

（理由）定期預金利子ニ限リ源泉課税トシ同一性質ノ銀行預金及信託預金ノ利子ヲ除外スルハ不合理ナルヲ以テ總テ之ヲ同一ニシ同率ノ賦課ヲ爲サントス但シ當座預金ハ其ノ性質ヲ異ニシ概ネ商業資金ニシテ出入移動常ナク無利子又ハ極メテ低利ナルヲ本則トスルヲ以テ之ヲ免税スルヲ可トス

丁、國債利子ニ課税シ税率ヲ百分ノ三トスルコト

（理由）國債利子ヲ免税セルハ國債ノ市價ヲ維持スルノ意志ニ出ヅト雖モ國債ニ對シテハ別ニ種々ノ特典アリ地方債及社債利子ニ課税シナガラ國債ヲ除外スルハ不公正ニシテ此ヲ以テ彼ヲ壓迫スルモノナリ國債モ亦同率ノ賦課ヲ爲スヲ至當トス

戊、法人ノ總益金中第二種ノ所得アルトキハ之ヲ總所得ヨリ除算スルコト

（理由）個人ノ所得中第二種所得アル時ハ之ヲ其ノ所得ヨリ除算セルニ拘ハラズ法人ニ之ヲ許サザルハ不合理ニシテ明ニ二重課税ヲ爲スモノナリ本件ニ關シテハ法律ニ明文ナシ明文ナキノ故ヲ以テ當局者ハ之ヲ綜合スルモノノ如シ故ニ除算スルコトヲ法文中ニ明記セシメントス又第一項ニヨリ株式配當金ヲ第二種所得ニ移ス上ハ法人ノ所有スル株式ノ配當金ハ是亦總益金中ヨリ除算スベキコト勿論ナリ

己、法人ノ留保所得ノ税率ハ左ノ如ク差等ヲ設クルコト

A、法定積立金、社員恩給基金、退職手當基金其他之ニ類スル積立金　百分ノ三

B、其他ノ積立金　百分ノ五

但シ所得税法第二十一條第二項ノ留保所得ニ對スル累進税率ハ其ノ事業年度ニ於ケル留保所得中ノBニノミ之ヲ適用スルコト

（理由）法定積立金ハ會社ノ基礎ヲ鞏固ニスルノ趣旨ニ依リ法規ノ命ズル所ニ從ヒ積立ツルモノ又恩給及退職手當基金等ハ社員ノ幸福ノ爲ニスルモノニシテ共ニ普通ノ剩餘積立金ト性質ヲ異ニスルヲ以テ之ヲ保護シ税率ヲ低クスルヲ適當トス

庚、第三種所得中ヨリ負債ノ利子ヲ控除スルコト但シ納税者ハ成規ノ證明書ヲ添付シテ申告スルヲ要ス

（理由）負債ニ對スル利子ヲ所得中ヨリ控除スベキハ當然ニシテ外國ニ於テ多ク實行スル所ナリ我税法ニテハ法人所得ハ經費ヲ控除スルガ故ニ利息モ其ノ中ニ包含セラルト雖モ個人ニ對シテハ然ラズ改正ノ要アルヲ認ム

辛、第三種所得中ヨリ所得税以外ノ公課ヲ控除スルコト但シ公課ハ前年度ノ金額ニ據ルコト

（理由） 現今地租及其ノ附加税ハ經費トシテ土地ノ所得ヨリ控除スレドモ其ノ他ノ公課ハ多ク所得ヨリ控除セラレズ公課ノ經費タルハ言ヲ俟タザル所ナレバ外國ノ例ニ倣ヒ公課ノ實額ヲ所得額ヨリ控除スベシ但シ所得税ハ控除ノ限リニアラズ

壬、第三種所得ノ免税點ヲ引上ケ千五百圓未滿トスルコト

（理由） 所得税法ニ社會政策ヲ加味シ富豪ニ厚クシ中產以下ニ薄クセルノ精神ハ之ヲ多トスト雖モ現行ノ免税點八百圓未滿ハ表面上ノ計數ノミ引上ゲラレタルモノニシテ今日ノ物價及生計費ノ實情ヨリ見レバ却テ低下セラレタルノ嫌アリ故ニ前記ノ意志ヲ徹底セントセバ少クトモ如上ノ程度ニマデ引上ゲンコトヲ痛切ニ感ズルモノナリ

二　地租ハ之ヲ市町村税ニ委讓スルコト

現行地租ノ最大缺點ハ多年同一ノ法定地價ヲ標準トセル爲ニ收入ニ屈伸ナク且法定地價ト時價トノ懸隔甚タシク而モ其ノ懸隔ハ地方ニヨリ大ニ異ル爲ニ負擔ノ公正ヲ缺クニ在リ縱令地價、賃貸價格、收益ノ孰レヲ標準トスルモ全國共通ノ土地臺帳ナク又全國ニ亘リテ完全ナル土地ノ實測スラ行ハレタルコトナキ我國ノ現狀ニ於テ公正ナル標準ヲ定メ且絕エズ之ヲ實際ニ適合セシメ全國ヲ通ジテ統一的ニ課税ヲ行フコトハ殆ド不可能ナリ然ルニ土地ガ地方税ノ主要物件タルベキコトハ純理ヨリ觀ルモ各國ノ實驗ニ徵スルモ明瞭ナル所ナレバ何レノ點ヨリ論ズルモ地租ヲ國税ニ存置スルハ不適當ニシテ地方ニ委讓スルヲ至當ト認ム而シテ課税標準ヲ實際ニ適合セシメ常ニ負擔ノ均衡ヲ保タシメントスルニハ自治ノ最小單位ニシテ情況ノ變化ニ應ジ容易ニ其ノ標準ヲ變更シ得ル市町村ニ地租ヲ委讓スルヲ可トシ且地方税ノ整理自治ノ發達ヲ期スル爲ニモ亦地租ノ如キ有力ナル確定財源ヲ市町村ニ賦與スルハ適當ノ方法ナルヘシ

右ノ如ク地租ヲ市町村税ニ委讓スルニ付テハ負擔ノ公平ヲ期シ併セテ小所得者ヲ保護スル爲ニ税制上左ノ規定ヲ設クルノ必要アリト認ム

甲、地租ハ土地ノ賃貸價格ヲ標準トシテ税率ヲ定ムルコト

（理由） 既記ノ如ク法定地價ト時價トノ間ニハ常ニ著シキ懸隔アリ又土地ノ種類ニ從ヒ税率ヲ異ニスルトモ到底實情ニ適切ナル能ハズ故ニ之ヲ改正シテ土地ノ賃貸價格ヲ標準トセバ最モ公平ニ近ヅクヲ得ベシ

乙、市町村ハ其ノ管轄內ニ於ケル田畑所有者ニ對シ賃貸價格年額百五十圓ヲ下ラサル限度ニ於テ必ス免税點ヲ設クルコト

（理由） 租税ノ何種タルヲ問ハズ負擔力ノ薄弱ナル者ニ對シ免税點ヲ設クルハ租税論ノ要點ナルヲ以テ地租ニモ同一ノ適用ヲ爲スベシ現今農村ノ荒廢甚シキ實情ノ下ニ於テハ小地主ヲ保護スル爲ニ市町村ヲシテ之ヲ勵行セシムルヲ以テ機宜ニ適スルモノトス免税點ハ市町村ノ財政狀態ニ應ジ之ヲ定ムベキモ餘リ低下セシメザラシムル爲ニ之ガ限度ヲ設ケタリ

三　國税營業税ハ之ヲ全廢スルコト

近來商工業者ノ營業税ヲ全廢セヨトノ聲ハ日ニ大ヲ加ヘツツアリ其ノ理由ハ世人ニ周知セラレ

蛇足ヲ添フルノ要ナシト雖モ其ノ大要ヲ摘示スレハ我國ノ營業稅ハ日清戰後ニ於テ軍備擴張ノ財源ヲ補塡スル爲ニ一時ノ權宜トシテ創設セラレタルモノニシテ永久ニ存續スヘキモノニアラス元來營業稅ハ其ノ根源ニ於テ意義薄弱ニシテ之ヲ收益稅トシテ見ルトキハ所得稅ト全然重複シ且徵稅方法ニ關シテハ如何ニ工夫ヲ凝スモ多種ノ商工業者ニ對シ正確公平ヲ期スルコト至難ニシテ之カ爲ニ苦情百出シ實施後二十餘年ヲ經過スルモ惡稅ヲ訴フルコト愈甚シキハ誠ニ偶然ニアラス殊ニ近來我商工業ハ概ネ不振ヲ呈シ營業稅ノ負擔ノ爲ニ營業ノ存立ヲ危クセルモノ頻頻タル實情ニ在リテ産業ノ發達之カ爲ニ阻害セラルルノ虞アリ故ニ營業稅ハ歷史ヨリ言フモ純理ヨリ言フモ將又經濟上ノ政策ヨリ推論スルモ國稅トシテ存置スヘキモノニアラス斷然全廢スルヲ以テ機宜ニ適スルモノトス

四　酒稅ヲ改正スルコト

酒造稅酒精及酒精含有飮料稅並ニ麥酒稅ニ於テ總額二割方引上クル程度ノ增稅ヲ爲スコト

（理由）所得稅ノ輕減營業稅ノ全廢地租ノ地方委讓ニヨル國稅ノ減收ハ國費ノ削減ヲ以テ之ニ對應スヘシト雖モ全然補塡ヲ爲サザルハ餘リ難キヲ責ムルモノナリ而シテ酒稅ノ如キハ猶ホ增徵ノ餘地アリト認ムルヲ以テ次節ニ列記スル新稅ト共ニ一部補塡ノ用ニ供セント欲ス酒造稅ハ屢變革ヲ經テ著シク增率セラレタルガ如シト雖モ現今清酒ノ賣價ヲ見レバ稅金ハ僅ニ其ノ一割五分前後ニ當リ其ノ他モ概ネ之ニ準ズルヲ以テ品種ニヨリ斟酌シ大體前記程度ノ增課ヲ爲スモ決シテ過重ニアラザルヲ信ズ

五　新設スヘキ國稅

甲、日本銀行收益稅

日本銀行ニ收益稅ヲ賦課スルコト

（理由）現制ニ於テハ日本銀行ニ對シ兌換券發行稅ヲ賦課スト雖モ該稅ハ收入不同ニシテ時トシテ極メテ少額ナルコトアリテ稅源トスルニ適セザルノミナラズ日本銀行ニ賦與スル特權上ノ賦課トシテハ餘リニ輕少ナリ抑モ中央銀行ハ一國ノ金融ヲ支配スル樞要機關トシテ特別ノ恩典ヲ有スルヲ以テ是ヨリ生ズル莫大ノ利益ハ株主ノ獨占ニ歸セシメズ國家ニ對シテモ相當ノ報償金ヲ納付セシムベシ歐洲諸國ノ實例ニ於テハ其ノ資源ヲ收益ニ求ムルモノ多シ故ニ發行稅ヲ廢止シ之ニ代フルニ收益稅ヲ以テスルハ理論上實益上共ニ宜シキニ適ス

乙、法人稅

商行爲ヲ營ム法人ノ拂込資本金各種積立金繰越金未配當利益金ノ合計額カ一年平均五萬圓ヲ超過スルモノニ對シ右合計金額一千圓ニ對シ三圓ノ割合ヲ以テ法人稅ヲ徵收スルコト

（理由）本稅モ亦一部補塡ノ爲ニ創設スルモノニシテ元來法人ノ所得稅ハ收支ヲ決算シタル剩餘ニ課稅シ又累進率ノ適用ヲ受ケザルヲ以テ負擔ハ比較的輕度ト稱スベク又法人ハ營業稅ヲ全廢スル曉更ニ一層ノ餘裕ヲ生ズベシト信ズ是レ法人稅ヲ特設スル所以ナリ

丙、消費稅

左記物品ノ製造者、生産者、輸入者ニ依テ販賣セラルル物品ハ其ノ賣價ニ對シ各左記ノ率ニ相當スル消費税ヲ徴收スヘシ

A、絹物ハ其ノ材料ノ純粹絹絲タルト人造絹絲タルトヲ問ハス賣價ノ二割、綿絲又ハ毛絲ヲ交フルモノハ一割五分

B、化粧品ハ賣價ノ二割(香料ヲ用ヒサル石鹼ハ化粧品ト看做サス)

C、清凉飲料水ハ賣價ノ五分

(理由) 奢侈ヲ抑制シテ節約ヲ奬勵スルハ緊要ナル國策ナリト雖モ絕對ニ奢侈ヲ禁止スルハ困難ナルノミナラズ奢侈ハ各人ノ身分及貧富ニヨリ測度ヲ異ニスルガ故ニ之ヲ利用シテ奢侈品ニ課税スルトキハ分ニ過ギタル者ヲ戒飭スルト同時ニ餘裕アル者ニハ國費ヲ分擔セシムベキ一擧兩得ノ策タルヲ疑ハズ但シ奢侈品トシテ目スベキ種類ニ屬スルモ徴税上ノ手數査定煩雜ニシテ收入ノ之ニ伴ハザルモノハ已ヲ得ズ之ヲ除外シ玆ニ前記三品種ヲ選ビ各消費税ヲ起スコトトシタリ而シテ絹布消費税ノ新設ト共ニ從來ノ織物消費税ハ之ヲ廢止セントス

六 國税中廢止スヘキモノ

兌換券發行税、通行税、織物消費税、醬油造石税、石油消費税、賣藥營業税、賣藥印紙税ハ之ヲ廢止スルコト

(理由) 兌換券發行税ノ廢止ニ關シテハ既記ノ如シ通行税モ亦惡税ト呼バルルモノノ一ニシテ通行ニ課税スト云フコトハ無意義ナルノミナラズ負擔モ亦均衡ヲ缺キ早晚全廢セラルベキ運命ヲ有セリ織物消費税モ絹布ニ對スル消費税ヲ新設スル代リニ木綿類毛織類ノ如キ生活必要品ニマデ課税スル現税法ヲ廢セントス其ノ他醬油造石税、石油消費税ノ如キ日常必要品又ハ工業用品ニ賦課シ而モ税源トシテ見ルニ足ラザルモノハ之ヲ全廢スルニ如カズ賣藥營業税ハ國税營業税ノ廢止ニ均霑スベク若シ必要アラバ府縣税營業税ノ中ニ加フルヲ相當トスベシ最後ニ賣藥ハ下層階級ニ對シテハ醫師ノ投藥ニ代ルベキモノナルニ印紙税ヲ以テ價格ヲ高クスルハ苛酷ナルノミナラズ藥品ニハ無税ニシテ賣藥ニ課税スルハ公正ヲ失フヲ以テ廢止税目中ニ加フベキモノトス

七 地方税中整理スヘキモノ

國税ト共ニ地方税負擔ノ輕減均衡ヲ圖ルコトノ急務ナルハ前記ノ如シ殊ニ地租ヲ地方ニ委讓シ營業税ヲ全廢スルニ就テハ之ニ伴ヒテ地方税制上新設改廢又ハ適當ナル修正ヲ施ササル可ラス今其ノ中ノ重ナルモノヲ提案スルコト左ノ如シ

甲、地方税ノ種類賦課並ニ徴收方法ニ關シ適當ナル法律ヲ制定スルコト

(理由) 前ニ指斥セルガ如ク納税義務ニ關シテハ憲法ニ明文アルニ拘ハラズ地方税ノ制定ヲ勅令ノ規定ニ委任シタル結果各地方税制ノ不統一其ノ極ニ達シ其ノ徴收亦殆ド無紀律ニ流レ底止スル所ヲ知ラズ此ノ弊害ヲ救治シ其ノ嚴正公平ヲ確保スル爲ニ適當ナル法律ヲ定ムルコト特ニ緊要ナルヲ感ズ

尙ホ將來漸次附加税主義ヲ撤廢シ事情已ヲ得ズ之ヲ賦課スル場合ニハ其ノ制限ヲ設ケ府縣ト市町村ト二重賦課ヲ爲スコト無カラシメント欲ス

乙、道府縣税戶數割及之ト並立スル家屋税ヲ全廢スルコト

(理由) 戶數割又ハ家屋税ハ地方税中ノ惡税ト稱セラルルモノニシテ其ノ大部分ハ認定ニヨリ徴收セラレ最モ不公平ニ

シテ弊害百出スルガ故ニ之ヲ全廢スルヲ至當トス

之ト同時ニ道府縣雜種税中ニハ惡税ト認ムベキモノ頗ル多キヲ以テ十分ニ之ヲ整理スルノ要アリ

丙、地租附加税戸數割又ハ家屋税ヲ失フニ因ル府縣税ノ減收ニ對スル補塡方法トシテ市町村ノ所得税附加税ヲ道府縣税中ノ同税ニ委讓併合シ税率ヲ本税ノ二割五分マテ引上ルヲ認ムルコト

（理由）既記ノ如ク府縣ノ經費節約ノ餘地頗ル大ナリ且地方自治ノ發達ヲ期スル爲ニ今後府縣ニ屬スル事業中漸次市町村ニ移管セシムベキモノ多カルベク其ノ內警察衞生勸業事務ノ如キハ直ニ之ヲ實行シ得ベキヲ以テ減收ノ全部ヲ補塡スルヲ要セズ但シ現狀ニ於テハ土木又ハ敎育等猶ホ府縣ノ經營スベキ事業ニ對スル財源ヲ要求スルヲ以テ右ノ如キ方法ニヨリ一部補塡ノ用ニ充テントス

丁、道府縣税中自動車税ヲ統一スル爲ニ大體ノ標準ヲ設定シテ之ニ據リ實行セシムルコト

自動車及自動自轉車ハ其ノ所有者ニ對シ毎年左記ノ税額ヲ賦課ス

自家用自動車	一馬力ニ付年額二十圓
乘客運輸用自動車	一馬力ニ付年額十圓
貨物自動車	自重千キログラムニ付年額百圓 附隨車ハ一輛ニ付五十圓ヲ増ス
農業用トラクター	自重千キログラムニ付年額五十圓
自動自轉車	一馬力ニ付年額五十圓 附隨車ハ二十圓ヲ増ス

（理由）自動車ノ使用ハ文化ノ進歩ニ從ヒ奢侈ヨリ漸次實用ニ赴クベシト雖モ元來自動車ハ道路ヲ破壞シ修復ニ費用ヲ要スルコト常ナルヲ以テ相當ノ負荷ヲ爲サシムベシ外國ノ實例ハ概ネ自動車税ヲ以テ國税ト爲セリ我國ニ於テモ將來道路ノ完成ト自動車ノ普及ト相待テ汽車及電車ニ匹敵スベキ氣運ヲ有スト雖モ現下車輛數尙ホ少ク走驅區域モ局限セラレツツアル情況ノ下ニ於テハ姑ク之ヲ地方税ニ委シ其ノ收入ヲ以テ道路費ノ一部ニ充用スルヲ以テ適當トスベシ然レドモ地方ニヨリ平衡ヲ失フ時ハ負擔ノ輕キ處ニ所屬スルノ傾向ヲ生シ又ハ税率過重ニシテ其ノ發達ヲ阻止スルガ如キコト無キヲ保セズ是レ大體ノ標準ヲ作リ之ニ據ラシメントスル所以ナリ而シテ其ノ奢侈ニ屬スルモノト專ラ實用ニ便スルモノトハ差別ヲ置クノ要アリ馬力並ニ自重ヲ以テ標準トシタルハ概ネ道路破壞力ニ比例スルガ故ニシテ他國ノ實例ヲ參酌シタルモノナリ

戊、市町村税トシテ新ニ賃貸價格ヲ標準トスル家屋税ノ設定ヲ認ムルコト

（理由）市町村ノ經費モ亦緊縮ノ餘地大ナリト雖モ前記ノ如ク府縣事業ノ移管セラルルアリ而シテ戸數割及家屋税ノ附加税ヲ失フコトニヨル減收ハ地租ノ委讓ノミニテハ恐ラク補塡シ難キヲ以テ賃貸價格ヲ標準トスル家屋税ヲ起スガ如キハ之ヲ認ムルモ可ナリ

己、市町村税トシテ間地税及土地增價税ノ創設ヲ認ムルコト

（理由）間地税及土地增價税ノ地方税トシテ適良ナルコトハ世既ニ定論アリ是亦負擔ノ餘力アル方面ヨリ徵收スルモノニシテ何ガ故ニ今日マデ之ヲ實行セザリシカヲ怪シムモノナリ市町村ノ減收ヲ補塡スルノ意義ニ於テ此ノ二税ヲ新設セントス

附記　以上ハ本會ニ於ケル出席會員ノ多數ヲ以テ議決セル所ヲ集錄シタルモノトス但シ會員中ニハ會議ニ時々缺席シタルモノアリ又或項目ニ對シテハ別個ノ意見ヲ有スルモノ無シトセズ覽者ノ之ヲ諒トセラレンコトヲ請フ

（參考）

稅制整理ニ依ル歲入增減概算

一　國稅

減	收	增	收
所得稅	30,000,000円	酒造稅及酒精含有飲料稅麥酒稅	36,000,000円
地租委讓	74,000,000	日本銀行收益稅新設	4,000,000
營業稅廢止	57,000,000	法人稅同	30,000,000
織物消費稅同	42,000,000	絹布稅同	28,000,000
通行稅同	9,000,000	化粧品稅同	9,000,000
賣藥印紙稅同	8,000,000	清涼飲料水稅同	1,000,000
賣藥營業稅同	300,000		
醬油造石稅同	5,500,000		
石油消費稅同	880,000		
計	226,680,000	計	108,000,000

差引減收　一一八,六八〇,〇〇〇

二　府縣稅

減	收	增	收
地租附加稅消滅	76,000,000円	所得稅附加稅	25,000,000円
戶數割廢止	46,000,000		
家屋稅同	8,000,000		
計	130,000,000		

差引減收　一〇五,〇〇〇,〇〇〇

三　市町村稅

減	收	增收
所得稅委讓	18,000,000円	地租委讓、家屋稅、間地稅、及土地增價稅新設ニ基ク增收ニ依リ上記ノ減收ヲ補塡シ更ニ將來增加スベキ事業費ニ充當スルモノトス
戶數割附加稅消滅	16,000,000	
地租附加稅同	43,000,000	
家屋稅附加稅同	20,000,000	
計	97,000,000	

（備考）國稅營業稅全廢ノ結果府縣及市町村ハ營業稅附加稅ヲ失フベシト雖モ地方稅制限ニ關スル法律第二條ノ制限（北海道、府縣其他ノ公共團體ハ左ノ制限內ノ營業稅附加稅ヲ課スルノ外營業ニ對シ課稅スルコトヲ得ズ一北海道府縣……營業稅百分ノ二十九、二其他ノ公共團體……營業稅百分ノ四十七）モ亦解除セラルヽヲ以テ當然府縣營業稅ノ範圍ヲ擴張シテ之ヲ補塡スベク又市町村ノ府縣營業稅附加稅モ增加スルコトナルベシ故ニ右增減表中ニハ之ヲ計上セズ

經濟攻究會々員（イロハ順）

池田成彬
石橋湛山
西尾豐
星島二郎
若槻禮次郎
渡邊鐵藏
川上直之助
田中鐵三郎
辻村楠造
根岸鍊次郎
名取和作
長島鷲太郎
成瀨義春
植村俊平
山口喜三郎
町田忠治
增島六一郎
小林丑三郎
江口定條
志村源太郎
志立鐵次郎

經濟攷究會第二回報告

大正十二年十二月

（印刷ヲ以テ謄寫ニ代フ）

經濟攻究會第二回報告

當經濟攻究會ハ嘗テ說明シタル如ク政治的集團ニアラス又所謂社交的俱樂部ニモアラス經濟問題ニ趣味ヲ有スル者時々會合シテ眞摯ナル研究ヲ爲スモノナリ曩ニ大正十一年七月發會ニ方リ先ツ我國民ノ負擔過重ナルヲ認メ之カ輕減方策ノ第一トシテ稅制ノ整理ヲ提案シ本年二月第一回報告ヲ以テ之ヲ發表シタリ爾來更ニ財政ノ整理ニ關シ考究ヲ重ネ其ノ成案ヲ震火災善後方策ニ關スル決議ト共ニ本報告ヲ以テ之ヲ公表ス

財政組織及政府事業整理方案

本會ハ豫テヨリ我財政ニ一大革正ヲ行フノ必要ヲ認メ將ニ具體案ヲ發表セントスルニ當リ今回ノ大震火災ニ際會シタリ斯ノ慘禍ニ基ク經濟上ノ大損害ニ對スル復興方法トシテ講究ヲ要スル諸多ノ問題中特ニ重要視セラルル復興資源ハ主トシテ一般國費ノ節減ニ待ツヘキモノナルヲ信スルカ故ニ本會ノ所見ハ事變ニヨリ更ニ一段ノ緊切ヲ加ヘタルヲ覺ユ因テ茲ニ實行方法トシテ國庫會計ノ收支ヲ統一シ歲計豫算ノ編成ヲ更正完備シ行政各部經費支拂ノ監督ヲ嚴ニスル等財

政組織ニ根本的改善ヲ加フルト同時ニ政府ノ經營スル各種事業ヲ整理緊縮スルコトヲ期シ左ノ諸項ヲ議決ス

（甲） 財政組織ノ整理ニ屬スルモノ

一、豫算ニ於ケル歳出入見積書ト決算ニ於ケル收支實額トノ間ニ多大ノ相違ヲ來シ常ニ多大ノ歳入超過ヲ生スルハ堅實ナル財政計畫ニアラサルヲ以テ豫算ノ編成ニ方リテハ歳出歳入共ニ嚴重ニ考査シ實額ニ近キモノヲ計上シテ豫算ノ本質ニ立復ヘルコト

〔理由〕 凡ソ一國ノ歳計ハ國民ノ利害ト直接至大ノ關係ヲ有スルヲ以テ之カ豫算ヲ的確ナラシムルコトハ財政計畫ノ根本ニシテ我憲法會計法ノ精神ナリ故ニ歳出入共ニ實額ニ近キモノヲ計上シテ爾後ニ於ケル實際ノ收支ト著シキ懸隔ヲ來ササルヲ以テ財政ノ妙諦ト爲ス固ヨリ豫算ト實額トハ差違アルヲ免カレサルモ諸種ノ基礎材料ニ據リ嚴重ナル考査ヲ遂クル時ハ實額ト大差ナキ數字ヲ豫算ニ計上スルコト必スシモ難事ニアラス英國ノ豫算ハ此ノ點ニ關シ推稱ニ値スルモノニシテ是レ當局者ノ老練ト誠意トニ因ルト雖モ亦以テ其ノ財政計畫ノ堅實ヲ表識スルモノナリ蓋シ一國ノ歳計ハ個人ノ會計ト趣ヲ異ニシ出ヲ計リテ入ヲ制スルモノナルカ故ニ無用ノ經費ト租稅ノ誅求ハ力メテ之ヲ避ケサルヘカラス顧テ我財政計畫ノ既往ヲ觀ルニ豫算面ニ於テハ歳出入均衡ヲ保テリト雖モ決算ニ及ヒテハ巨額ノ歳入超過ヲ來スヲ例トス是レ一ハ戰時中經濟界ニ於ケル特種ノ事情ニ因ルト雖モ要スルニ歳入ノ見積過小ニ失シ歳出ノ見積過大ニ失スルノ結果ニシテ豫算ノ編成愼重ヲ缺クノ謗ヲ免ルル能ハス歳入超過ハ卽チ國庫ノ剩餘ニシテ國帑濫費ノ弊習玆ニ胚胎ス當局者ハ斯カル現象ニ慣レテ自然粗漫ト不誠意トヲ以テ豫算ヲ作リ其ノ極財政ニ對スル信用失墜シテ故ラニ豫算ヲ實額ヨリ遠サケテ剩餘ヲ捻出シ放肆濫費ヲ爲シ得ルノ餘地ヲ置クモノナリトノ疑惑ヲ生スルコトアルモ辯解ノ辭ナカルヘシ自今收支ノ算定ニ當リ一段ノ改善ヲ加ヘ嚴重ナル考査ヲ施シ豫算ノ本質ニ立復ヘルコトヲ期スヘシ

二、歳出入ハ毎年度議會ノ協贊ヲ經ヘキ憲法ノ本義ヲ尊重シ繼續的事業ト雖モ年度毎ニ其ノ豫算ヲ議會ニ提出シテ審議ヲ求ムルノ慣例ヲ開キ漫ニ後年度ニ屬スル費用ニ對シテ豫メ協贊ヲ得ルノ弊風ヲ矯正スヘキコト

〔理由〕 國家ノ歳出歳入ハ毎年豫算ヲ以テ議會ノ協贊ヲ要スルコトハ憲法並ニ會計法ノ命スル所ナリ唯繼續費ハ特別ノ須要ニ因リ豫メ年限ヲ定メ協贊ヲ求ムルコトヲ得ルモノニシテ是レ萬止ムヲ得サル場合ニ限リ施行シ得ルモノニ外ナラス故ニ勉メテ其ノ適用ヲ局限シ繼續的事業ノ性質ヲ有スル費用ト雖モ毎年議會ニ協贊ヲ求ムルヲ以テ立憲政治ノ本領トス蓋シ一國ノ經濟狀態ハ變動常ナク何人モ今年ヲ以テ後年ヲ測リ難キカ故ニ一ノ事業ニ對シテ豫メ年度割ヲ定メ其ノ支出ヲ確定スルカ如キハ決シテ安全ナル方策ニアラス歐洲憲政諸國ニ於テ繼續的事業ニ對シ年々議會ノ協贊ヲ求ムル所以ノモノ職トシテ之ニ由レリ然ルニ我國豫算ノ實際ヲ觀ルニ後年度以後ニ亘ル經費ハ繼續費トシテ之ヲ取扱ヒ爲ニ當年度ノ豫算中議會ノ審議スヘキ範圍ハ著シク局限セラルルノ實情ニ在リ蓋シ政府當局者ハ多種ノ事業ニ對シ年々議會ノ協贊ヲ經ルノ煩ヲ避ケムカ爲ニ好ミテ繼續費ノ形式ヲ取ルモノニシテ初年度ニ於テ比較的少額ノ支出ヲ豫算ニ組入レ次年度以後ノ支出ヲ多額ニシテ豫メ協贊ヲ求ムルヲ常トセリ是レ議會カ其ノ當面ノ支出少額ニシテ後年度ノ重キ負擔ハ直ニ其ノ利害ヲ感セサルカ爲ニ自然之ヲ輕視シテ容易ク之ヲ通過セシムルノ弱點ニ乘シタルモノニ外ナラス是ニ於テカ繼續費ハ年ト共ニ多キヲ致シ大正十二年度ノ如キハ一般會計豫算十三億六千萬圓中繼續費約二億六千萬圓ヲ占ムルニ至レリ斯ノ如キハ明ニ憲法ノ特例ヲ濫用シ財政ノ基礎ヲ動搖スルモノニシテ政府議會共ニ其ノ罪ヲ分タサルヲ得ス故ニ自今斷然其

ノ弊風ヲ矯正シ繼續事業ト雖モ年々之カ豫算ヲ提出シテ議會ノ審議ヲ求メ經濟狀態ニ適應シテ斟酌處理スルノ美風ヲ開クヘシ

三、責任支出ノ弊風ヲ杜絶スルコト

〔理由〕 前項ニ陳ヘタル如ク國家ノ歳出ハ毎年議會ノ協賛ヲ得タル豫算ノ範圍內ニ於テ支出スルヲ本則トスルモ憲法ハ避クヘカラサル豫算ノ不足ヲ補フ爲ニ又ハ豫算外ニ生シタル必要ノ費用ニ充ツル爲ニ豫備金ヲ設クルコトヲ許シ而モ其ノ濫用ヲ防止スル爲ニ議會ノ事後承諾ヲ以テ豫備金支出ノ必要條件トス更ニ憲法ハ「公共ノ安全ヲ保持スル爲緊急ノ需要アル場合ニ於テ內外ノ情形ニ因リ政府ハ帝國議會ヲ召集スル能ハサルトキハ勅令ニ依リ財政上必要ノ處分ヲ爲スヲ得」トセリ此ノ如キ非常特別ノ場合ニ於ケル外豫メ議會ノ協賛ヲ經ルニアラサレハ厘毛ノ支出ヲ許サルコト憲法ノ精神ナリ然ルニ嘗テ濃尾震災ノ時政府ハ豫算外ノ支出ヲ爲シ事後ニ於テ議會ノ承諾ヲ得タルコトノ俑ヲ作リタル以來漸次所謂責任支出ノ弊習ヲ決行シ國庫剩餘金等ヲ流用シテ豫算超過又ハ豫算外支出ヲ爲スコト常例トナリ緊急ニアラサル支出ニ輕ク之ヲ適用シ議會國民亦之ヲ咎ムルノ風ナク其ノ弊害今ヤ牢トシテ拔クヘカラサルニ至レリ然レトモ是ハ憲法ノ指示スル範圍外ニ奔逸シ法ノ精神ニ反スルモノナルコト疑無キヲ以テ斷乎トシテ其ノ本ニ反リ責任支出ヲ杜絶セサルヘカラス但シ責任支出ヲ禁遏スルト同時ニ之カ救濟ノ方法トシテ豫備金ニ多少ノ增額ヲ行ヒ以テ豫算超過又ハ豫算外支出ノ爲ニ餘裕ヲ作ルコト止ムヲ得サルヘシ現今ノ第一豫備金六百萬圓第二豫備金八百萬圓ハ總豫算十三四億圓ニ達セル今日ノ國庫經濟ニ對シテハ過少ナルヲ以テ之ヲ適度ニ增額シテ不時ノ支出ニ備フルノ安全瓣トスルハ機宜ヲ得タルモノト稱スヘシ

四、國庫剩餘金ハ總テ公債銷却ニ充當スルコト

〔理由〕 國家ノ會計ハ一年度ヲ限リ收支ノ均衡ヲ保ツヲ要トシ當年度ノ歳入ヲ以テ次年度ノ歳出ニ充當スルヲ許サス是レ會計法ニ毎會計年度ニ於ケル經費ノ定額ハ其ノ年度ノ歳入ヲ以テ之ヲ支辨スヘシトノ規定アル所以ナリ蓋シ當年度ノ歳入剩餘ヲ以テ後年度ノ歳出ニ充ツルノ不條理ナルハ恰モ後年度ノ歳入ヲ引當ニ當年度ノ歳出ヲ支辨スルニ同シクシテ會計ノ根本亂レ財政ノ基礎動搖スルノ端ナリ固ヨリ豫算ト實際ノ收支トハ必スシモ合致セサルカ故ニ政費ノ節約又ハ收入ノ增加等ニヨリ歳入歳出ヲ超過シ從テ國庫ニ剩餘ヲ生スルトキハ國民負擔ノ輕減ニ資スヘキコトハ當然ノ理ナレハ宜シク之ヲ以テ公債ヲ銷却スルノ方針ヲ確立スヘシ英國ニ於テハ之ヲ以テ財政計畫ノ常規トシ苟クモ國庫ニ剩餘アレハ必ス之ヲ公債銷却ニ充當スルコトハ何レノ內閣ニ於テモ一定不變ノ原則トシテ堅ク之ヲ遵奉ス然ルニ我國ノ既往ニ徵スルニ公債ハ逐年增加スルト共ニ多數ノ剩餘金亦年々持越サレ之ヲ以テ繼續事業ノ財源ニ充ツルカ又ハ豫算超過若クハ豫算外支出ノ費途ニ供スル等ノ不條理ヲ敢テシテ顧ミス前項ニ陳ヘタル責任支出ノ弊害ノ如キ畢竟多額ノ剩餘金ヲ有スルカ爲ニ外ナラス凡ソ一國ノ財政ハ個人ノ經濟ト異リ資金不足ナレハ何時ニテモ國民ニ訴ヘテ之ヲ調達スルヲ得ルカ故ニ毫末モ餘資ヲ抱クヲ要セス會計法ニ於テ各官廳ノ資金保有ヲ禁スルモノ亦此ノ精神ニ外ナラス是レ今後國庫ノ剩餘金ヲ以テ總テ公債ノ銷却ニ充當スヘキコトヲ主張スル所以ナリ

五、行政各部ノ經費款項目ヲ統一シ其ノ流用ヲ嚴正ニ取締ルコト

〔理由〕 現今行政各部ノ經費款項目ハ統一ヲ缺キ同一ノ費目ニシテ甲ノ官廳ニテハ項ニ屬シ乙ノ官廳ニテハ目ニ屬スルモノアリ從テ甲ニ於テハ會計ノ法規ニ據リ他ノ費目ト彼此流用シ得サルニ反シ乙ニ於テハ自由ニ流用シ得ルカ如キコトアリ此ノ不統一ハ一般會計ト特別會計トノ間ニ於テ殊ニ著シキヲ見ル例ヘハ俸給ノ費目ノ如キ一般ニ項ニ屬シ議會ノ審議ヲ經ルニ反シ鐵道省ノ會計ニテハ建設費改良費工作費ノ如キ大科目ヲ項トシ俸給ハ其ノ以下ノ小費目トスルカ故ニ鐵道

省ハ隨意ニ俸給豫算ヲ增減シ得ルカ如キ缺陷アリ又各官廳ニ於テモ款項ノ定額ハ憲法會計法ニ據リ彼此流用ヲ禁スルモ目以下ノ費途ニ付テハ各目節ノ金額ヲ流用スルノ自由ヲ有スルヨリ常ニ之ヲ濫用シテ豫算ノ定額ヲ年度內ニ消盡スルノ弊風アリ此ノ弊ハ旅費ニ關シテ殊ニ甚シク年度內ニ旅費ノ定額ヲ消費スルノミナラス他目ノ殘額ヲモ之ニ流用シ必要ナキニ種々ノ口實ヲ設ケテ所屬官吏ヲ內外ニ出張セシムルカ如キコト殆ト公然ノ秘密ナリ此ノ濫行ヲ防止スル爲曩ニ會計規則ノ改正ヲ見勅令ヲ以テ指定セラレタル費途ニ對シテハ大藏大臣ノ承認ヲ經ルニアラサレハ之ヲ他ニ流用スルヲ得サルコトトナリ俸給機密費等ハ此ノ費途ニ屬スルコトトナレルモ最モ弊害多キ旅費ヲ包含セシメサルヲ遺憾トス斯ノ如クニシテ流用ノ弊風ハ依然改善セラレス不用ノ定額ヲ徒費シテ惟及ハサラムコトヲ恐ルルノ情アリ憲政觀念ノ發達セサル現情ノ下ニ於テハ須ラク法律ヲ以テ嚴ニ之ヲ取締ルト共ニ大藏大臣ノ職權ヲ擴張シテ之カ監督ノ責ヲ負ハシムヘシ

六、特別會計ハ一般會計ニ統一スルノ方針ヲ樹立シ基金資金ノ如キハ之ヲ整理シ其ノ性質上存置ノ必要ナキモノハ公債ノ銷却ニ充ツルコト

（理由）國家ノ會計ハ總テ之ヲ綜合統一シテ經理スルヲ原則トシ一アリテ二アルヘカラス此意義ヨリ見ルモ會計法ニ特別會計ノ設置ヲ許シタルハ特別ノ須要止ムヲ得サル場合ニ限リタルコト明ナリ歐洲諸國ニ於テモ嘗テ幾多ノ特別會計ヲ設ケタル時代アリシカ財政知識ノ進步ニ從ヒ其ノ弊害ヲ感知シ爾來努メテ歲入歲出ノ統合ヲ圖リ今日二三例外ヲ除キテハ之ヲ存置スルモノアルヲ見ス我會計法ハ先進國ノ學理經驗ヲ基トシ會計不可分ノ主義ヲ採用セルニ拘ハラス實際ニ於テハ法規ノ例外條項ヲ楯トシテ各種ノ特別會計ヲ設ケ現在ニ於テハ實ニ三十七個ノ多キニ及ヒ一般會計豫算十三四億圓ナルニ對シ特別會計豫算三十二三億圓（若干重複ノ計上アリ）ヲ算シ例外却ツテ本則ニ超過スルノ奇觀ヲ呈セリ其ノ結果歲計ノ混亂ヲ來シテ經理ヲ困難ナラシメ又會計ノ分立セル爲ニ部分的ノ利益ヲノミ圖リテ他ヲ閑却スルノ傾向アリ殊ニ兩種會計ノ重複ニヨリ財政ノ眞情ヲ究ムルニ苦シムノミナラス特別會計ノ蔭ニ隱レテ國民ノ耳目ヲ覆ヒ容易ニ議會ヲ通過スル等弊害百出セリ今ニ於テ斷然之ヲ整理セサレハ遂ニ收拾スヘカラサルニ至ラムトス故ニ特別會計ハ之ヲ一般會計ニ統一スルノ方針ヲ定メ縱令之ヲ全廢シ得ストスルモ法規ノ精神ニ基キタル特別須要ノモノニ限定セシムヘシ從テ現在ノ基金資金ト稱スル十數種ノ如キハ眞ニ必要ナルモノノ外ハ之ヲ廢止シ前ニ陳ヘタル國庫剩餘金ニ於ケルト同一ノ趣旨ニ因リ之ヲ公債ノ銷却ニ充當セムコトヲ期ス

七、現在預金部ニ屬スル資金及官營保險ノ資金等ヲ總括シ之ヲ處理セシムル爲特別ノ機關ヲ設クルコト

（理由）前項ニ陳ヘタル如ク現在ノ特別會計ハ總テ一般會計ニ整理統一スルノ方針ナルモ現在預金部ノ管理ニ屬スル郵便爲替金郵便貯金郵便取立金等ハ普通ノ歲入金ト其ノ性質ヲ異ニシ一般會計ニ編入スルヲ得ス卽チ是等ハ個人ノ寄託金ニシテ銀行預金ト同一ノ性質ニ屬スルモノナレハ自ラ別個ノ取扱ヲナササルヘカラス現今前記ノ郵便事務所屬ノ諸預金ハ大藏大臣ノ管理ニ屬シ所謂預金部トシテ實際ノ運用ハ專ラ大藏省內ノ一局之ニ任セリ此ノ外敎育基金、帝國大學、學校及圖書館、朝鮮醫院及濟生院等ノ資金ニ屬スル現金モ亦預金部ニ寄託利殖ス元來郵便貯金ノ如キ莫大ナル寄託金ヲ一官衙ノ行政官ニ委シ其ノ判斷ノ下ニ之ヲ保管利殖セシムルハ決シテ安全ナル方法ニアラス縱令之ヲ惡用スルノ弊ナシトスルモ之カ運用ヲ過ルノ虞アリ宜シク之ヲ權威アル獨立ノ機關ニ委ネ且受託金ノ狀況運用ノ方法其ノ他ノ事項ヲ時々明細ニ公表セシムヘキナリ簡易生命保險ニ對シテハ現ニ資金運用委員ノ任命アリテ此ノ點ニ於テハ郵便預金ニ優レルモ本資金及將來實行セラルヘキ勞働養老保險事務ニ屬スル資金ト併セテ總テ郵便貯金ト統一ヲ保チ均ク前記ノ機關ヲシテ之ヲ經理セシムヘシ

八、各省及主要官廳ニ大藏大臣直屬ノ會計監督官ヲ常置シ其ノ官廳ノ經費ヲ監視セシムルコト

〔理由〕 大藏大臣ハ國家ノ財産並ニ歲入歲出ニ關スル總責任者ナレハ豫算調製ノ職務ニ任スルノミナラス各省經費ノ支拂ニ關シテモ當然之カ監督ノ責ヲ負ハサルヘカラス然ルニ實際大藏大臣ハ豫算調製ノ際ニハ他ノ各省大臣ト折衝ヲ重ネ相當職責ヲ盡スヲ認ムルモ一旦豫算決定シタル上ハ豫算カ如何ニ實行セラルトモ關與セサルモノノ如シ最近稍改善スル所アリテ會計規則ニ據リ或ル費途ニ付テハ大藏大臣ノ承認ヲ得ヘキ旨ノ勅令發布ヲ見タルモ猶甚タ不徹底ノ憾アリ常時各省ノ經費支拂ヲ注視シ嚴密ナル監督ヲ加フルニアラスムハ首尾貫徹シテ其ノ職責ヲ全ウスルモノニアラス英國ニ於テハ大藏大臣直屬ノ會計官ヲ各省ニ存置シ所管各省大臣配下ノ一員タラシムルモ其ノ要求經費ニ關シ意見アル時ハ隨意ニ大藏大臣ニ具申シ得ルノ權力ヲ有シ同時ニ當該省ノ歲出監督ノ重責ニ任シ事後ノ監督者タル會計監督官及議會ノ審査委員ト相待テ濫費ヲ防止スルノ効果少カラス我國ニ於テハ各省大臣其ノ所屬經費ノ支拂命令權ヲ有スルモ更ニ之ヲ部下ノ官吏ニ委任專行セシメ而モ何等監督機關ノ存置ナキカ爲ニ豫算ニ定メタル目的以外ニ使用スルコトアルモ將又放漫ナル支出ヲ爲スモ法規ニ抵觸セサル限リ之ヲ咎ムルコトナシ但シ嘗テ英國ト同シク大藏大臣直屬ノ會計監督官ヲ各省ニ置キタルコトアリシモ幾クモナク之ヲ廢止シタルハ遺憾ナリトス宜シク此ノ制ヲ復活シ更ニ一層ノ權力ヲ之ニ附與シ財務全般ニ對スル大藏大臣ノ統括權ヲ有効ナラシメ冗費濫費ヲ事前ニ制止セシムヘシ

（乙）政府事業ノ緊縮又ハ整理ノ爲ニ差當リ實行スヘキモノ

一、公債支辨事業ハ當分打切ルコト

〔理由〕 我財政年ヲ逐テ安固ヲ缺キ殊ニ長期及短期公債ノ增額甚シキヲ加ヘ利率益昇騰シテ金融市場ニ惡影響ヲ及ホスコト大ナリ財政當局者ハ常ニ財政ノ革新ヲ聲明スルモ借金政策ニハ何等ノ變化ヲ示サス而モ公債支辨事業ノ殆ト全部ハ喫緊ヲ要セサルモノニ屬シ財界ノ利益ヲ犧牲ニ供シテマテ着手スヘキモノハ甚タ稀ナリ租稅增收ノ困難ヲ公債ニ因テ補濟セムトスルハ永遠ニ國民ノ負擔ヲ增加スルモノニシテ經濟界ヲ壓迫シ財政ノ鞏固ヲ阻害スルコト疑ヲ容レス是レ公債支辨事業ノ打切ヲ以テ時弊救治策中ノ重要ナルモノト認ムル所以ニシテ今次ノ震災善後策トシテ一般政府事業ノ緊縮ハ愈其ノ痛切ナルヲ感ス政府ハ宜シク從來ノ公債政策ヲ一變シ財政ヲ根本ヨリ立直シ國民經濟ノ安定ヲ圖ルヘシ

二、鐵道新設工事ハ當分見合スコト

〔理由〕 政府ハ天然ノ資源ヲ開發シ地方產業ヲ振興スル必要アリトノ理由ノ下ニ曩ニ十年計畫ナルモノヲ立テ新設鐵道工事ニ着手シ第四十六議會ニ所謂鐵道網完成ノ爲二十八本ノ新線計畫ヲ定メ大正二十二年度迄ニ六億七千六百萬圓ノ鐵道建設費ヲ支出シ公債ニ因テ之ヲ支辨セムトス然ルニ右計畫ニ屬スル新線ハ主トシテ農村ニシテ物資住民猶稀少ノ地ニ敷設セムトスルモノ多ク山間僻地工事極メテ困難ノ地域ヲ經過スルモノモ少カラス斯カル地方ニ產業振興資源開發ノ名ノ下ニ巨資ヲ投スルハ其ノ意ヲ解スルニ苦シム所ニシテ或ハ政略ニ利用スルモノナリトノ聲ヲ耳ニスルモ謂レナシトセス且近時歐米ノ趨勢ニ鑑ミ鐵道ニ代フルニ道路修築ヲ以テシ蒸汽列車ニ代フルニ自動車ヲ以テスルコト採算上便益上共ニ有利ナラサルヤ否ヤノ點モ亦愼重考慮スヘキ問題ニシテ急速ニ斷シ去ルヲ許サス假ニ鐵道敷設ヲ可トスルモ財政及經濟ノ實情ヲ參酌セサルヘカラス今日ハ退テ紛糾セル財政ヲ整理シ國力ヲ養成シテ然ル後徐ニ之カ計ヲ爲スモ未タ晩シトセス故ニ鐵道ノ新設ハ之ヲ中止シ縱令已ニ協賛ヲ經タルモノト雖モ時勢ニ鑑ミ斷乎タル處置ヲ取ルノ適當ナルヲ信ス

三、電話ノ私設經營ヲ許スコト

〔理由〕 電話ノ需要ハ近來著シキ增加ヲ來シ都會ハ勿論寒村僻地ニ至ル迄年ト共ニ其ノ要求ノ聲ヲ大ニセリ電話カ產業ノ進展思想ノ開發ニ必要ナルハ言ヲ待タサル所ナレハ之カ架設ニ付テハ百方手段ヲ講シ速ニ其ノ普及ヲ圖ルヘキナリ然ル

ニ我邦ニ於テハ電話ノ擴張遲緩ニシテ國民ノ期待ニ副ハサルコト甚シク十餘年前ニ申込ミタル電話ノ尙ホ架設ヲ見サル程ノ有樣ニシテ之ヲ朝ニ申込ミ夕ニ架設セラルル米國等ト比較スレハ啻ニ雲泥ノ差ノミニアラス從テ電話ノ權利ニ法外ノ價格ヲ生スルカ如キ奇觀ヲ呈スルコト亦世界ニ類ナキ所トス斯ノ如キハ電話事業ヲ以テ政府ノ獨占トスルノ結果ニシテ自由競爭ニ基ク發達ヲ阻止シ其ノ架設能率及經濟方法ニ改善ヲ加フルコト之ナキノミナラス他ノ通信事務トノ均衡上擴張ヲ牽制セラレ文化ノ進運、商工ノ振興ニ至大ノ障礙ヲ來セリ之カ對策トシテ速ニ獨占主義ヲ廢シテ私營ヲ認許セハ猶以テ時ニ及フヘキナリ

附　記　以上ハ本會ニ於ケル出席會員ノ多數ヲ以テ議決セル所ヲ集錄シタルモノトス但シ會員中ニハ會議ニ時々缺席シタルモノアリ又或項目ニ對シテハ別個ノ意見ヲ有スルモノナシトセス覽者ノ之ヲ諒トセラレンコトヲ請フ

震火災善後方策

震火災善後經濟方策トシテ本會ハ先ツ左ノ諸項ヲ決議ス

一、今次帝國首都ニ於ケル震災ハ國難ト認ムヘキモノニシテ國民全體ノ利害關係至大ナルカ故ニ國家ハ之カ復舊善後費ノ大部分ヲ負擔スルヲ至當トス

二、善後費ノ財源ハ主トシテ之ヲ（一）軍備ノ整理縮小政府事業ノ中止繰延及一般ノ行政整理ニ因ル國費ノ節約　（二）既存國庫剩餘金（將來ノ剩餘金ハ公債ノ償却ニ充當ス）補助貨改鑄益金減債基金ノ繰入　（三）國有財產ノ整理ニ因ル收益ニ求メ國債ノ增發及租稅ノ增徵ハ力メテ之ヲ避クルコト

三、災後交通通信機關ノ澁滯ハ罹災者救護、生活安定並ニ產業復興上ノ最大支障タルヲ以テ之カ復舊整備ニ全力ヲ注クコト

四、被害市ノ復舊財源ヲ作ル爲地方費ノ緊縮官公有地ノ整理ヲ必要トスル外間地稅、土地增價稅等ノ賦課及受益者負擔金ノ徵收ヲ認ムルコト

五、火災保險會社ニ對シ故ラニ法律ヲ以テ出捐資金ノ貸付ヲ爲スコトハ法治ノ精神ニ反シ惡例ヲ貽スモノナルヲ以テ不當ノ處置ト認ム

以　上

經濟攻究會々員

（イロハ順）

池田成彬
石橋湛山
西尾豐
西野惠之助
伯爵 堀田正恒
星島二郎
岡實
大口喜六
若槻禮次郎
渡邊鐵藏

川上直之助
上山滿之進
田中鐵三郎
田中次郎
辻村楠造
根岸錬次郎
名取和作
長島鷲太郎
成瀨義春
植村俊平

山田英太郎
山口喜三郎
町田忠治
增島六一郎
福田美知
小林丑三郎
江口定條
志立鐵次郎
志村源太郎

經濟攻究會

假事務所　東京市外下澁谷一一六五

（印刷ヲ以テ謄寫ニ代フ）

經濟攻究會第三回報告

大正十三年五月

經濟攻究會第三回報告

客年十二月第二回報告ヲ以テ財政整理ニ關スル意見ヲ發表シタル後内閣ノ更迭アリ幾クモナク議會ハ解散セラレ政界選擧準備ニ忙シキ中ニ財界ハ何等新ナル象徴ナク益憂慮スヘキ傾向ヲ呈スルノミ因テ本會ハ之カ救治方案ニ關シ研究ヲ重ネ其ノ結果ヲ公表スル爲茲ニ第三回報告ヲ刊行ス

經濟界救治方案

現時ノ我經濟界ハ物價ノ騰貴、貿易ノ入超、圓價ノ下落、產業ノ不振、資金ノ梗塞、金利ノ昇騰、物資ノ停滯等憂フヘキ情態簇生シテ唯ニ災後ノ復舊ニ支障ヲ來セルノミナラス國家ノ基礎ヲ危殆ナラシムルノ虞アリ之ニ對シテ一時ノ彌縫的施設若クハ弛緩ナル姑息的手段ヲ取ルカ如キハ最早寸効ナシト信ス因テ本會ハ根本的救治策トシテ左記ノ諸項ヲ決議ス

(甲)速ニ軍備及一般行政ノ整理緊縮ヲ實行シ其ノ程度ヲ大體左記ノ如クスルコト

一、陸海軍費ヲ通シ大正十二年度豫算ニ比シ三割(壹億四千五百萬圓)以上ヲ削減スルコト

二、其ノ他ノ官省ハ大正十二年度豫算ニ比シ二割(壹億七千九百萬圓)以上ヲ削減スルコト

三、新規及擴張事業ハ緊急避クヘカラサルモノノ外當分絕對ニ見合ハスコト

（理由）我經濟界ヲ救治スル爲ニ軍備及一般行政ヲ整理緊縮シ以テ國費ヲ節約スヘキコトハ災害直後本會ノ決議シタル所ニシテ之カ論據トシテ二個ノ事由アリ其ノ一ハ我經濟界ノ困憊、民力ノ疲弊ヲ救濟スル爲ニ尨大ナル軍事費及行政費ヲ削減スルノ必要アルコトハ既ニ災前ニ於テ認メタル所ニシテ偶々變災ニ因テ莫大ノ損害ヲ被リ一層其ノ急務ヲ感スルニ至レリ其ノ二ハ此際國民モ亦擧テ節約ニ努力スヘキコト勿論ニシテ民衆ノ自覺ヲ促スハ政府先ツ實行シテ之カ模範ヲ示スニ如クハナシ由來我國民ハ官府ニ信賴シ其ノ行フ所ヲ模擬スルノ風アルヲ以テ政府ニ於テ先ツ之ヲ實行スルコトハ千百ノ訓示宣傳ニ比シテ有力ナルコト言ヲ俟タス

此ノ如ク事理明白ニシテ國論亦之ヲ首肯セルニ拘ハラス現政府ノ之ニ對スル態度ハ頗ル冷淡ニシテ進テ之ヲ斷行スルノ勇氣ニ乏シク單ニ能率增進ノ目的ヲ以テ行政整理ヲ行ハムトノ意志ヲ洩セルニ過キサルハ遺憾ニ勝ヘサル所ナリ斯ノ如キハ以テ平時ニ施スヘク以テ非常時ニ處スヘカラス財界ノ沈衰其ノ極ニ達シ之カ救治ニ著手スルコト一日ヲ緩ウスレハ一日ノ損アル現情ノ下ニ在テハ國費ノ節約ノ如キ施行容易ニシテ且ツ其ノ效果的確ナル方策ヲ以テ第一ニ推ササルヘカラス是レ本會カ前言ヲ繰返シ重ネテ世論ニ訴フル所以ナリ

之カ具體案トシテ標記ノ如ク歲出豫算ニ對シ天引方法ヲ提起シタル理由ハ他ナシ今日ノ實情ニ於テハ國費ノ上ニ一大斧鉞ヲ加ヘ徹底的整理ヲ遂ケサルヘカラス豫算ノ個々ニ就テ審議スルヨリハ寧ロ目標ヲ提示シ之ニ合致セシムヘク豫算ヲ按排スルヲ以テ時宜ニ適スルモノト信ス而シテ前記ノ數字ニ關シテハ亦相當ノ根據アリ卽チ前內閣ニ於ケル財政當局者ハ豫算ヲ十億圓ニ減縮スルコトノ可能ナルヲ語レリト確聞ス本提案ノ如ク前年度豫算十三億七千六百萬圓ニ對シ三億二千四百萬圓ヲ削減セハ略同一ノ結果ヲ生ス

更ニ右國費ノ中ニ於テ最モ削減ノ餘地アルモノハ軍事費ニシテ國帑カ不生產的ニ消費セラルルコト軍備ノ右ニ出ツルモノナシ勿論國防上ノ見地ヨリ相當ノ施設ヲ爲スノ要アリト雖モ幸ニ爭鬪スヘキ目標ナキ今日ハ之ヲ最低限度ニマテ整理減縮スヘキ絕好ノ機會ナリトス且ツ軍備上ノ所謂精兵主義ヲ採ルノ時代ハ既ニ去リ國力ノ充實カ最後ノ勝利者タルコトハ歐洲大戰ノ實績ニ徵スルモ明白ニシテ縱令我國ニ於テ全力ヲ軍事ニ傾注スルモ大兵ヲ動カスヘキ資財ニ缺乏ヲ告ケ後援タルヘキ民力疲弊ヲ極ムルニ於テハ結局敗北ニ歸スルヲ免カレス濫ニ軍備ノ爲ニ巨資ヲ投下シテ國富ノ消耗ヲ顧ミサルハ實ニ本末ヲ顚倒スルモノト稱スヘシ

試ニ英米兩國ノ歲出豫算ニ對スル國防費ノ割合ヲ見ルニ英國一九二三年—一九二四年度歲出豫算總額八億千六百萬磅ノ內陸軍費五千貳百萬磅、海軍費五千八百萬磅、航空費千貳百萬磅合計壹億貳千貳百萬磅ニシテ豫算總額ニ對スル軍事費ノ割合ハ壹割五分弱ニ當レリ次年度卽チ一九二四年—一九二五年度豫算ノ詳細ハ未タ發表セラレサルモ最近公表セラレタル概算表ニ據レハ前年度ニ比シ陸軍費ニ於テ七百萬磅ヲ海軍費ニ於テ貳百五拾萬磅ヲ減少シ航空費ニ於テ貳百五拾萬磅ヲ增加シ結局總軍事費ニ於テ七百萬磅ノ減少ナリ又米國一九二三年—一九二四年度歲出豫算額參拾五億六千五百萬弗ノ內陸軍費參億壹千四百萬弗（內航空費千貳百萬弗）海軍費參億四千貳百萬弗（內航空費千五百萬弗）合計六億五千六百萬弗ニシテ豫算總額ニ對スル軍事費ノ割合ハ一割八分强ナリ而シテ本年度一九二四年—一九二五年度ノ歲出總豫算ハ參拾貳億九千八百萬弗ニシテ卽チ前年度ニ比シ貳億六千七百萬弗ノ減額ナルカ右總額中陸軍費參億壹千四百萬弗、海軍費參億壹千壹百萬弗合計六億貳千五百萬弗（參千壹百萬弗減）ニシテ豫算總額ニ對シ一割九分弱ノ割合ナリ

我國大正十二年度成立豫算ニ於ケル歲出總額拾參億七千六百萬圓ノ內陸軍費貳億五百萬圓、海軍費貳億七千八百萬圓合計四億八千參百萬圓卽チ歲出總額ノ三割五分强ヲ占ム但シ我國ニハ一般會計ノ外ニ多額ノ特別會計アリテ之ヲ加算スル

時ハ總經費ニ對スル軍費ノ割合ハ右ニ示ス所ヨリ降下スヘク且我國情ハ英米ト同シカラサルモノアリ就中聯邦組織ノ米國ニ於テ中央政府以外各邦行政官廳ノ存在スル如キ事情ハ特ニ考慮スルノ要アリ然レトモ是等特種ノ事情ヲ斟酌スルモ我國防費ノ歳出總額ニ對スル割合英米ニ比シテ巨大ナルノ事實ハ爭フヘカラス英米兩國ニ於ケル戰後ノ財界ハ漸次整理セラレツヽアルコト我國ト同日ノ論ニアラサルニ猶ホ逐次政費ノ減縮ヲ謀リ軍事費ニ於テモ其跡ノ顯著ナルヲ認ム我財政當局者毫モ斯ノ好模範ヲ顧ミサルカ如キハ何ソヤ我軍事費ヲ三割減スルコトハ軍事ニ經驗アル人士中ニ於テ之ニ同意シ其ノ可能ヲ言明スルモノ亦尠カラス要ハ當局者ノ誠意ト決心如何ニアルノミ

一般行政費ニ至リテモ本會ノ嘗テ聲明シタルカ如ク財政組織ニ根本的改善ヲ加ヘ監督ヲ嚴格ニシテ各省ニ於ケル濫費ヲ防止スル時ハ大ナル省減ヲ示スヲ得ヘシ又官省及局課ノ廢合ヲ行ヒ繁文縟禮ヲ廢除シテ事務ノ簡捷ヲ圖ル時ハ淘汰シ得ヘキ冗員節約シ得ヘキ冗費ハ實ニ多大ナルヘシ各省定員ヲ改メ高等官ヲ二分ノ一減其ノ他ノ官吏ヲ三分ノ一減トスルモ事務ニ支障ナシトノ意見ヲ有スル識者アリ強チ架空ノ説ニアラス其ノ他諸種ノ調査機關ヲ設ケ徒ニ多數ノ委員ヲ網羅スルヲ以テ能事ト為スカ如キハ經費多クシテ實効少シ寧ロ全廢スルノ愈レルニ如カス

新規及擴張事業ヲ見合ハスノ必要アルコトモ亦當然ニシテ緊急避クヘカラサルモノヽ外ハ將來有利ナル事業ナリトモ財政ノ現情ニ鑑ミ一時之ヲ中止シ出來得ルタケ經濟界ニ對スル壓迫ヲ除キ民力ノ休養ニ資スヘキコト多言ヲ俟タス過般災害ノ爲メニ滅失シタル官廳ニ對シテハ概ネ假廳舍ノ修築ヲ見タルヲ以テ當分隱忍シテ本建築ノ起工ヲ延期スルカ如キハ政府トシテ取ルヘキ方途ナルヘシ

思フニ震災直後ニ於ケル官民ノ緊張氣分ハ時日ノ經過ト共ニ漸次稀薄トナリ動モスレハ惰氣ヲ生セムトス而モ財界四圍ノ情況ハ却テ惡化ヲ示セリ是レ特ニ戒愼ヲ要シ成行ニ放任スルヲ許ササル所以ニシテ深甚ナル財界ノ創痍ニ對シテハ斷乎タル外科的手術ニ因テ根本治療ヲ施スノ外良策ナク從テ非常ナル英斷ト堅忍トヲ要望シテ已マサルナリ

(乙)速ニ金輸出禁止ノ解除ヲ行フコト

《理由》 震災以前ニ於テスラ毎月輸出入ノ均衡ヲ失ヒタル我對外貿易ハ災後我輸出ノ激減ト復興物資輸入ノ激增トニ因リ前例ナキ輸入超過ヲ示シタリ國際貸借ノ差額ハ正貨ニ因テ決濟セラルヽヲ至當トスルモ我政府ハ大正六年以來金ノ輸出ヲ禁止シ今日モ依然之ヲ繼續セルヲ以テ之カ決濟ノ途ヲ得ス唯政府ノ所有スル在外正貨ノ拂下ニ因テ僅ニ之ヲ補足シ來レリ然ルニ近來在外正貨漸減ノ爲ニ拂下ヲ澁リタル結果當然ノ歸趨トシテ對米爲替ハ激落ヲ告ケ我圓價低落シテ遂ニ四十弗ヲ下リタルカ如キハ我國兌換制度確立以來ノ最低價ニシテ國家ノ信用ヲ降下シ我財界ノ混亂ヲ表示スルモノナリ最近ニ於テ政府ハ驚クヘキ高利ノ外債ヲ募集シテ在外正貨ノ補塡ヲ試ミタリト雖モ今ヤ餘ス所ロ幾何モナクシテ若シ從來ノ方針ヲ持續セムニハ更ニ外債ヲ增募スルノ外ナク一層ノ高利ニ甘ムシ遂ニハ擔保ヲ徵求セラルヽカ如キ不信用ヲ招致スヘシ

此ノ如キ情態ヲ釀成シタルハ全ク戰後ニ於テモ金ノ輸出禁止ヲ撤廢セサリシカ爲ニシテ早ク解禁ヲ實行シタラムニハ貿易ノ逆調ハ囘復ノ緒ニ就キシヤ疑ハス今日ニ於テハ時機後レタリト雖モ猶ホ已ムニ愈レリ否解禁ノ外採ルヘキノ策ナシ抑モ正貨ノ流出ヲ防遏セムトスルノ意志ハ唯重金主義ニ囚ハレタル一種ノ恐怖心ニ過キス內地取引ニ對シテハ正貨ハ流通セサル上ニ戰時ニ於テスラ正貨喪失ノ脅威ヲ受ケサルコトハ英佛兩國ノ實驗ニ徵シテ明カナルヲ以テ別ニ之ヲ集積スルノ要ナシ故ニ正貨ヲ蓄藏スルノ目的ハ全ク其ノ對外價値ヲ維持スルニ在リ然ルニ徒ニ之ヲ死藏シテ貿易ノ決濟ニ使用セス從テ對外價値ノ維持ニ資スルナキハ瓦礫ヲ蓄フルト擇フ所ナシ解禁ノ實行ハ一時輸入ニ便宜ヲ與ヘ輸入超過ヲ繼續スヘシト雖モ正貨ノ流出ニ隨ヒ通貨ハ漸次縮少セラレ物價勞銀低落シテ生產費ヲ低減シ以テ輸出ヲ促進スルニ至ルコト

是レ自然ノ理法ナリ今日內地ニ現存セル正貨ハ猶ホ十億圓ヲ算セリ解禁ノ實行ニヨリ此ノ內幾何ノ流出ヲ見ルヘキカハ豫斷シ難シト雖モ復興物資ハ概ネ輸入ヲ終リタルヲ以テ震災前ノ貿易情況ヲ標準トシ（大正十年度輸入超過ハ臺鮮ノ分ヲ加ヘ合計四億四千萬圓十一年度同三億三千五百萬圓）之ニ產業ノ現狀ヲ參酌シテ今後輸入超過額ヲ推定スレハ一ケ年四億圓前後ト見テ大過ナカルヘシ正貨流出ノ源由ハ貿易作用ノミニアラスシテ其ノ他ニモ存在スルコト言ヲ待タサレトモ貿易外ノ勘定ハ我カ受取額數年前ニ比シテ著シク減少セル今日猶ホ我ニ有利ナルニ違ハサレハ解禁斷行ノ後一ケ年間ニ於ケル正貨純流出額四億圓ヲ出テサルヘシトノ推定ハ必スシモ無稽ニアラスト信ス而シテ其ノ初ハ急激ナル流出ヲ見ルヘキモ前ニ記述シタル事由ニヨリ之カ爲必ス局面ノ轉換ヲ來シ流出額漸次減少シテ終ニ止マルヘク從テ正貨ノ涸渇ヲ惧ルヽノ要ヲ見ス圓價ハ解禁ト同時ニ囘復ヲ告ケ國家ノ信用ヲ高メ貿易業者ノ安定ヲ來スコト日ヲ期シテ待ツヘシ當局者カ解禁ノ斷行ニ躊躇スルハ其ノ意ヲ解スルニ苦シム所ナリ

或ハ圓價ノ低落ハ輸入ヲ抑遏スルト同時ニ輸出ニ有利ナルヲ以テ對外爲替ハ現狀ヲ維持セシメ是以上ノ低落ヲ防止スル爲ニ時々在外正貨ヲ利用スルヲ以テ得策トナストノ說ヲ爲スモノアリ政府當局ノ意志モ斯邊ニアルカ如ク推測セラル然レトモ金輸出禁止ナル障壁ヲ設ケナカラ輸出ヲ促進セムトスルカ如キ不自然ナル方法ハ益物價ノ騰貴ヲ促カシ內地消費者ヲ苦シメ結局對外貿易ノ囘復ヲ妨クヘシ生產費ノ低減ヨリ生スル產業ノ發展、輸出ノ增加ヲ待チテ始メテ財界ノ好轉ヲ期待スルヲ得ヘシ又紡績業者ノ如キ手持原綿ヲ消費シタル後ニ於テ猶ホ爲替相場今日ノ如クムハ如何ニシテ製造ヲ繼續シ輸出ヲ增進スルヲ得ヘキカ其ノ他機械ノ供給ヲ外國ニ仰ク大製造業者ニ於テモ機械購入上非常ナル不利ヲ見ルヘシ加之今後爲替ノ騰落不定ナルニ於テハ輸出入兩方面共ニ投機ヲ爲スニ均シク思慮アルモノハ安心シテ從業スルヲ得ス商工業ノ活動ヲ阻止スルコト至大ナルヘシ

解禁反對論者ハ金ノ流出ハ兌換ノ基礎ヲ危クスヘキコトヲ憂惧スルモ現在兌換券發行高ニ對シ九割ノ正貨準備ヲ有スル時ニ當リ餘リニ神經過敏ト稱スヘシ萬々一正貨カ決河ノ勢ヲ以テ流出シ遂ニ兌換ノ基礎ヲ脅カスニ至ラハ其ノ時ニ於テ兌換ヲ停止スルモ未タ晚シトセス然レトモ是ハ恐ラクハ一片ノ杞憂ニ過キサルヘシ寧ロ考フヘキハ正貨準備減少ノ結果制限外保證準備ノ發行カ濫用セラレ通貨豫期ノ減縮ヲ告ケスシテ折角ノ解禁モ其ノ效果ヲ收メサルヘキコト是ナリカノ放漫ナル財政政策ヲ續行スルカ如キハ通貨收縮ノ最大故障ナルヲ以テ前項ノ行政整理ハ必ス之ヲ斷行シ延テ民衆ヲ風靡シ官民一齊ニ一大節約ヲ行ヒ通貨ノ需給ヲシテ均衡ヲ得セシメサルヘカラス即チ行政整理ハ金輸出解禁ノ實行ト分離スヘカラサル必要條件タルヘシ

（丙）銀行ノ監督ヲ嚴正ニシテ失態ヲ未然ニ防キ又不仕末ヲ暴露セル銀行ニ對シテハ徹底的整理ヲ行ハシメ以テ資金梗塞ノ病源ヲ醫スルコト

（理由） 現時財界不振ノ一因ハ金融界變調ヲ呈シ資金梗塞シテ金利異常ノ昂騰ヲ示セルコト是ナリ之ヲ誘致シタル原因一ニシテ足ラストト雖モ戰時前後ニ於テ營業上ノ放漫ニヨリ資金ノ固定ヲ致セル銀行ニシテ彌縫ヲ續行シ來レルモノ多キト既ニ失態ヲ暴露セル銀行ニシテ整理未了又ハ姑息ナル整理ニヨリテ僅ニ命脈ヲ支持セルモノ尠カラサルコトモ亦一因ナリトス商工界ノ運命ヲ左右スヘキ金融ノ衝路ニ在ル銀行業者ノ任務ノ重大ナルト同時ニ其ノ蹉跌ハ直ニ他ニ波動ヲ及ホスヲ以テ平素之カ監督ヲ嚴重ニシ破綻ヲ未然ニ防止スルハ金融ヲ圓滑ニシ資金ノ效用ヲ發揮スル所以ノ途ナリ而モ現時ノ實情ハ此ノ點ニ關シ遺憾ナキ能ハスシテ監督ノ不備取締ノ弛緩ヲ疑ハサルヲ得ス宜シク法制ノ整備ト檢查方法ノ改善トニ因リ此ノ缺陷ヲ補濟スヘシ若夫レ既ニ不始末ヲ暴露セルモノニ至リテハ概ネ內容腐壞シテ復タ起ツ能ハサルモノニ屬スルカ故ニ姑息ナル救濟ヲ施シテ金融ノ通路ニ障碍ヲ置クヨリハ寧ロ自然ノ成行ニ放任スルニ如カス殊ニ重大ナル責

務ヲ有スル特別銀行ニ於テ失態ヲ露出スルカ如キハ實ニ寒心ニ堪ヘス若シ之カ整理ヲ行ハムトセハ徹底的ナラサルヘカラス一面ニ國民ノ貯蓄ヨリ成レル預金部ノ低利資金ヲ擅ニ貸與シテ他面ニ配當ヲ續行セシムルカ如キ不當且姑息ナル救濟方法ハ却テ整理ノ精神ニ悖戻スルモノナリ之ヲ要スルニ金融界ノ病源ヲ醫治シテ資金ノ梗塞ヲ開キ荊棘ヲ排除シテ金融ノ疏通ヲ便宜ニスルハ財界ヲ振刷スルノ效力淺カラサルモノニシテ全般ノ利益ノ爲ニ多少ノ犠牲者ヲ出タスハ已ヲ得サルナリ

(丁)此ノ際日本銀行ノ金利引下ヲ行フ如キハ金融界自然ノ趨向ニ反抗シ却テ禍累ヲ釀成スヘク又外債ヲ募集スルハ人心ヲ弛緩シ經濟力ヲ消耗スルモノニシテ共ニ根本的救治策ニ反スルモノト認ム

《理由》　財界ノ現情彼ノ如クニシテ整理緊縮ヲ要スル時ニ當リ日本銀行ノ金利引下ヲ呼號スルカ如キハ全ク想像ノ外ナリト雖モ世間ニハ之ヲ以テ救治方策トシテ公表スルモノアリ是レ思フニ當局者ニ因テ爲サレタル諸種ノ施設カ効驗稀薄ナルヲ見テ財界ノ病源ハ金利ノ昂騰ニ在リト認メ之カ低下ヲ策スルニ外ナラス金利ノ昂騰カ經濟界ノ囘復ヲ阻害セルコトニハ異議ナシト雖モ日本銀行ノ金利引下ニ因テ其ノ目的ヲ達スルコトハ至難タルヘシ現時金融市場ニ於ケル金利ノ昂騰ハ之ヲ招致シタル原因アルヲ以テ其ノ根本ニ溯リテ救治セサル限リ金利ノ低落得テ望ムヘカラス現在銀行ノ貸出總額ハ預金總額ニ比シ遙ニ超過スルノ變態ヲ呈シ銀行ハ預金利子ノ引上ヲ希求スルノ時ニ當リ日本銀行ノ金利引下ハ或ハ一瞬時間市場ノ緩和ヲ來スヘキモ銀行ノ貸出ハ一層增進シテ再ヒ前日以上ニ金利ヲ昂進セシムルノミナラス財界ノ整理ヲ逆轉セシメ其ノ困憊ヲ深甚ナラシムヘシ故ニ金利引下論ハ一顧ノ價値ナシト雖モ世上之ニ雷同スルモノ無シトセス特ニ標記シタル所以ナリ

次ニ外債募集ノ如キモ今日ニ在リテハ人心ノ弛緩ヲ誘致シ財界ノ彈力ヲ鈍クシ整理ヲ遲延セシムルノミナラス貿易ノ振興、外國爲替ノ囘復ヲ阻止スヘキ拙策ナルコトハ復タ贅言ヲ要セス現ニ實行シタルモノハ詮方ナシト雖モ今後ニ於テハ此ノ如キ財政政策ハ斷然排斥セサルヘカラス

附記　以上ハ本會ニ於ケル出席會員ノ多數ヲ以テ議決セル所ヲ集錄シタルモノトス但シ會員中ニハ會議ニ時々缺席シタルモノアリ又或項目ニ對シテハ別個ノ意見ヲ有スルモノナシトセス覽者之ヲ諒トセラレンコトヲ請フ

經濟攻究會會員（イロハ順）

池田成彬
石橋湛山
西尾豐
西野惠之助
伯爵 堀田正恆
星島二郎
岡實
大口喜六
若槻禮次郎
渡邊鐵藏
川上直之助
田中鐵三郎
田中次郎
辻村楠造
名取和作

成瀨義春
長島鷲太郎
植村俊平
山田英太郎
山口喜三郎
町田忠治
增島六一郎
福田美知
小林丑三郎
江口定條
有賀長文
明石照男
志立鐵次郎
志村源太郎

經濟攻究會

假事務所　東京市京橋區南鍋町一丁目八

（印刷ヲ以テ謄寫ニ代フ）

經濟攻究會第四回報告

大正十三年十二月

經濟攻究會第四回報告

前回報告公表以後本會ニ於テ研究シタル財政及經濟諸問題中今般審議ヲ結了シタル預金部改造案竝ニ特別會計整理案ヲ輯録シテ茲ニ第四回報告ヲ刊行ス

預金部改造案

本會ハ第二回報告ニ於テ財政組織及政府事業整理方案ヲ提起シ其ノ中ノ一要項トシテ現在預金部ニ屬スル資金其ノ他政府ノ管掌スル資金ヲ總括シ之ヲ處理スル爲ニ特別ノ機關ヲ設クヘキコトヲ唱道シタルカ預金部ノ改造ハ一日モ速ニ實行スルノ必要ヲ認メ之カ具體案ニ關シ講究ヲ遂ケ左ノ如ク決議ス

一、預金部ハ法規ヲ以テ大藏省所屬ノ特別機關トシ之カ機能及監督ヲ明確ニシ郵便貯金其ノ他類似ノ政府受託金及資金ヲ統一シ是等資金ノ保管及利殖ニ關スル一切ノ責務ヲ盡サシムルコト

《理由》改造ノ第一要點ハ組織ヲ革ムルニ在リ元來預金部ハ政府ノ經營スル銀行トモ目スヘキモノナルヲ以テ一般政務ノ

外ニ特立シ明ニ區劃セサルヘカラス、然ルニ從來預金部ノ事務ハ實際上大藏省一局內ノ副業ナルカ如キ觀ヲ有シ資金ノ運用ニ殆ト何等ノ制限監督ナク之カ運用ニ關スル內容ノ明細ヲ公表セサルハ弊害醸生ノ根源タリ是ヲ以テ法規ノ下ニ一個ノ獨立ノ機關トシ專任當務者ヲ置キテ其ノ事務ヲ重要視セシメ次項以下ニ述フル如ク資金ノ運用、計算、監理ニ關スル法規ヲ設ケ當局者ノ責任ヲ明ニセムト欲ス次ニ現在預金部ノ資金ハ郵便貯金ヲ主體トシ之ニ簡易生命保險ニ屬スル資金其ノ他特別會計資金等ヲ綜合セリト雖モ其ノ中簡易生命保險積立金ノ如キハ別ニ運用ノ方法ヲ定メ預金部ハ一時之ヲ保管スルニ止マレリ本案ハ總テ之ヲ當部ノ管掌ノ下ニ置キテ運用上ノ統一ヲ謀リ兼テ事務ノ簡捷ヲ期セムトス又預金部ノ資金ハ政府ノ會計ニ屬セサルカ故ニ收支豫算ヲ編成シテ議會ノ協贊ヲ經ルノ要ヲ見サルモ事務費ノミハ當部ノ官制ニ伴フ一般會計內ニ於テ之ヲ支辨スヘシ

二、預金部ニ屬スル資金ノ運用方法及運用利率ヲ決定スル爲ニ運用委員ヲ置クコト

運用委員ノ數ハ十名以內トシ其ノ三分ノ二以上ヲ民間ヨリ任命スルコト

大藏大臣ヲ運用委員長トスルコト

《理由》 預金部ノ現情ニ對シ改造ノ急務ヲ高唱スル所以ノモノハ主トシテ資金運用カ宜シキヲ得サルニ在リ蓋シ資金ノ大部分ハ郵便貯金ニ屬シ國民勤勞ノ結晶ナルヲ以テ之カ運用ハ特ニ確實ヲ旨トシ且公益ノ增進ニ資セサルヘカラス然ルニ現在ニ於テハ之カ運用ヲ大藏大臣ノ自由裁量ニ一任シ事實上少數吏員ノ手ニ因テ按排セラル、カ故ニ表面國債證券銀行債券等ヲ所有シ又ハ預金ノ形式トシテ體裁ヲ成スト雖モ其ノ最終ノ放出先ヲ審檢スレハ何等公益ニ關係ナキ事業及不穩當ナル方面ニモ流用セラル、モノ多キハ掩フヘカラサルノ事實ナリ今ヤ郵便貯金ノミニテモ實ニ拾億圓ヲ超過セリ此ノ如キ巨大ナル資金運用ノ權限ヲ現情ノ下ニ放任スルハ之ヲ看過セル民衆ニ於テモ亦其ノ責ナシト謂フヘカラス故ニ本案ニ於テハ此ノ積弊ヲ矯正スル爲ニ法規ヲ定メ資金運用委員ヲ常置セムトス該委員會ニハ運用及利率ニ關スル決定權ヲ附與セムトスルモノニシテ單純ナル諮問機關ノ如キ不徹底ナル組織ノ謂ニアラス而シテ從來政府ノ委員ヲ任命スルヤ概ネ其ノ員數多キニ過クルヲ常トシ各自々家ノ利害ヲ顧慮シテ主張區々ニ岐レ爲ニ事ノ進行ヲ妨クルノミナラス自然其ノ責任散漫ニ流ル、ノ弊風ヲ生ス是レ本案カ委員ヲ十名以內ニ制限シ其ノ人選ニ重キヲ置カムトスル所以ナリ又委員ノ配分カ官吏ニ偏重スルトキハ當局ノ意志ニ追從スルノ傾向アルコト簡易保險資金ニ關スル運用委員會ノ實例ニ徵スルモ明ナリ預金部資金ノ性質ヨリ見ルモ其ノ運用ハ民衆ノ意志ヲ尊重スヘキモノナルカ故ニ委員ノ多數ヲ民間ヨリ選任シ唯職責上大藏大臣ヲ以テ其ノ委員長ニ充ツルコト最モ適當ナリト認ム

三、資金運用上ノ限定、貸借對照表、損益計算書及運用資金內容明細書ノ定時公表竝ニ業務監督ニ關スル規定ヲ設クルコト

本規定ノ實施ニ際シ之ニ牴觸スル運用中ノ資金ハ或時期マテニ之ヲ整理スルコト

《理由》 既ニ委員ヲ精選シ是等委員カ誠意ヲ以テ從事スル以上法規ニ因テ資金ノ運用ヲ限定スルハ或ハ蛇足ヲ添フルノ嫌アリ且委員ノ自由權限ヲ拘束スルカ如シト雖モ資金ノ運用カ餘リニ放漫ニ流レタル過去ノ實情ニ鑑ミ特ニ其ノ運用ヲ確實ニシ且公益ヲ主眼トスヘキ大方針ノ下ニ一定ノ制限ヲ定メ其ノ範圍內ニ於テ委員ノ裁斷ニ任スルハ時弊匡救上當ヲ得タルモノナルヲ信ス而シテ法規ノ實施ニ當リ現ニ運用中ノ資金ニシテ之ニ牴觸スルモノヲ回收スルハ多少ノ困難ヲ伴フヘシト雖モ既ニ常道ノ外ニ奔逸セル巨額ノ資金ハ宜シク一定ノ時期ヲ劃シテ之ヲ整理スヘシ又本資金ノ運用利殖ハ前記

ノ如ク宛然官營ノ銀行業務ト看做スヘキモノナルヲ以テ其ノ資産狀態ヲ明ニスルカ爲ニ貸借對照表ヲ調製シ又毎年定時ニ其ノ收支ヲ示スヘキ損益計算書ヲ作成シテ之ヲ發表スルノミナラス進テ運用資金ノ内容ヲ明細ニ公示スルコトハ重要ナル資金ヲ寄託シツヽアル民衆ニ對スル當然ノ責務ナリ其ノ他監理ニ關スル條文ヲ設ケ善ク法規ノ命スル所ヲ遵守セルヤ否ヤ資金ノ運用カ正當ナルヤ否ヤヲ審檢スルコトモ亦最モ緊要ナルコトニ屬ス

最近ニ政府當局ハ綱紀ノ肅正ヲ標榜シ財政行政ノ整理ヲ企畫シ更ニ進テ財界ノ緊縮ヲ要望セリ是時ニ當リ世間批難ノ焦點トナレル預金部ノ如キハ第一著ニ革新ヲ要スルコト多言ヲ待タス本會ハ玆ニ私案ヲ提出スルト同時ニ改造ノ實現カ一日モ早カランコトヲ期待シテ已マサルナリ

特別會計整理案

本會ハ曩ニ我財政組織改善方案ノ一要項トシテ特別會計ヲ一般會計ニ統一スルノ方針ヲ樹立シ且必要ナキ基金資金ハ之ヲ廢止スヘキコトヲ聲明シタリ其ノ理由ノ大要ハ兩種會計ノ併立重複ノ爲ニ我財政ノ眞情ヲ明白ニスル能ハスシテ歲計ノ混亂ヲ來スノミナラス特別會計ノ豫算總額ハ一般會計ニ比シ遙ニ多大ナルモ國民ノ監視ヨリ脱却シテ容易ニ議會ヲ通過スルカ故ニ豫算ノ編成ニ愼重ヲ缺キ且之カ實行ニ方リ特別會計ノ埒内ニ隱レ濫費放肆ヲ招致スル等弊害續出セリ元來國家ノ會計ハ總テ綜合統一スルヲ原則トシ一アリテ二アル可ラス然ルニ我國カ法規ノ例外ニ隱レ三十有七ノ特別會計ヲ有スルハ此ノ原則ヲ蔑視シタル世界無二ノ變態的組織ニシテ我財政ノ弱點ヲ現實ニ表白スルモノナルヲ以テ速ニ之カ整理ヲ必要トスト云フニ在リ此ノ精神ニ基キ爾來各特別會計ニ就キ審議ヲ爲シ之カ具體的整理方案ヲ決定スルコト左ノ如シ

第一　一般會計ニ移スヘキモノ

一、在外專管居留地

（理由）在外專管居留地ノ會計ハ單ニ帝國ノ領土外ニシテ遠隔ノ地ニ在ル居留地經營ノ收支ヲ取扱フ爲ニ過キサルヲ以テ一般會計ニ併合シ收支ニ適當ノ款項ヲ設ケテ整理スヘシ

二、對支文化事業

《理由》 對支文化事業ハ淸國團匪賠償金ノ外ニ我國ノ山東ヨリ得ル收入ノ一部卽チ公有財產、鐵道及鑛山ノ補償金ヲ財源トシ之ヲ運用利殖シテ其ノ收入中ヨリ對支文化ニ關スル施設ヲ行フモノナリ最近右財源ノ合計額六千四百餘萬圓ニシテ之ニ因ル歲入ハ三百八十餘萬圓ヲ計上シ其ノ中二百五十萬圓ヲ歲出ニ充ツル豫算ナリ基金ノ運用利殖ハ之ヲ預金部ニ委託シ其ノ收支ハ特別會計ヲ以テ整理スルモ今後ハ一般會計內ニ於テ運用利殖金ヲ收入トシ對支文化施設事業ヲ支出科目トシテ整理スヘシ但シ年度末ニ豫算剩餘金アラハ之ヲ一般剩餘金ニ組入レスシテ預金部ノ基金ニ戾入スルコト、シ特ニ法規ヲ以テ此ノ點ヲ明ニスヘシ或ハ云フ他國ニ於テ既ニ團匪賠償金ヲ支那ニ還付セルニ方リ我國獨リ猶ホ之ヲ留保セルコト支那國民ノ不滿ニ感スル所ナレハ責メテハ之ヲ特別會計ニ存置シテ收支ヲ明白ニシ支國人ノ疑惑ヲ避クルニ努ムヘシト然レトモ前記ノ如ク一般會計ニ整理スレハ一層其ノ收支ヲ明白ニシ他ニ流用セサルコトヲ示シ得ヘク要ハ之ヲ善用スルト否トニアリ

三、造　幣　局

四、陸軍造兵廠

五、海軍工廠資金

六、海軍火藥廠

七、海軍燃料廠

八、米穀需給調節

《理由》 以上ノ諸會計ハ何レモ作業的特別會計ニ屬スルモノナリ（海軍工廠資金ハ名ハ資金會計ナルモ實ハ作業會計ニシテ陸軍造兵廠ト同一ナルヲ以テ便宜本項中ニ包含セシメタリ）此等ハ特別會計トシテ存續スルヲ可トストト主張スルモノアリテ其ノ理由ハ材料購入貯藏製品其ノ他ノ保管販賣等ノ取扱上竝ニ固定及運轉資本金等ノ計算整理上一般會計法規ニ據ルヲ不便トストト云フニ在リ然レトモ現ニ電信電話事業及陸軍糧秣衞生材料火藥等ノ官營事業カ一般會計內ニ於テ圓滑ニ整理セラルヽノ實例ニ徵スルモ特別會計トシテ存置スルノ要ヲ見ス一般會計ノ下ニ歲入ハ物品拂下代及雜收入トシ歲出ハ各事業費材料素品ノ購入保管トシ又据置運轉資本金ハ据置運轉資本金ノ下ニ一括シ各作業部每ニ定額ヲ定メ尙ホ不足ノ場合ハ大藏省證劵ニ因リテ調達シ固定資本卽チ機械器具等ハ備品トシテ整理スヘシ

以上ノ外作業的特別會計ニ屬スルモノニ帝國鐵道、印刷局、專賣局、千住製絨所及製鐵所アリ帝國鐵道ニ關シテハ之ヲ一般會計ニ移スヘキコト後ニ詳說スルカ如シ他ノ四會計ニ至リテモ其ノ移入必スシモ不可能ニアラス寧ロ一般會計ニ統一スルヲ希望スト雖モ此等ハ其ノ囘收セラレタル資本ヲ屢次運轉シテ作業ノ活動ヲ促進スルノ必要モアリ若シ一般會計トセハ之カ數倍ニ相當スル收支豫算ヲ要スルカ故ニ財政ノ現情ニテハ編成上困難ナシトセサルヲ以テ姑ク現狀ヲ維持セシメムトス但シ政府ノ經營セル作業ノ中ニハ其ノ性質上又ハ採算上寧ロ民業ニ移スヲ以テ有利トスルモノアリ我工業幼稚ナリシ時代ニ在リテハ政府ノ力ニ待ツコト已ヲ得サリシト雖モ今ヤ一般工業ハ長足ノ進步ヲ遂ケ民間ニ於ケル資本ノ調達亦困難ナラサルヲ以テ出來得ル限リ官業ヲ整理シテ之ヲ民業ニ移スコトハ政府トノ關係ヲ絕チ積弊ヲ排除シ得ルノミナラス事業ノ發達上亦有利ナルヲ信ス故ニ今後精密ナル考究ヲ遂ケ著々トシテ整理ノ斷行ニ步ヲ進ムルノ必要アルヲ認ム

又總テ作業的會計ニ屬スルモノハ一般會計ナルト特別會計ナルトヲ問ハス法規ヲ以テ其ノ資產及收支ニ關スル報告ヲ公

表スルコトヲ命シ且租税其ノ他民衆ノ負擔スヘキ當然ノ支出ハ官業ニモ同樣之ヲ賦課スルコト、シ以テ採算ノ基礎ヲ明ニスヘシ

九、帝國鐵道

《理由》 帝國鐵道亦作業的會計ノ一ナルモ特ニ重大ニシテ事業ノ性質他ニ特絶セルヲ以テ各作業ト切離シテ之ヲ掲記シタリ元來帝國鐵道ハ初期ニ於テハ一般會計ニ屬セシカ明治二十四年以降特別會計ノ制度ヲ設ケ益金ハ一般會計ニ繰入レ建設改良費ノ負擔ハ一般會計ヨリ支出シタリ然ルニ鐵道收入激減シ建設改良事業ノ爲メ累ヲ一般會計ニ及ホスニ至リタルヲ以テ明治四十二年以降一般會計トノ關係ヲ絶チ名實共ニ特別會計トシ全然獨立自營セシメタリ然レトモ實際之カ爲ニ收支ノ明確ヲ缺キテ當局者ノ專斷ヲ促カシ又一般財政トノ連絡調節圓滑ナラサル等ノ情弊堆積シテ特別會計整理ノ聲ハ帝國鐵道ニ對シ特ニ高唱セラレツヽアリ殊ニ尨大ナル一省ヲ擧ケテ特別會計トスルカ如キハ實ニ他國ニモ見サル異例ニシテ官吏俸給ノ如キ悉ク特別會計ノ下ニ鐵道省ノ隨意ニ增減支出セラレ他ノ官省ト全ク均衡ヲ失ヘルハ最モ怪トスル所ナリ宜シク斷然整理ヲ加ヘ殖民地會計ニ於ケル鐵道收支ノ如ク一般會計ニ於テ歲入ハ鐵道收入歲出ハ建設改良費運輸諸費等ノ科目ヲ以テ整理計算スルコト、スヘシ

十、國債整理基金

十一、臨時國庫證券收入金

十二、賠償金

十三、國有財產整理資金

《理由》 以上何レモ所謂資金基金特別會計ノ一部ナルカ國債整理基金トハ國債ノ元利償還ヲ要スヘキ資金ヲ一般會計竝ニ特別會計ヨリ一旦本會計ノ計算ニ受入レ然ル後支拂フモノニシテ唯借替ハ本會計ノミニ於テ收支計算ヲ行フモノナリ是ハ一般會計ニ移シ直接ニ元利償還及ヒ借替ヲ行フヘシ次ニ臨時國庫證券收入金ハ爲替金調達其ノ他ノ爲メ內債ヲ募集シ支那露國佛國等對外債權ニ放資セルモノニシテ所謂運用會計ニ屬スルモノナルカ支那露國等ノ債權ニ對スル收入ハ大正七、八年以降杜絕シタルモノニシテ大正十五年以後ニ至リ猶ホ對外債權ノ收入ナキニ於テハ本會計ハ元利資金ナク一般會計ヨリ補給セサルヘカラサルカ如キ狀態ナルヲ以テ一般會計ニ併合スルヲ適當トス

賠償金及國有財產整理資金ハ何レモ一般會計ニ屬スヘキモノナルモ賠償金ハ獨逸ノ賠償問題ノ紛糾ヲ慮リタルト賠償品ノ保管販賣等ノ爲メ又國有財產整理資金ハ官有物ノ拂下ニ因テ得タル資金ヲ以テ各省ニ於ケル營繕等ノ特定財源ニ充當スル等ノ爲メ便宜上設ケタルモノナルニ過キス右ハ共ニ一般會計ニ移シ歲入ハ官有物拂下ニ併合シ歲出ハ各省ノ營繕費及賠償金所定ノ支出科目ヲ以テ計算整理スヘシ

十四、朝鮮總督府

十五、朝鮮醫院及濟生院

十六、臺灣總督府

十七、關東廳

十八、樺太廳

十九、南洋廳

《理由》以上殖民地會計ハ其ノ性質一般會計ニ等シキモノニシテ單ニ收入ヲ生スヘキ地カ本土ト遠隔セルカ爲ニ特別會計トセルニ過キス又朝鮮醫院及濟生院モ亦官營事業ノ計算整理上多少便宜ノ爲ニ特別會計トシタルニ過キスシテ是以外重要ナル理由アルニアラス故ニ以上ハ總テ一般會計ニ於テ經常臨時ノ兩部門ニ適當ノ收支款項ヲ設ケテ整理計算スヘシ

二十、東京、京都、東北、九州、北海道各帝國大學

二十一、官立大學

二十二、學校及圖書館

《理由》以前ハ何レモ一般會計ニ屬シタルモ將來獨立自營セシムル方針ニヨリ剩餘金ヲ運用利殖セシムル爲ニ特別會計ヲ設ケタリト稱セリ然レトモ實際ハ他ノ特殊ノ事情ニヨリ發生シタルモノニシテ今日ニ於テハ其ノ必要ヲ認メス一般會計ノ下ニ歲入ヲ各學校收入及雜收入トシ歲出ニ於テモ各學校名ノ款項ヲ設ケテ整理スヘシ

第二　全然廢止スヘキモノ

一、大藏省預金利子

《理由》本項以下數項何レモ資金基金特別會計ニ屬スルモノナルカ本費ハ預金部ニ關聯スルモノニシテ郵便貯金ニ對シ利子ヲ計算シタル場合ニ一般會計ヨリ其ノ前渡ヲ受ケ後日運用收入ヲ以テ其ノ金額ヲ償還スルモノニシテ卽チ所謂通リ拔ケ勘定ニ過キス廢止スルモ可ナリ

二、教育基金

《理由》清國償金ノ一部ヲ以テ災害準備、軍艦水雷補充、教育等所謂三基金制度ノ內唯一ノ殘存セルモノナルカ日露戰役ノ軍資金トシテ本基金中ヨリ一千五十四萬圓ヲ一般會計借入金トシテ使用シ殘額三十五萬餘圓ニ對シ年々一萬五六千圓ノ利子收入アルノミニシテ何等教育ニ關スル施設ナク單ニ名目上ノ一會計ニ過キサルヲ以テ宜シク之ヲ廢止シ公債償却ニ充當スヘシ

三、公　債　金

《理由》右ハ新規募集ヲ行ヒ各所要會計ヘ移換スル手續上ノ計算整理ノ爲ニスル會計ニ過キスシテ是亦通リ拔ケ勘定ナリ本會計ヲ廢止シ直接所要會計ニ入ルヽモ格別ノ不便ナカルヘシ

四、臺灣官設鐵道用品資金

《理由》鐵道材料ヲ收支スル會計ナルモ唯便宜ノ爲ニ設ケタル通リ拔ケ勘定ニシテ特ニ臺灣鐵道ニ限リ之ヲ存置スルノ必要ヲ見ス

五、陸軍營繕費補充資金

《理由》土地建物ヨリ生スル收入其ノ他ヲ歲入トシ陸軍ノ經費ノ爲メ保存スル會計ナルモ特ニ陸軍ニ限リ存置スヘキ必要ナシ當然廢止スヘシ

六、造幣局資金部、朝鮮醫院及濟生院資金部、各帝國大學資金部、官立大學資金部、學校及圖書館資金部

《理由》以上資金部ハ將來各自獨立自營ノ爲メ設ケタル制度ナルモ是等ハ或ハ其ノ必要モナク或ハ其ノ實現ヲ期スル事困難ナルモノナルヲ以テ之ヲ廢止シ現在ノ資金ハ總テ之ヲ公債ノ償却ニ充當スヘシ單ニ寄附等ニヨル特別資金ニシテ費途

ノ限定セラルヽモノハ預金部ニ預入シテ運用利殖シ各關係官衙ニ於テ元本ニ關スル明細書ヲ作成シ其ノ資產ヲ明ニセハ可ナリ

七、臨時軍事費

《理由》歐洲戰亂ニ關聯シタル本邦軍事費用ニシテ戰局終結後數年ヲ經過シタル今日非常ノ場合ニ處スル變則的會計ヲ存置スルノ不可ナルコトハ世間ノ普ク認ムル所ナリ殊ニ薩哈連ノ撤兵モ早晚實行セラルヘク縱令猶ホ暫時駐兵ストスルモ其ノ殘存期間中ハ陸軍省ノ一般會計中ノ相當科目ニ於テ計上スレハ可ナリ

第三　特別會計トシテ存續スヘキモノ

一、印刷局

二、專賣局

三、千住製絨所

四、製鐵所

《理由》以上四會計ハ曩ニ作業的會計整理ノ項ニ於テ詳說シタル理由ニヨリ姑ク特別會計トシテ存續スルコトヽスヘシ但シ資產狀態及收支計算ヲ公開スルコトヲ條件トスルコト亦既記ノ如シ而シテ官業整理ノ進行ニヨリ全然民業ニ移サルヽモノハ當然削除セラルヘク又一部民業ニ移シ規模ヲ縮少シテ存續セラルヘキモノニ對シテハ其ノ結果ヲ待チテ會計上ノ所屬ヲ再審スヘキモノトス

五、簡易生命保險

《理由》簡易生命保險ハ官營ノ保險事業ニシテ是亦一般政務ノ外ニ特立スルモノナリ而シテ保險金ノ支拂金額ハ年ト共ニ膨脹シ且支拂金額豫定シ難キヲ以テ豫算編成上ニ困難ヲ告クルノ事情アリ故ニ特別會計ノ例ニヨリ收入保險料ヲ以テ保險金ノ支拂ニ充當スルヲ便トスヘシ又本事業ニ對シテハ民間保險ニ於ケル責任準備金ノ如ク適當ノ積立金ヲ設定スルコト固ヨリ必要ニシテ其ノ以外純益ニ相當スヘキ剩餘金竝ニ資金運用ニ因ル收益金ノ如キモ一般剩餘金ニ繰入ルヘキ性質ノモノニアラス是等ノ理由ニヨリ特別會計トシテ存續セシメムトス而シテ事業ニ關スル一切ノ經費モ其ノ財源ヲ以テ支辨セシメ且民營保險業ト同樣ノ賦課ヲ負擔セシムルコトモ亦之ニ適用スヘシ要スルニ政府カ保險事業ヲ營ムコトニ因テ得タル成績ノ眞情ヲ明白ニスル爲ニ別途ノ計算ヲ要求スルモノニシテ從テ資產狀態及收支計算ヲ公開スヘキコト亦論ナキ所トス

附記　以上ハ本會ニ於ケル出席會員ノ多數ヲ以テ議決セル所ヲ集錄シタルモノトス但シ會員中ニハ會議ニ時々缺席シタルモノアリ又或項目ニ對シテハ別箇ノ意見ヲ有スルモノナシトセス覽者之ヲ諒トセラレムコトヲ請フ

經濟攻究會會員（イロハ順）

池田成彬
石橋湛山
西尾豐
西野惠之助
伯爵 堀田正恆
星島二郎
岡實
大口喜六
若槻禮次郎
渡邊鐵藏
川上直之助
田中鐵三郎
田中次郎
辻村楠造
名取和作
成瀬義春

長岡外史
長島鷲太郎
植村俊平
山田英太郎
山口堅吉
山口喜三郎
町田忠治
増島六一郎
福田美知
江口定條
有賀長文
明石照男
水町袈裟六
志立鐵次郎
志村源太郎

經濟攻究會

假事務所 東京市京橋區南鍋町一丁目八
電話 銀座一六六八番

（印刷ヲ以テ謄寫ニ代フ）

經濟攻究會第五回報告

大正十四年六月

經濟攷究會第五回報告

本報告ニ收錄スルモノハ義務教育年限延長問題、圓價回復策及鐵道問題對策ノ三項ナリ右ノ内圓價回復策ハ昨年末本會ニ於テ審議ヲ結了シタルモノニシテ當時三四新聞紙上ニ登載セラレタルカ爾後數月ヲ閲シタル今日ニ於テモ依然我經濟界ノ重要問題タルコト言ヲ俟タス又鐵道問題對策ハ略同時ニ決議セラレ義務教育年限延長問題ハ過般審議ヲ了リタルモノニシテ共ニ本報告ヲ以テ始メテ公表スルモノナリ

義務教育年限延長問題

義務教育年限ノ延長ハ當分之ヲ見合セ先ツ教育内容ノ充實ヲ謀ルコト

〔理由〕義務教育年限ノ延長ハ從來屢次提議セラレ今日モ猶ホ繼續セル問題ナリト雖モ年限延長案ノ内容ニ關シテハ時ニ異同アリ山本内閣當時文政審議會ニ諮問シタルモノ即チ江木案ニ對シテハ一時ノ姑息策トシテ年限延長贊成論者ト雖モ之ニ同意スルモノ尠シ故ニ少クトモ加藤友三郎内閣ニ於ケル鎌田案即チ經常費年々千五百萬圓臨時費三千萬圓ヲ支出スルモノ以上ナルコトヲ要シ之ニ對シテ可否ヲ論スルニ在リ

現在ノ六年制度ヲ延長シテ八年トスレハソレタケ教育ノ量ヲ增加スルノ効力アルコトハ異議ナシト雖モ事ノ輕重順序ト

四圍ノ情況トヲ考慮シテ然ル後裁定セサルヘカラス本會カ時期尚早ヲ唱フル所以ハ一ハ財政上ノ見地ヨリシ一ハ現時ニ於ケル教育内容ノ革新ヲ以テヨリ以上急要ナリト認ムルニ依レリ

方今行政費ノ徹底的整理緊縮ヲ要スルコトハ多言ヲ俟タサル所ナリ現内閣ハ其ノ財政計畫ヲ樹ツルニ方リ之カ緊縮ニ努力シタルヲ認ムト雖モ其ノ成案ニ至リテハ未タ之ニ滿足スル能ハス財界ノ好轉ヲ期待シ民力ノ休養ニ資セムニハ猶ホ一段ノ整理ヲ希求スルモノニシテ苟クモ新ニ支出ヲ増加スルニハ極メテ顯著ナル効果ヲ生スヘキ根據アルモノナラサルヘカラス義務教育ノ延長ヲ以テ相當有効ナルモノトスルニハ最低經常費年々千五百萬圓臨時費三千萬圓ヲ要スルコト前記ノ如シ而モ教育家ノ言ニ據レハ現在尋常小學卒業者ノ八割以上ハ中等教育又ハ補習學校ニ移ルヲ以テ年限延長ニヨリ義務ヲ負フモノハ殘餘ノ二割以内ニ過キス之ヲ以テ觀ルモ年限ノ延長ハ焦眉ノ急務トスルホトノ問題ニアラス財政上ノ實情ニ鑑ミ姑ク之ヲ延期シ他日餘裕ノ生スルヲ待チテ之ヲ實行スルモ決シテ晩シト爲ササルナリ

寧ロ是以上ノ急要ヲ告クルモノハ教育ノ改善是ナリ現時ノ教育カ根本的改革ヲ施スノ要アルコトハ識者ノ夙ニ認ムル所ニシテ單ニ年限延長ノ如キ外形ヲ整ヘムヨリハ深ク教育ノ眞髓ニ入リテ刷新ヲ行フニ如カス目下我普通教育ノ缺陷ハ教員ノ養成宜キヲ得サルト多數ノ生徒ヲ同時ニ教導スルトニヨリ個性ノ啓發ニ力ヲ致ス能ハサルニ在リ又試驗制度ニ因ハレ唯試驗準備ノ爲ニ徒ニ注入ヲ事トシ人物ノ陶冶、德性ノ涵養ヲ輕視スルノ憾アリ其ノ他幾多革新ヲ要スルモノアリテ從來ノ教育方針ノ下ニ於テハ年限ヲ延長スルモ其ノ効果ヲ疑ハシムルノミナラス却テ弊害ヲ助長スルモノナシトセス故ニ先ツ教育方法、師範教育及教員ノ待遇等ノ改善ニ力ヲ注クヲ以テ喫緊トスヘシ故ニ本會ハ教育年限ノ延長ヲ以テ内容改善ノ後ニ於テスルヲ順序トスヘキヲ認メ此ノ方針ニ向テ歩ヲ進メムコトヲ期ス

義務年限延長賛成少數意見ノ要項

本會ハ總會席上多數ノ意見ニヨリ前記ノ通決議シタルカ本問題ニ對スル會員ノ意見ハ區々ニ岐レ之ヲ可トスルノ説モ相當有力ナリシヲ以テ參考ノ爲特ニ新例ヲ開キ少數者意見ノ要領ヲ左ニ附記スルコトトシタリ

一、歐米各國ノ義務教育年限ハ八年以上ヲ通則トス我國ノ兒童ハ國語ノ爲ニ非常ノ苦心ヲ要シ歐米ニ比シ不利ナル上ニ年限亦短キヲ以テ彼我智識ニ著大ナル懸隔アリ國民ノ智德ヲ増進スル見地ヨリ少クトモ二ケ年ノ延長ヲ適當トス

二、特ニ實務方面ニ於テ小學卒業者ヲ雇用スル場合ノ實績ニ徵スルモ尋常ト高等トハ僅ニ二年ノ差ナルモ其ノ能率ニ著シキ相違アリ是レ前者カ半成ナルカ爲ニ外ナラス故ニ少クトモ全國民ヲシテ高等小學卒業以上ノ教育ヲ受ケシメタシ今日財政ノ緊縮ヲ必要トスルモ國家ノ根抵ヲ築クヘキ教育事業ノ爲ニハ相當ノ支出増加ヲ惜ムヘキニアラスシテ此ノ程度ノ費用ハ他ノ節約ニヨリテ優ニ支辨スルヲ得ヘシ

三、國際勞働會議ニ於テ勞働最低年限ヲ十四歳ト定メタルニ對シ我國カ除外例ヲ求メ十二歳トシタルハ是レ義務教育終了後直ニ職業ニ從事シ得ルノ便宜ヲ目標トシタルニ依レリ然レトモ實際此ノ年齡ハ兒童發育上最盛ノ時期ニシテ體質心性共ニ變化多キヲ以テ爾後二ケ年間ヲ以テ上級ノ教育ヲ受ケシムル時ハ教育上ノ能率最モ多ク國民ノ智德向上ニ利スルコト至大ナリ之ニ反シ此ノ時期ニ於テ直ニ勞働ニ服セシムルハ保健上頗ル有害ナルコト言ヲ俟タス若シ又此兩三年ヲ空シク過サシムルハ誘惑ニ陷リ易ク惡習ニ感染スルノ危險アリ

四、世上年限延長ヨリモ教育ノ内容充實ヲ急務トスルノ説アリ現時ノ小學教育ハ固ヨリ完全ナラサルヲ認ムルモ内容ノ改善ハ言フコト易クシテ行フコト難ク急速ニ期成スヘキモノニアラス年限延長ノ効果適切ナルニ如カス現今特ニ缺陷ノ多キハ寧ロ中等以上ノ教育ニ在リテ小學教育ハ概ネ教員ノ熱心ニヨリ相當研究施設セラレ歐米ノ長所モ多ク採用セラレツツアリ猶ホ遺憾アル點ハ年限延長ノ傍ラ徐々ニ改善スルモ晩シトセス

圓價回復策

（大正十三年十二月決議）

圓價ノ回復ハ金貨輸出ノ解禁ニ依ルノ外策ナキヲ以テ速ニ之ヲ斷行スルコト

〔理由〕　本會ハ本年五月第三回報告ヲ以テ我經濟界救治方案ヲ發表シタルカ其ノ一要項トシテ速ニ金輸出禁止ノ解除ヲ行フコトヲ提議シタリ蓋シ圓ノ價値カ弗ノ價値ニ比シテ低位ニ在ルハソレタケ其ノ購買力カ低キヲ示スモノナルカ故ニ日米兩國ノ貨幣購買力ヲ一致セシメ以テ貨幣價値ノ平均ヲ保タシメサルヘカラス而シテ之カ方法ハ正貨ノ機能ヲ復シ之ヲ國際貸借ノ決濟ニ使用スルト共ニ最大消費者タル政府ノ經費ヲ徹底的ニ節減スルノ途アルノミ斯ノ如クニシテ通貨信用ヲ收縮スレハ茲ニ民心ヲ刺戟シテ勤儉努力ニ嚮ハシメ同時ニ物價及勞銀ノ低下ヲ致シ生產ヲ容易ナラシメ輸出ヲ促進スルヲ得ヘシ本會ハ此ノ案ヲ具シテ政府ノ英斷ヲ要望シタル以來既ニ數月ヲ閱シタルカ政府ノ行政財政整理ハ期待シタル如ク行ハレスシテ民心ヲ緊張シ物價ヲ低落セシムル程ノ效力無ク貿易ノ情勢ハ稍觀ヲ改メタルモ是ハ偶々輸出時期ニ入リタル恒例的現象ニ過キス輸出超過ハ豫定額ニ達セサルコト尙ホ遠ク前途ハ再ヒ逆轉スヘキコト明白ニシテ從來ノ莫大ナル輸入超過ヲ補塡スルカ如キハ固ヨリ望ムヘカラス是ヲ以テ爲替ハ更ニ激落シテ我貨幣ノ對外價値益低落シ國家ノ信用遞下ヲ感スルコト實ニ寒心ニ堪ヘス近來爲替問題ハ特ニ世間ノ重視スル所トナリテ金輸出ノ解禁ニ對スル可否ノ議論紛生シ政府當局モ亦之カ調節ニ努力スヘキコトヲ聲明シタリ而モ當局ノ方策トシテ指示スル所ニ據レハ在外正貨ノ拂下內地正貨ノ現送其ノ他ノ方法ニヨリ爲替ノ低落ヲ防止スルノ消極的方針ヲ取ラムトスルニ過キサレハ頗ル不滿トスル所ナリ本會ハ現狀ニ鑑ミ益解禁斷行ノ必要ヲ感シ茲ニ再ヒ之カ決議ヲ爲シタリ其ノ理由ハ曩ニ詳說シタルヲ以テ之ヲ繰返ヘサスト雖モ當局者竝ニ一部論者解禁ノ斷行ヲ躊躇スル根據ノ餘リ薄弱ナルヲ見テ默止スル能ハス少シク前言ヲ補足スルノ要アルヲ認ム

特ニ甚シキ謬見ハ人爲ヲ加ヘスシテ爲替ヲ自然ノ成行ニ放任スヘシトノ意見ニシテ此ノ說ハ爲替ノ低落ハ輸入ヲ制限シ輸出ヲ奬勵スヘキヲ以テ自然的ニ貿易ヲ改善シ爲替ヲ調節スヘキコトヲ期待スルモノノ如シ然レトモ金輸出禁止ノ障壁ヲ設ケ正貨ヲ以テスル貿易ノ決濟ヲ停止スルニハ是レ河流ヲ杜塞スルト同一ニシテ人爲ヲ濫用シテ自然ニ反抗スルコト是ヨリ大ナルハ無シ此ノ如クニシテ貿易ノ回復ヲ望ムハ百年河清ヲ待ツニ均シ元來我國ハ物資ノ供給豐富ナラス純然タル輸出品トシテ倚賴スヘキモノハ生絲外數品ニ過キス紡績絲及毛織物ノ如キハ皆原料ヲ外國ニ仰カサルヘカラス其ノ他必需品トシテ輸入ニ待タサルヲ得サルモノ頗ル多シ故ニ今後或ル程度以上輸入ノ減縮ヲ望ムコト困難ニシテ而モ爲替低落ノ爲ニ非常ナル高價品ヲ購入スルコトトナリ全國民ノ損害量ルヘカラス又輸出方面ヲ觀ルニ目下生絲及綿絲等ハ活況ヲ示セルモ是ハ英米財界ノ好況、支那內亂ノ終結等外國ノ事情ト爲替關係ト相綜合シテ輸出ヲ促進シタルモノニシテ今後海外ノ急需一巡スルト同時ニ物價ノ昂進ニ基ク生產費ノ遞增ニ因リ輸出ノ挫折ヲ招クヘキコト明ニシテ永續性ニ乏シキモノト稱スヘシ徒ニ一時ノ現象ヲ見テ將來ヲ考慮セサルハ實ニ淺見ト謂フヘシ

次ニ政府當局者竝ニ之ニ附和スル論者ノ所見ヲ概言スレハ金ノ輸出解禁ハ之ヲ至當ト認ムルモ既ニ時機ヲ逸シタルヲ憾ム若シ今日之ヲ實行スル時ハ爲替及商品市價ノ激變ニヨリ關係業者中ニ甚大ナル損傷ヲ與ヘ延テ財界ノ恐慌ヲ激成スヘキヲ以テ解禁ハ爲替カ平價ニ回復スルノ時ヲ待タサルヘカラスト云フニ在リテ應急ノ方策トシテハ前記ノ如キ消極的方針ニ依リテ爲替ヲ調節シ徐々ニ官民節約ノ實行ト生產ノ奬勵トニ依リテ貿易ノ逆勢ヲ救治セムトスルモノノ如シ

右ハ當局者トシテ各方面ニ支障ヲ及ホササル意義ニ於テ穩健ナル措置ノ如ク感セラルト雖モ此ノ如キ姑息ナル手段ハ最早今日ニ於テハ何等施ス無キト擇フ所ナカルヘシ第一解禁カ時機ヲ逸シタルコトハ本會モ亦之ヲ認ム故ニ今日之ヲ實行

スレハ其ノ後レタルタケ反應激烈ニシテ苦痛深刻ナルコト亦免カルルヲ得ス恰モ外科手術ニ因テ患部ヲ切開スルカ如シ輕症ノ時ニ於テ之ヲ施セハ極メテ容易ナリシモ今日ニ及ヒテハ比較的大ナル苦痛ヲ忍ハサルヘカラス而モ之ヲ嫌忌シテ時日ヲ遷延セハ病ハ遂ニ膏肓ニ入リ策ノ施スヘキ無キニ至ラムトス金解禁ノ斷行ニヨリ一部犧牲者ヲ出スハ避クヘカラサルコトニシテ之ニ因テ物價騰貴ニ苦シミツツアル全國民ノ困弊ヲ救治シ危殆ニ趨カムトスル國家ノ經濟的基礎ヲ保持シ得ルコトニ想到セハ其ノ得失輕重ノ差固ヨリ智者ヲ待チテ後ニ知ラス且夫レ突發的作用ニ因リ物價激落スル場合ニ於テ之カ影響ヲ被ル者ハ主トシテ投機者流ニシテ眞正ナル取引業者ハ金解禁反對論者ノ惧ルル程甚大ナル實害ヲ受クルモノニアラス一時彼等ハ苦痛ヲ感スヘキモ久シカラスシテ市場平靜ニ歸シ爲替ノ安定ト共ニ堅實ナル取引行ハレ在荷品ノ需要起リテ若痛緩和セラレ茲ニ產業貿易ノ生面ヲ開クヲ得ヘシ爲替ノ急激ナル回復カ財界ニ及ホス影響ノ案外憂フル足ラサルハ本年三月中旬後佛國法貨ノ價値激騰シタル當時ノ事情最モ雄辯ニ之ヲ證明スポアンカレーハ嚴密ナル調査ノ上法貨暴落ノ眞因カ財政ノ紊亂歲出入ノ大不平均ヨリ生スル信用ノ失墜ニ在ルヲ確メ財政ノ整理緊縮ト租稅ノ增徵トヲ斷行シテ以テ歲出入ノ確實ナル均衡ヲ期スヘキ大決心ヲ爲シ一律二割增稅案其ノ他ノ財政案ヲ議會ニ提出シテ其ノ同意ヲ得ルト共ニ英米兩國ニ「クレデイツト」ヲ設定シテ爲替資金ニ備フルノ方策ヲ定メタリポアンカレーニ代リテ內閣ヲ組織シタルエリオーモ全然前內閣ノ財政政策ヲ踏襲シ豫算ノ嚴正ナル均衡ヲ期スルコト絕對必須ナル旨ヲ聲明シ著々之ヲ實行セリ斯ノ如クニシテ法貨ハ急激ニ回復シ本年三月八日英貨一磅ニ對シ百二十二法五〇ニ下落シタル爲替相場（造幣比價二十五法二二五）ハ四月二日七十三法ニ昂騰シ即チ一ケ月ニ滿タサル內平價ニ對スル低價割合三十八割ヨリ十九割ニ暴騰セリ之カ爲ニ諸株式暴落シ蘇士運河株ハ一萬四千六百法ヨリ九千二百法ニ「リオテイント」銅山株ハ三千八百二十法ヨリ二千四百法ニ激落スル等株式市場ハ大混亂ノ狀ヲ呈シ銀行亦大ニ警戒セリ然レトモ一般國民ハ案外冷靜ニシテ政府ノ決心ヲ歡迎シ眞正ナル商工界ハ格別動搖ノ模樣無ク投機界以外ハ平穩ニ經過シ爾來貿易頗ル順調ニ進捗シテ本年初以來七月末マテニ二十億餘法ノ輸出超過ヲ來シ殊ニ製造品ノ輸出著シク增加セリ又物價ノ指數ニ於テモ本年四月末卸賣商品ハ二月末ニ比シ九十六「ポイント」下落シタリ其ノ後幾分反動ノ氣配アリシモ大體下落ノ趨勢ヲ辿リ就中內國產ノ食料品ニ於テ著シキ低落ヲ告ケ一般民衆ノ苦痛頗ル輕減セラレタリ今我國ノ經濟狀態如何ニ不良ナルモ金解禁ノ爲圓ノ價値急激ノ回復ヲ告ケタリトテ論者ノ惧ルヽカ如キ恐慌ヲ招致スルコト無カルヘキハ佛國ノ近例ニ徵シテ疑ナシト信ス

第二爲替ノ平價ニ復スルヲ待チテ解禁ヲ實行セヨト言フニ至リテハ其ノ眞意ヲ解スルニ苦シム蓋シ解禁ハ手段ニシテ目的ニアラス之ヲ行フハ爲替ヲ回復セムカ爲ナリ若シ他ノ方法ニヨリ爲替カ容易ニ回復シ目的カ達成セラルルニ於テハ何ソ復タ解禁ヲ要セムヤ當局者ハ前記ノ如ク國民ノ緊縮ト生產ノ振興トニ依リ現態ヲ救濟シ得ルコトニ屬望シ英國カ實行シタル事例ニ摸倣セムト期スルカ如キモ是ハ我國情ト民心ノ機微ニ洞達セサルモノナリ由來我國ハ天惠ニ乏クシテ富源ノ拓殖、產業ノ振興ニハ特別ノ奮勵ヲ要スルニ拘ハラス近時民心ノ歸趨ヲ觀ルニ遺憾ナカラ意思荒怠シテ緊張味ヲ缺ケリト謂ハサルヲ得ス火ニ遇テ狼狽スルモ煙ヲ見テハ警メス敵國外患ニ對シテハ極度ノ發憤ヲ致スモ財界ノ土崩的侵蝕ニ因ル邦家ノ危難ニ冷淡ナル國民ニ對シテハ敢テ好マヌコトナカラ金貨流出ナル鐵槌ヲ加ヘ災害ノ身ニ迫レルヲ自覺セシメサルヘカラス歐米ノ經濟學者中爲替ノ急激ナル昇騰ヲ戒ムル者アルモ是ハ普通一般ノ場合ニ適用スヘキ學說ニシテ反省心ニ乏シキ我國民ニ應用スヘキニアラス我政府ノ行財政整理カ佛國ノ如ク行ハレタラムニハ國家ノ信用ト共ニ圓價モ多少回復シタルヘキニ政府ノ整理カ既ニ識者ノ期待ヲ裏切リタル以上速ニ金ノ輸出禁止ヲ解除スルノ必要愈大ナルヲ加ヘタリ徒ニ口舌ニ依ル訓誡又ハ紙片ノ宣傳ノ如キハ何等ノ效力無カルヘシ

尙ホ大藏省ハ大正六年九月省令ヲ以テ金ノ輸出制限及金貨ノ鑄潰等ヲ禁止シ更ニ本年十一月ヲ以テ正金銀行カ金地金ヲ

賣却スルニ當リ從來造幣價格ヲ標準トシタルヲ改メテ以後爲替相場ニ據リ賣却スルコトヲ發表シタルカ此ノ兩者ハ法律ニ據ラスシテ事實上兌換制度ヲ停止シ兌換券ヲ不換紙幣ト爲シタルト同一ノ效力アル行政行爲ニシテ而モ勅令ニモアラサル一片ノ省令又ハ通知ヲ以テ法律ヲ變更シタル重大事件ナルカ斯ノ如キハ憲政各國ニ實例ナキハ勿論我憲法ノ條項ニ照シテモ其ノ不法ナルハ言ヲ待タス然ルニ國民深ク之ヲ怪マサルモノ亦以テ我國民ニ痛擊ヲ加ヘテ之ヲ覺醒スルノ理由タラストセス

以上說キ來レハ今日ハ最早唯一ノ手段タル金輸出ノ解禁ヲ取ルノ外良策ナシ現實ニ苦痛ヲ體驗スルニ因テ生スル國民ノ自覺的節制及努力ト通貨收縮ニ伴フ物價ノ低落ト相待チテ始テ產業ノ伸暢、爲替ノ好轉ヲ望ムヲ得ヘシ要ハ當局者ノ英斷如何ヲ顧ルノミ

鐵道問題對策 （大正十三年十二月決議）

鐵道新設工事ノ中止ハ財政整理上喫緊ノ事ニ屬スルヲ以テ既定計畫ハ斷然之ヲ打切リ運賃ノ低廉運送能率ノ增進ニ全力ヲ盡スヘキコト

〔理由〕本項モ亦本會カ曩ニ決議シタル政府事業整理方案中ノ一項ニシテ其ノ理由ハ載セテ第二回報告中ニ在ルヲ以テ茲ニ記述スルノ要ナシ唯再ヒ此ノ決議ヲ爲シタル所以ノモノハ鐵道豫算問題カ紛糾ヲ極メタルノミナラス協調ノ結果トシテ傳ヘラル、成案カ財政整理ノ精神ニ違フヲ見テ頗ル技癢ニ堪ヘス重ネテ世論ニ訴ヘムト欲ス

抑モ財政ヲ根本的ニ建直シ我財界ノ救治ト民力ノ休養ヲ謀ルハ現內閣カ公表シタル政綱ノ一ニアラスヤ此ノ目的ヲ達成スル爲ニハ非常ノ決心ト努力ヲ要スルト同時ニ萬般ノ施設ニ方リテハ事態ノ輕重緩急ヲ衡量シ國家全體ノ利害ヲ顧ミサルヘカラス從テ一切ノ情實ヲ排斥シ從來ノ行掛リニ拘泥セサルハ勿論之カ爲ニ多大ノ犧牲ヲ拂ヒ一時ノ不便ヲ忍フコトモ亦已ヲ得サルナリ今次問題トナレル鐵道施設ノ如キハ最モ痛切ニ之カ適用ヲ受クヘキモノニシテ歷代內閣ノ誤レル鐵道政策ハ此ノ際斷然拋棄スヘキモノナルコト多言ヲ待タス新鐵相ノ最初ノ提案トシテ傳ヘラルルモノヲ觀ルニ改良ト建設トノ比率ニ對シ大ナル變革ヲ加ヘタルハ之ヲ多トスト雖モ實際ヲ言ヘハ猶ホ囚ハルル所アルニ歉焉タラサルヲ得ス況ムヤ舊來ノ政策ヲ復活セムト努ムルニ於テヲヤ固ヨリ各地方ノ事情ト各箇人ノ立場ヲ異ニスルカ爲ニ之カ主張ヲナスモノナルヘシト雖モ飜テ我財政ノ實情ニ鑑ミ眼ヲ大局ニ注クニ於テハ這般問題ハ瞬時ニ解決スヘシ多クノ貴重ナル時間ヲ費シ波瀾曲折ヲ重ネテ而モ其ノ歸著スル所彼ノ如キハ實ニ遺憾ニ堪ヘス

勿論鐵道ノ發達ハ產業ノ振興ニ至大ノ關係ヲ有スルカ故ニ寸時モ閑却スヘキニアラスト雖モ現下ノ財政狀態トシテハ投

下シ得ヘキ資金豐富ナラサルヲ以テ出來得ル限リ之ヲ活用シ其ノ施設ヨリ生スル收利ノ多大ヲ期セサルヘカラス故ニ運輸上ノ故障續出シ滯貨堆積セル今日ニ在リテハ運賃ヲ低下シ且輸送能率ノ增進ニ全力ヲ盡スヲ以テ急務トスヘシ是レ反テ鐵道ノ收益ヲ增加スルト同時ニ產業ノ發展ヲ助長スヘキ兩全ノ策タルノミナラス收益ノ餘裕ハ他日建設工事費ニ充用シ得ルノ利アリ所謂鐵道既定計畫ナルモノノ杜撰ナルコトハ曩ニ之ヲ指摘シタリト雖モ其ノ中實際建設ノ必要アルモノ亦之レ無シトセス若シ鐵道ノ營業成績好化ニ賴リ建設工事ノ進捗ヲ期待スルヲ得ハ縱令ヒ著手ノ日ヲ遲延スルモ竣成ノ期ハ却テ速ナルヘシ鐵道當局者カ改良ニ重キヲ置ク趣旨ノ中ニテ此ノ意ヲ加味セルコトヲ仄聞セリ之ニ關シテハ贊同ニ憚カラサルト同時ニ本會ハ更ニ一歩ヲ進メ新設工事ハ當分之ヲ中止シ以テ財政整理ノ精神ヲ貫徹セムコトヲ冀望シテ止マサルナリ

經濟攻究會會員（イロハ順）

岩佐理藏
池田成彬
石橋湛山
西尾豐
西野惠之助
伯爵 堀田正恒
星島二郎
岡實
大口喜六
若槻禮次郎
渡邊鐵藏
川上直之助
田中鐵三郎
田中次郎
辻村楠造
名取和作
成瀨義春

長岡外史
長島鷲太郎
植村俊平
山田英太郎
山口堅吉
山口喜三郎
町田忠治
增島六一郎
福田美知
小林正直
江口定條
有賀長文
明石照男
結城豐太郎
水町袈裟六
志立鐵次郎
志村源太郎

經濟攻究會
假事務所 東京市京橋區南鍋町一丁目八
電話銀座一六六八番

經濟攷究會第六回報告

大正十四年八月

（印刷ヲ以テ謄寫ニ代フ）

經濟攻究會第六回報告

最近開催ノ本會總會ニ於テ議了シタル財政整理續行ニ關スル決議ヲ公表スル爲ニ茲ニ本報告ヲ刊行シタリ又米國大統領カ米國聯邦政府行政整理會ニ於テ爲シタル前後二回ノ演說ハ本件ニ關シ適好ナル參考資料ナルヲ認メ特ニ之ヲ抄譯シテ後尾ニ登載シタリ

財政整理續行ニ關スル決議

本會ハ財政ノ整理緊縮ヲ續行シ之カ徹底ヲ期スルノ精神ヲ以テ來ルヘキ年度ノ財政計畫ヲ樹立スルノ必要アルヲ認メ左ノ決議ヲ爲ス

一、緊縮政策ハ唯ニ之ヲ續行スルノミナラス更ニ一層ノ努力ヲ以テ之カ徹底ヲ期スルコト

二、來年度豫算ノ編成ニ當リテハ本年度ニ比シ更ニ削減ヲ加フヘキコト

三、國費ノ節約ニ因テ生スル財政ノ餘裕ハ之ヲ賦課ノ輕減ト國債ノ償還トニ充當スヘキコト

〔理由〕 本會ハ曩ニ我財界救治方策ノ一トシテ一般行政ノ整理緊縮ヲ行ヒ國費ヲ節約スヘキコトヲ決議シタルカ幸ニ財政當局者モ茲ニ留意シ大正十四年度豫算ノ編成ニ當リ此ノ方針ノ下ニ工夫經營セラレタルニ對シテハ敬意ヲ表スルモノナリ然レトモ本會ハ未タ當局ノ成案ニ滿足セス緊縮ノ精神ヲ徹底セシムルニハ猶斧鉞ヲ加フルノ餘地多大ナルヲ認ム殊ニ

特別會計ニ於テ最モ然リトス故ニ來年度以降ノ豫算ニ於テ更ニ政費ヲ截斷シテ賦課ノ輕減ト國債ノ償却トヲ策シ以テ産業ノ振興ニ資センコトヲ希望シテ止マス而モ世間ノ一部ニハ早クモ緊縮政策ニ對シテ批難ノ聲ヲ洩シ積極政策ノ再現ヲ渇望スル者アリテ或ハ政府部内ニモ之ヲ傾クノ虞ナキヲ保セス是レ最モ戒心ヲ要スル時機ナリトス

惟フニ緊縮政策ヲ以テ商工業不振ノ源因ト爲スノ俗論ハ經濟ノ理ニ通セサル者ノ陷リ易キ迷誤ニシテ物資勞務ノ最大購買者タル中央政府及地方行政機關カ其ノ經費ヲ節減セハ從來是等ニ供給セラレタル多量ノ物資幷ニ是等ニ依テ衣食シタル多數ノ勞務ハ忽チ其ノ途ヲ塞カレ就中軍人、文官、警吏等多數ノ失職者ハ産業界ノ勞働者ト爭フテ餬口ノ途ヲ計リ從テ一般ノ勞働賃金ヲ低下シ勞働者ノ生活程度ヲ降下スルニ至ルヘシトハ此種俗論者ノ信スル所ナランモ是レ大ナル錯誤ナリ抑モ政費ノ大部分ハ將來ニ收入ヲ生シ又ハ資本ヲ增殖スル能ハサル所謂非經濟的經費ニ屬シ而シテ其ノ資源タル租税ハ種類ノ何タルヲ問ハス悉ク國民ノ資本若クハ所得ヨリ搾取セラレサルハナク租税トシテ給付セラル、資本所得ノ大部分ハソレタケ國ノ生産資本又ハ國民ノ蓄積ヲ減縮シテ産業經濟ノ基本ヲ消耗ス故ニ今財政ヲ緊縮シテ國民ノ負擔ヲ輕減セハ國民ハ之ニ由テ得タル所ヲ浪費セサル限リ或ハ蓄積シ或ハ直ニ生産資金ニ運用スヘキカ故ニ産業振興國家繁榮ノ基ヲ成スヘシ租税輕減ノ産業界ニ於ケル好影響ハ案外急速ニシテ政費削減ノ爲其職ヲ失ヒタル者等ハ間モナク新ナル事業ニ吸收セラルヘク彼等一時ノ苦痛ハ決シテ憂フルニ足ラス其最モ著シキ事例ハ北米合衆國ノ近情善ク之ヲ證明ス同國ハ平和克復ト共ニ一方ニハ軍隊ヲ解放シ他方ニハ行政整理ヲ實行シ殊ニ大正十年ヨリ緊縮政策ニ着手セル結果同年五、六月ノ交全國六百萬以上ノ失職者ヲ出セルモ後段更ニ陳フルカ如ク毫モ顧慮ス所ナク爾來鋭意緊縮方針ヲ勵行シタル爲産業頓ニ振興シ失職者月ト共ニ減少シ大正十二年末ニハ殆ト其ノ全部ヲ事業界ニ吸取シ昨大正十三年ハ景氣益良好ニシテ勞働ノ需要從テ旺盛ニ赴クノ實情ナルニ而モ同國政府ハ益緊縮方針ノ步ヲ進メテ止マス

抑モ我財界ノ困憊今日ノ如ク深刻ナルハ有史以來ノ大震害ニ遭遇シタルコト其ノ一因ナリト雖モ其ノ根源ハ戰時及戰後ニ於テ官民共ニ其ノ經營ヲ誤リ財務當局者積極方針ヲ提ケテ人心ノ浮華財界ノ狂熱ニ油ヲ注キタルニ在リ若シ早ク緊縮ニ着手シタランニハ此ノ極ニ至ラサリシナランニ憾ムラクハ整理ノ斷行手後レタルヲ以テ創痍ハ實ニ深甚ヲ呈シタリ今日ノ不景氣ハ其ノ結果ノ現ハレタルモノニシテ急速ニ之カ轉換ヲ期スルヲ得ス思フニ今ノ所謂積極政策トハ具體的ニ如何ナルモノヲ意味スルカ了解ニ苦シムト雖モ若シ國債ヲ募集シテ或ハ不急ノ鐵道ヲ建設シ或ハ特種ノ事業ヲ保護スル等國民全般ノ負擔ニ因テ一局部ヲ潤ホサントスルカ如キモノナラハ是レ前車ノ覆轍ヲ踏襲シ病勢ヲ逆轉シテ救濟ノ根抵ヲ破壞スルモノナリ

政府ノ緊縮案カ未タ本會ノ期待ニ副ハサルコトハ既ニ說クカ如シ最近ニ於ケル財政ノ實績ハ此ノ斷定ノ誤ラサルコトヲ證明シタリ即チ彼ノ程度ノ緊縮ニテハ新ニ增税シ若クハ國債ヲ公募セサルニ止マリ未タ減税ヲ試ミ又ハ國債償却ヲ行フニ至ラス之ニ因テ觀レハ緊縮政策ハ唯ニ之ヲ續行スルノ必要アルノミナラス更ニ一層ノ强味ヲ加ヘ一層ノ發憤ヲ以テ之ニ當ルニアラサレハ當初ノ意志ヲ貫徹スル能ハス從テ來年度ノ豫算編成ニ當テハ今年度ニ比シ更ニ大ナル節約ノ實ヲ擧ケサルヘカラス事固ヨリ容易ナラスト雖モ軍備ニ於テハ勿論一般行政ニ亘リテモ猶ホ冗員冗費ノ省減スヘキモノ繁文縟禮ノ整理スヘキモノ多々アルハ疑ヲ容レス之ニ關シテハ英米兩國カ戰後政費ノ節約ニ對シ非常ノ努力ヲ拂ヒタルコト以テ師表トスルニ足ルヘク就中米國カ最近四年間ニ斷行セル節約ノ實例ハ最モ參考ニ値スルヲ以テ其ノ梗概ヲ陳ヘンニ米國ハ大正十一年度ヨリ中央財政上ニ一大改革ヲ施スト共ニ行政財政ノ整理緊縮ヲ目的トシタル「ビジネス、オーガニゼーション、オブ、ゼ、ガヴアメント」（行政整理會ト譯ス）ナルモノヲ組織シ豫算局長（ドース氏當初之ニ任シ後ロード氏之ヲ襲グ）ヲ委員長トシ行政各部長ヲ委員トシ大統領ノ熱誠ナル指導ノ下ニ政費ノ徹底的削減ヲ圖リ大正十年六月第一回

委員會ヲ開キ爾來毎年二回之ヲ繼續シテ本年六月第九回ニ達シ其ノ間ノ努力、實績歎稱ニ堪ヘサルモノアリ今其ノ成績ノ一斑ヲ觀ルニ該會設立前年度即チ大正十年度ノ歳出決算額（國債償却費及郵便費ヲ除ク）五拾壹億千六百萬弗ナリシカ爾後年々其ノ額ヲ減少シテ國民負擔ノ輕減ヲ圖リ本年度即チ大正十三年七月ヨリ十四年六月ニ至ル一年度ノ歳出推定額（國債償却費及郵便費ヲ除ク）ハ參拾億參千五百萬弗ニシテ既往四年間ニ於ケル歳出削減額實ニ貳拾億八千壹百萬弗ニ達シ昨年度ニ對シテ約貳億弗ノ歳出減少ヲ示シ從テ歳入ニ於テモ内地税幷ニ關税收入約壹億參千萬弗ノ減額ヲ呈シ居レリ國債ハ大正十年度末ノ貳百參拾九億七千七百萬弗ヨリ本年六月ノ貳百〇五億五千壹百萬弗ニ減シ其ノ間參拾四億貳千六百萬弗ノ償却ヲ了シ從テ國債利子支拂額大正十年度ノ拾億弗ヨリ本年度ノ八億七千萬弗ニ減少シテ壹億參千萬弗ノ輕減ヲ告ケタリ行政整理會設立前ニハ國債時價額面以下ナリシニ財政緊縮ノ結果今ハ額面以上ニ昇リ短期公債ノ發行條件モ漸次好化シ本年六月發行ノ三步利付一年期限ノ國庫證券ハ殆ト四倍ノ申込ニ達セル程ニシテ前記ノ最近四年間ニ於ケル國債利子減少額壹億參千萬弗ノ内參千萬弗ハ國債ノ信用昇騰シテ其ノ利率降下セル結果ナリト云フ大統領ノ明言スル所ニ據レハ本年度ノ歳出入決算ハ約貳億弗ノ國庫剩餘金ヲ生スヘク來年度ニ至リテ更ニ貳億九千萬弗ノ剩餘ヲ生スヘキヲ以テ此ノ餘裕ヲ租税ノ輕減ト國債ノ償還トニ充當スル爲本年六月既ニ短期公債貳億八千萬弗ヲ償却シ本年秋ノ議會ニハ約參億弗ノ減税案ヲ提出スル決心ヲ有セリト云フ而モ大統領ハ建設的節約（コンストラクチーブエコノミー）ノ必要ヲ力說シテ行政各部ノ發憤ヲ要請シ國民ノ負擔ヲ輕減シテ産業ノ發展ニ資セサレハ止マサルノ慨アリ（末段大統領ノ行政整理會ニ於ケル演說ノ拔抄參照）米國ノ實例ハ直ニ我國ニ移スヘカラサル事情アリト雖モ斷乎トシテ目的ノ貫徹ニ努メ半途ニシテ遲疑スルカ如キコトナキ熱情ト奮鬪トハ取テ以テ模範トスルニ足ルト同時ニ緊縮政策ノ勵行ハ結局國力發展ノ素地ヲ作ルノ効果顯著ナルコトヲ證示スヘシ翻テ我財界ヲ觀ルニ其ノ疲弊ハ稍緩和ノ跡ナキニアラサルモ未タ好轉ヲ宣言スルヲ得ス物價勞銀及金

利ハ未タ著シキ低下ヲ致サス圓價ノ回復未タ捗々シカラス貿易ノ前途未タ樂觀ヲ許サス事業界ノ整理未タ完了セス米國ノ實情ニ對比シテ慙愧ニ堪ヘサルナリ

今後幸ニ緊縮ノ强行整理ノ遂成ニ因リ國費ハ大ニ節約セラレ財政ニ餘裕ヲ見込ミ得ルニ至ラハ必ス是ヲ以テ租税ノ輕減ヲ企畫スヘシ又豫算現計ニ於テ剩餘金ヲ見ルコトアラハ直ニ國債ノ償却ニ充當スヘシ聞ク所ニ據レハ大正十三年度ニ於テ偶々貳億貳參千萬圓ノ國庫剩餘金ヲ生スヘシト云フ此ノ内少クトモ使途未定ノ壹億貳參千萬圓ハ是ヲ以テ國債ヲ償却スヘシ從來ノ如ク後年度ノ財源ニ保有スヘカラス本會ハ豫テ税制ノ整理ハ減税ヲ爲スノ意義ニ於テ之ヲ決行スヘキコトヲ決議シ又國庫剩餘金ヲ以テ必ス國債ヲ償却スヘキコトヲ決議シタルカ財界ノ救治ハ國民ノ負擔ヲ輕減シ民力ノ休養ヲ謀ルニアラサレハ終ニ望ム可カラス官民勤儉ノ結果資金潤澤トナリテ金利低下シ物價勞銀亦共ニ低落シテ自然生産ヲ刺戟スルニ至リ茲ニ始メテ財界ノ回復ヲ期スルヲ得ヘク商工振興ノ光明ヲ認ムルヲ得ヘシ斯ノ順境ニ到達セハ國民ハ鼓セストモ踴躍スヘク鞭タストモ前進スヘシ所謂積極的施設ハ國民自ラ進ンテ之ヲ實行スルノ時機ヲ待ツヲ順序トスヘシ最近改造ヲ見タル內閣ニ於テハ固ヨリ從來ノ財政方針ヲ續行スヘキヲ信スト雖モ近ク來年度ノ豫算ヲ編成シ其ノ財政上ノ革新ヲ計畫シテ來ルヘキ議會ニ臨ムノ準備ヲ爲サントスルニ際シテハ特ニ緊張ヲ要スヘク聊ニテモ俗論者ノ言議ニ牽制セラレ所信ノ斷行ニ弛緩ヲ生スルコトアルヘカラス是レ本會カ前言ヲ繰返シ新ニ決議ヲ爲ス所以ナリ

本年（大正十四年）一月二十六日米國聯邦政府行政整理會第八回定時會ニ於ケル大統領クーリッヂ氏演説概要

此ノ種類ノ會合ハ諸國ノ歴史上類ナキ事デアラウ。本會ハ吾等ニ最有益ナル効果ヲ與ヘタ。政府ノ行政ヲ事務的（ビジネスウエイ）ニ執行スル爲メ本會ハ必要デアル。吾等四年間ノ努力ガ如何ニ成効シタルカハ數言ヲ以テ之ヲ言ヒ現ハスコトガ出來ル。一九二一年ノ會計年度ニ於テ吾等ハ五、五三八、〇〇〇、〇〇〇弗ヲ費シタ。本年度ニハ三、五三四、〇〇〇、〇〇〇弗ヲ費ス豫算デアル。以上ノ數字ハ四年間ノ歳出ニ二、〇〇四、〇〇〇、〇〇〇弗ノ減少ヲ示スモノデアル。此ノ四年間國債ニ於テハ約三、一九八、〇〇〇、〇〇〇弗ノ減額ヲ來シタ。是レハ國債利子ノ年額ガ九九九、〇〇〇、〇〇〇弗カラ八六五、〇〇〇、〇〇〇弗ニ減少シテ一年一三四、〇〇〇、〇〇〇弗ノ節約ヲ爲シ得タコトヲ意味スルモノデアル。同期間ニ國民ハ一年約貳拾億弗ノ租税輕減ニ由テ益セラレタ、是レハ確ニ羨ムヘキ成績テアル。ソレハ政府ノ行政部ト立法部トガ信用ヲ頒ツヘキ成績デアル。予ハ議會ニ要求シタ歳入案ノ立場ヨリ節約ヲ實行スル責任ヲ有シ、數年間此ノ責任ヲ果シタ。予ガ節約ノ責任アル如ク各位モ亦議會ガ許シタ歳入ノ支辨上節約ヲ行フ責任ヲ有スルモノデアル。

當國ノ人民ハ戰時税ノ重キ負擔ノ下ニ耐エ忍ンダノミナラズ彼等ハ勇敢デアツタ。彼等ノ負擔ハ著ク輕減セラレタトハイヘ吾等ノ奮闘ハ人民ノ負擔ヲ更ニ輕減スルコトニ盡サレネバナラヌ。吾等ハ政府ノ經費ヲ節減シ得ルコトヲ證明シタガ、予ハ此ノ經費ヲ更ニ節減センコトヲ提議スル。此ノ努力ニ就テ予ハ各位ノ忠實ナル援助ヲ期待スル。今晩各位ガ此ノ會ヲ去ルニ方リ、從來ヨリモ少ナキ金（カネ）ニテ各位ノ活動ヲ持續スベキ最善ノ努力ヲ爲スノ決心ヲ以テ歸レ。僅少ノ額デモ不必要ナル經費ニ對シテ警戒スルノ覺悟ヲ持テ。本年度ノ決算ニ於テ多額ノ剩餘金ヲ生ゼシムル決心ヲ持テ。是等ガ各位ノ誇ルベキ尊キ努力デアル。國庫金ノ消費ニ任ズル公僕ノ犧牲ガ政府ニ金（カネ）ヲ提供スル納税者ノ犧牲ニ略ボ匹適センコトヲ予ハ求ムルモノデアル。

予ハ納税者ノ利害ヲ考ヘテ今各位ニ談ヲ進メル。彼等ノ利害ハ則チ吾等ノ利害デアル。彼等ニ奉任シ、彼等ニ善ク、且誠實ニ奉仕スルコトガ吾等ノ義務デアル。納税者ハ我ガ經濟組織ノ主柱タリ、基礎タル者デアル。吾等ハ彼等ノ租税ノ負擔ヲ減ズルコトニ由リ最モ善ク彼等ニ奉仕スルヲ得ル。若シ各位ガ此ノ間斷ナキ節約ノ請求、强要ニ耐エ難ク思フナラバ各位ノ努力ニ由テ惠マレル人々ノ上ニ思ヲ致セ。其ノ時各位ハ其ノ努力ニ一層ノ勇氣ヲ覺ユルデアラウ。當國ハ盛運ニ向ッテ居ルガ、此ノ盛運ハ主トシテ政府ノ經費上ニ加ヘラレタル節約ノ結果デアル。此ノ節約ガ實業ヲ刺戟シ、失職ヲ除去シ、賃金ヲ高クシ、仕事ヲ豐ニシタルモノデアル。此ノ節約ガ一九二一年以後今日ニ至リテ吾等ノ公債ヲ顯著ニ減額スルヲ得シメタモノデアル。此ノ節約ガ租税ヲ輕減セシメ得タモノデアル。

昨年六月一日ノ本會ニ於テ予ハ政府ノ俸給支拂額ヲ減少スルノ必要ニ就テ各位ノ注意ヲ求メタ。人件費ノ事ハ常ニ腦裏ニ保タレネバナラヌ。ソレハ吾等ノ經費ノ最モ重イ一項目デアルカラデアル。一九一三年「ディストリクト、オブ、コラムビヤ」ニ於ケル政府ノ平均年俸ハ千百參拾四弗デアツタ。一九二四年七月一日其ノ平均年俸ハ千七百四拾九弗トナツタ。是レハ右ノ期間ニ平均年俸ニ六百拾五弗ノ增加ヲ示スモノデアルガ、同期間ノ生活費ガ六百拾五弗增シタト主張シ得ル人ガアルト予ハ考ヘラレヌ。是レハ五割四分以上ノ增加デアル。各等級ニ於ケル總吏員ノ俸給ガ其ノ等級ニ對シテ許サレテアル平均率ニ達スルナラバ、平均俸給ハ一年千八百〇九弗トナル。吾等ハ政府俸給支拂額ノ節減ヲ行フ爲メ俸給ノ削減ヲ望ム譯ニ行カヌカラ、期スル所ハ人員ノ減少テアル。一九二四年政府ノ俸給支拂額ハ拾六億八千萬弗ト云フ驚クベキ數字デアルコトヲ予ハ各位ニ注意スル。吾等ハ餘計ナ吏員ヲ有シテ居ル。予ハ聯邦政府行政官ニ對シテ現在使用シ居ルヨリモ少キ吏員ニテ事務ヲ

執行シ得ル工夫ヲ凝サンコトヲ勸告スル。

次年度即チ一九二六年度ノ豫算ヲ覽レバ財政ノ前途ハ意ヲ强ウスルニ足ル。豫算案ガ此ノ會期ニ於テ議會ノ支持ヲ受ケルナラバ予ハ次ノ豫算ニ於テ一層租税ノ輕減ヲ圖ルコトガ出來ヤウ。一九二六年度ハ參億七千參百萬弗以上ノ剩餘ヲ生スル見込デアルガ、歲入ガ少シデモ增加スレバ此ノ剩餘ヲ更ニ增スコトガ出來ル。而シテ歲出ガ少シデモ減少スレバ亦此ノ剩餘ヲ更ニ增スコトガ出來ル。實行上ノ節約ニ由テ各位ハ以上ノ豫算剩餘ノ增加ヲ助長スルコトヲ得ル。各位ノ盡力ニ由テ此ノ剩餘ニ加フル弗ノ一片ハ悉ク租税ノ輕減トナッテ納税者ノ幸福ニ歸スルモノデアル。今晚ノ會合ハ放送的デアル。予ガ各位ニ向ッテ此所ニ陳ベル事ハ吾等ガ其ノ人々ノ爲メニ集マッテ居ル見ヘナイ無數ノ聽衆ニ聽取ラレルデアラウ。彼等ハ彼等ノ利害ノ爲メニ盡ス吾等ノ努力ヲ見張ッテ居ル。吾等ハ既往四年間彼等ヲ失望セシメナカッタ。吾等ハ今後ノ四年間モ彼等ヲ失望セシメナイコトヲ願フ。今後ノ四年ハ一層ノ壓力ヲ以テ節減ヲ續行スベキ大切ノ年デアル。一歩モ退却スルナ。

吾等ハ今現ニ實業ノ增進的活動及ヒ物質的繁榮ノ時期ニ入ラントシテ居ル。實業ノ增進ハ確ニ國民收入ノ增加ヲ伴フモノデアル。增加スル國民ノ收入カ不當ナル政費ノ膨脹ニ吸收セラレテハナラヌ。國ガ進歩スレバ正直ナ道理アル政費ノ增加スルハ當然デアルガ、此ノ政費ノ增加ハ國民收入ノ增加ト歩調ヲ揃エテ同時ニ進ムベキモノデナイ。政府能率ノ正當ナル增進ニ伴フ經費ノ必要ナル增加ハ經費ノ節減、計畫ノ廢止、省略シテモ差支ヘナキ仕事ノ中止ニ由テ先ツ充當サレネバナラヌ。吾等ハ國民ガ租税ヲ負擔デアルト感ゼザル點マデ輕減スルコトヲ目安トシ、其ノ點マデ政府ノ經費ヲ節減セネバナラヌ。我國ノ納税者ニ對スル忠誠ノ念ガ此ノ結果ヲ收メルコトヲ吾等ニ要求スル。

本年（大正十四年）六月二十二日米國聯邦政府行政整理會第九回定時會ニ於ケル大統領クーリッヂ氏演說概要

吾等ハ現在米國民ノ荷フ租税ノ負擔ヲ輕減スル爲メ建設的節約主義（プリンシプル、オフ、コンストラクティブ、エコノミー）ノ適用ニ由リ、政府ノ能率ヲ一層增進スル目的ヲ以テ今晚茲ニ集合シタモノデアル。目指ス目標ハ國庫歲出ノ切斷デナイ。ソレハ唯手段デアル。目的ハ租税ノ輕減ニ存スル。直接ノ受益者ハ九百萬ノ納税報告書ヲ綴ル人々デアルガ、間接ノ受益者ハ國庫カラ一年中每日壹千萬弗ヅヽ出テ行ク巨額ノ消費ニ皆ナ必ズ間接ノ給付ヲ爲シテ居ル米國ノ全人民デアル。是レハ多少ニテモ人民ノ自由ヲ抑壓スル事ニ外ナラヌ。此ノ金（カネ）ハ儲ケラレタモノニ相違ナイ。ソレヲ儲ケタ人々ハ自分等ノ利益ノ爲メニ貯ヘ置ク代リニ、止ムナクソレヲ政府ニ提供セネバナラヌ。吾等ハ金（カネ）ヲ儲ケタ人々ヲシテ成ルベク多ク自身ノ爲メニソレヲ貯ヘ、成ルベク少ク政府ニ出サシメンコトヲ求メルモノデアル。是レハヨリ善キ事業、生活上ノヨリ多キ慰安、一般ノ經濟的進歩、ヨリ大ナル敎育ノ機會、而シテ全人民ノヨリ大ナル自由ヲ意味スルモノデアル。是レガ眞實ニ吾等ノ國ヲ吾等ノ國民ニ復ス所以デアル。是レガ增加シタル物質上ノ價値ノミナラズ增加シタル精神上ノ價値ヲ國民ニ戻ス所以デアル。此ノ國ノ財產ガ此ノ國ノ人民ニ屬スルコトハ今更繰返シテ言フヲ須タヌ。政府ハ一仙タリトモ公共ノ目的以外ニ人民ノ財產ニ觸レルコトヲ許サヌ。政府ノ浪費ハ吾等ノ憲法ノ全敎訓ニ違反スルノミナラズ我ガ建國ノ基礎觀念並ニ其ノ眞髓ヲ辱シムルモノデアル。國民自身ノ金ヲ消費スルコトハ此ノ國ノ人民ノ高キ特權デアル。

政府ノ事務ヲ統一スル爲メ本會ノ第一回ヲ開イテカラ既ニ四年トナル。當時聯邦豫算制度ガ丁度制定セラレテ吾等ハソレヲ有效ニ遂行シ且政府ノ經費ヲ削減スル爲メ吾等ノ奉仕ヲ捧ケル目的ヲ以テ集合シタ。當時即チ一九二一年度ニ吾等ノ歲出

ハ國債償却及郵便事務費ヲ除イテ 五、一一六、〇〇〇、〇〇〇弗ニ達シ、吾等ノ國債ハ當時 一二三、九九七、〇〇〇、〇〇〇弗ニ達シタ、吾等ハ今一九二五年ノ會計年度ヲ終ラントシテ居ル。此ノ年度ノ歳出ハ國債償却費及郵便費ヲ除イテ三、〇三五、〇〇〇、〇〇〇弗ニ相當シ、國債ハ年度末ニ約二〇、五五一、〇〇〇、〇〇〇弗ヲ計上スル見込デアル。

豫算制度實行ノ四年間ニ於テ歳出年額ハ 二、〇八一、〇〇〇、〇〇〇弗輕減セラレ。國債ハ 三、四二六、〇〇〇、〇〇〇弗減少セラレタ。是レハ確ニ政府ノ行政及立法部ノ協力ニ由テ遂行セラレタ結果デアルガ、功績ノ全部ハ人民ヲ代表シテ行政ヲ支持援助シタル議會ニ歸着スル。凡ソ政治史上政府ノ經費デ斯ノ如ク削減シタル事例ハ恐ラク他ニ無イデアラウ。是レ程立派ナ動機モ亦歴史上稀ニ見ル所デアラウ。國費ノ建設的節減ニ於ケル此ノ倦マザル、撓マザル、果斷ナル奮闘ノ後ニハ租税ノ大ナル負擔カラ此ノ國ノ人民ヲ救治スルコトガ存在シテ居ッタ。此ノ目的ハ成効シテ租税ガ減少セラレタ、人民ノ負擔ハ現實ニ輕減セラレタ。併シナガラ租税ガ負擔デ無イ點ニ迄ハ未ダ達シテ居ラヌ。此ノ點ニ到達スルコトガ吾等努力ノ目標デアル。未ダ全部ノ報告ニ接セザルモ今年度ハ二億弗ノ剩餘ヲ殘ス豫定デアル。而シテ次年度ノ剩餘ハ貳億九千萬弗ニ達スル見込デアル。道ハ租税ノ輕減ニ向ッテ斯ク用意セラレテ居ルカラ予ハ次ノ議會ニ此ノ事ヲ謀ル積リデアル。

斯様ニ國費ヲ斷エズ削減スルハ實業ニ有害デアルト云フ陳述ガ或ル方面ニテ爲サレタ。予ハ租税ノ輕減ガ如何ニシテ實業ニ害アルカヲ見定メ能ハヌ。汎ユル他ノ事柄ニ比シテ實業ニ刺戟ヲ與ヘル一事ガ在ルナラバ、ソレハ租税ノ輕減デアル。政府ガ少ク取レバ取ル程一般實業ハヨリ多ク收得スルコトヲ得ル。建設的節減ガ確實ニ政府ノ經費ノ上ニ加エラルレバソレコソ企業并ニ投資ニ對シテ刺戟ヲ與フルモノデアル。

四年ノ努力ハ四年ノ成効ヲ以テ印象セラレタ。ソレハ辛苦ノ四年デアッタナレド充分ノ收獲ヲ納メ得タ。各位ハ其ノ骨折ニ對シテ當然酬キラルベキ權利ガアル。其ノ報酬ハ納税者ニ與ヘラレタ救治及ヒ今後一層ノ救治ヲ得ル彼等ノ期待ニ勝ルモ

ノガ在リ得ルカ。各位ニ對スル彼等ノ信任ニ勝ル大ナル報酬ガ在リ得ルカ。中央聯邦事務ニ對スル此ノ建設的節減ノ努力ニハ少シノ障碍ガアッテハナラヌ。此ノ仕事ニ吾等ハ吾等ノ一身ヲ捧ゲル。是レハ吾等ノ奉仕スル人民ノ生命ヲ豐富ナラシムル努力デアル。之レニ比スベキ崇高ナル目的ハ他ニ存在シ得ヌ。

政府事務ニ對スル建設的節減ハ人民幸福ノ爲メデアル。吾等ハ政府ノ經費ノ著キ削減ヲ期待シ難キ時機ニ進ミツヽアル。當國ハ發達シツヽアル。國政ノ常道ニ於テ吾等ハ正當ナル事務ノ漸進的膨脹ヲ覺悟セネバナラヌ。併シ增殖スル富ト人口トハ一人當リノ負擔ヲ次第ニ輕クスベキ筈デアル。一層大ナル用意、一層大ナル經費支辨ノ注意ガ此ノ奮闘ノ續行上有効ニ働カネバナラヌ。仕事ハ年ト共ニ困難ニ赴クガ、併シ仕事ガ困難ニナレバナル程成効ノ報酬ハ大キクナル。政府ノ尨大ナル事業中吾等ハ必要デナク又生產的デナイ活動ヲ續ケテ居ルモノガ在ルニ相違ナイ。是等ハ事情ノ變化ニ由テ必要ヲ生ジタ新シイ事業ノ爲メ苅取ラレネバナラヌ。

予ノ望ミハ次年度ノ歳出額（郵便費丈ヲ除ク）ヲ 三、三七五、〇〇〇、〇〇〇弗ニ保ツコトデアル。是レハ本年度ノ歳出額ニ比シテ一二五、〇〇〇、〇〇〇弗ノ節約デアル。吾等ハ節約ノ爲メ節約ヲ爲スモノデナク、國民ノ負擔ヲ輕減スル單ナル目的ノ爲メニ節約ヲ行フモノデアルコトヲ常ニ心ニ銘セヨ。如何ニ勇敢ニ國民ガ尨大ナル租税ヲ負擔シタルカヲ記憶セヨ。而シテ此ノ負擔ガ要求セル犧牲ヲ常ニ心ニ存セヨ。

一九一七年四月六日ヨリ一九二〇年六月三十日迄ノ間人民ハ百〇五億弗以上ノ戰時非常税ヲ支拂ッタ。此ノ税ハ同時期ニ於ケル戰費總額約參百參拾五億弗ノ殆ト三分ノ一ニ相當スル。而シテ國民ハ殘リノ貳百貳拾億弗ヲ政府ニ貸シテ呉レタ。コレハ只犧牲ノ始マリデアッタ。戰時税ノ負擔ハ此ノ四年間著シク減ジタナレドモ、猶ホ國民ニ殘存スル。吾等ヲシテ彼等ニ出來ル限リノ救治ヲ與フル決心ヲ續行セシメヨ。

此ノ緊縮的政策ガ犧牲ヲ意味スルナラバ、ソレハ一億千五百萬民ノ幸福ノ爲メノ犧牲デアル。彼等ノ休戚ハ最高デアル。經費ヲ思切リ削減スルコトニ反對スル少數者ノ批難ハ、斯ノ節減ノ結果ヲ確實ニ感受シタ數百萬人ノ自發的稱讚ニ比較シテ甚ダ輕キモノデアル。而シテ又強ク主張セラレル一階級ノ希望ニ對シ、ソレガ國民全體ノ利害ト衝突スル以上各位ハ格別ノ考慮ヲ拂フヲ要スル事デナイ。當國今後ノ發展、國運ノ繁榮ヲ維持スル當國ノ能力、世界文明ノ進歩ニ吾等ノ貢獻スル當國ノ能力ハ、各位ノ堅忍各位ノ勇氣ニ待ツ所デアル。各位失敗シテハナラヌ、否ナ失敗セントスルモ能ハヌコトデアル。

經濟攻究會會員（イロハ順）

岩佐理藏
池田成彬
石橋湛山
西尾豐
西野惠之助
伯爵 堀田正恒
星島二郎
岡實
大口喜六
若槻禮次郎
渡邊鐵藏
川上直之助
田中鐵三郎
田中次郎
辻村楠造
名取和作
成瀬義春

長島鷲太郎
植村俊平
山田英太郎
山口堅吉
山口喜三郎
町田忠治
增島六一郎
福田美知
小林正直
江口定條
有賀長文
明石照男
結城豐太郎
水町袈裟六
志立鐵次郎
志村源太郎

經濟攻究會

假事務所　東京市京橋區南鍋町一丁目八
電話　銀座　一六六八番

(印刷ヲ以テ謄寫ニ代フ)

經濟攻究會第七回報告

大正十五年二月

經濟攷究會第七回報告

貿易及產業振興策

目次

緒言

第一項 生產費ノ低減

（一）原料竝ニ原料用製品ノ關稅撤廢

（附）製鐵製鋼業ニ關スル方針

（二）生活必要品ノ關稅及消費稅ノ撤廢

（三）動力費竝ニ燃料費ノ低減

（四）新式機械ノ合理的應用

（五）理化學ノ研究及機械ノ改良發明

（六）總係費ノ節減

（七）運送費ノ低減

（八）金融ノ疏通

（九）公課ノ輕減

第二項 產業經營法ノ改善

（一）事業ノ合同

(二)工業製品ノ單純化及規格統一竝ニ生產品ノ國際化
(三)販賣法ノ改善竝ニ市場ノ開拓
(四)科學的經營
(五)勞働情態ノ改善

第三項　獨占ノ弊害取締

(一)產業者ノ獨占行爲竝ニ販賣協定ノ弊害取締
(二)小賣業者ノ販賣協定取締

第四項　運送機關ノ改善

(一)鐵道ノ改善
(二)海陸聯絡ノ改善及內地水運ノ利用
(三)小運送方法ノ改善

第五項　金融組織竝ニ機能改善

(一)銀行組織ノ整備
(二)銀行滯貨ノ整理
(三)預金部、特種銀行及特種會社ノ徹底的整理
(四)健全ナル信用取引ノ誘發

第六項　行政財政ノ整理續行

第七項　官業ヲ民業ニ移スコト

第八項　實業教育ノ刷新

貿易及產業振興策

我經濟界ヲ救治シ國際貸借ヲ有利ニ導クノ方策ハ內產業ヲ振興シ外貿易ヲ殷盛ナラシムルニ在ルコト何人モ異論ナキ所ナリ

然レトモ堅實ナル國民經濟ノ基礎ヲ樹立スル根本方策ニ至テハ世論未タ盡サヽルモノ多ク或ハ誤レル產業政策ヲ唱ヘテ世人ヲ惑ハシ或ハ末節ニ拘泥シテ大局ヲ忘ルヽモノ之アリ蓋シ一國ノ貿易ト產業トハ其ノ國ノ經濟的地位ヲ定ムル準繩ニシテ全國民利害ノ繫ル所ナリ我國ノ貿易ハ逐年增額ヲ示セリト雖モ之ヲ外國ニ對比スレハ猶ホ著シキ遜色アリ試ニ歐洲小國ト比較センニ人口一人當リノ貿易額和蘭ハ五百十三圓白耳義ハ四百二十八圓瑞西ハ五百十九圓諾威ハ四百五十一圓丁抹ハ七百九十四圓瑞典ハ二百七十二圓ニ對シ、我國ハ八十二圓ニ過キス（日本以外諸國一人當リ貿易額ハ大正十四年十二月五日現在各國對英爲換相場ヲ一圓ノ英爲換一志九片半ニ由テ邦貨ニ換算シ之ニ由テ大正十三年各國貿易額ヲ邦貨ニ換算シ之ヲ各國最近ノ人口數ニテ除シタルモノ、又日本ノ一人當リ貿易額ハ大正十四年內地貿易額ヲ同年調查ノ人口數ニテ除シタルモノナリ）貿易ノ現狀此ノ如キハ職トシテ產業ノ程度外國ニ及ハサルニ由ル而シテ現時產業ノ不振ハ戰後ノ反動及震災ノ打擊ニ基ク所ナキニアラスト雖モ是等ノ創痍略ホ癒エタル後ニ於テモ物價及金利低落セス產業組織整備セス產業政策亦宜シキヲ得サル限リ卽チ眞意義ナル勞働能率他國ニ比シ低劣ナル限リ我產業ノ活躍決シテ期シ難ク貿易市場ニ於テ海外先進國ト轡ヲ竝ヘテ馳センコト決シテ望ムヘカラス

抑モ貿易ハ民福增進ヲ以テ基礎トセサルヘカラス詳言スレハ輸入ハ外國ヨリ低廉ナル原料又ハ製品ヲ購入シテ我生產ヲ助長シ若クハ國民ノ生活ヲ充實スルヲ目的トシ輸出ハ我生產上有利トスル物品ヲ外國ニ供給シ之ヲ以テ外品ヲ低價ニ買取リ國民ノ利益ヲ謀ル手段ニ外ナラス是レ自由保護論ヲ超越シタル經濟上ノ眞理ナルニ拘ハラス屢之ニ反シタル產業政策ヲ取リ國家ヲ誤ラントスルモノアルハ慨嘆ニ堪ヘス卽チ關稅ノ障壁ヲ高クシテ生產ノ原料及生活必要品ノ價格ヲ昂騰セシムルハ經濟自

然ノ理ニ背キ貿易ノ眞精神ヲ無視スルモノニシテ之カ爲ニ一部生産業者ヲ利益スルモ多數國民ノ幸福ヲ犧牲ニシ從テ國力ノ培養ヲ抑制シ産業ノ振興ヲ妨クル所以ナリトス就中我國ニ適セサル産業ヲ保護シテ資本及勞働ヲ濫費スルハ經濟上最モ不利ナル方策トシテ深ク戒メサルヘカラス是ニ於テ本會ハ産業政策ヲ改善シ原料竝ニ原料用製品ノ關税ヲ撤廢シ又生活必要品ノ關税及消費税ヲ撤廢スルコトヲ以テ物價ヲ引下ケ生産費ヲ低減スル第一歩トシテ貿易及産業政策上頗ル重要ナルモノト思惟ス

然レトモ今日生産費ノ低減カ意ノ如クナラスシテ貿易及産業ノ伸暢ヲ期待スル能ハサルニ關シテハ右ノ外猶ホ幾多ノ事由湊合セルヲ以テ苟クモ生産費ノ低減ヲ阻止スルモノハ出來得ル限リ之ヲ排除若クハ改善シ又之ヲ促進スヘキ方法ハ及フタケ採用セサルヘカラス現ニ運送費ノ不廉、金利ノ高率、動力費竝ニ燃料費ノ不廉、工業ニ於ケル總經費ノ過大、公課ノ過重等ハ何レモ生産費ヲ膨脹セシムルコト明白ナルヲ以テ有ユル方法ニヨリ之カ輕減ヲ謀ラサルヘカラス又新式機械ノ合理的應用、理化學ノ研究及機械ノ發明等ハ勞働能率ヲ改善シテ生産上寄與スル所多大ナルヲ以テ常ニ調査ヲ怠ラス成ルニ隨ヒテ之ヲ應用シ踟蹰スル所アルヘカラス

元來我國ハ天與ノ産物ニ乏ク且資本潤澤ナラサルヲ以テ産業ノ振興ニハ著シク不利ノ地位ニ在リ唯一ノ幸ハ勞力豊富ナルヲ以テ出來得ル限リ勞働能率ノ增進ヲ謀リ以テ天惠及資本ノ不足ヲ補ハサルヘカラス勞働能率ノ增進ハ實ニ産業振興ノ核心ナリ前ニ生産費低減策トシテ列擧シタル項目中ニハ勞働能率ノ增進ヲ致スヘキモノ二三ヲ包含セルカ今日世界産業國カ共通的ニ努力スル勞働能率增進策ノ骨子ト稱スヘキモノハ大量生産ノ事ニシテ我産業ノ大部分ニ應用シテ効果ノ最モ顯著ナルヲ確信ス但シ大量生産ハ企業ノ合同集中ト相伴ヒテ進行スルモノナルカ故ニ自ラ利益壟斷ノ弊ニ陷リ易ク前項說示シタル國民生活ノ充實ト背馳スルカ如キコトアルヲ以テ之カ防止策トシテ獨占ノ弊害取締法ヲ制定スルノ必要アリ

大量生産ト相待テ勞働能率ノ增進ヲ策スヘキモノ猶ホ頗ル多シ卽チ科學的經營ノ應用、工業製品ノ單純化及規格統一、生産品ノ國際化、販賣法ノ改善竝ニ市場ノ開拓等ハ産業振興ノ上ニ直接寄與スルモノニ屬ス更ニ勞働情態ノ改善及實業教育ノ刷新ハ勞働能率增進ノ根本的方策ナルヲ以テ一日モ忽ニスヘカラサル最重要ナルモノトス

以上指示シタル貿易及産業振興方策ハ其ノ範圍稍廣汎ニ亘レルモ本會ハ猶ホ之ヲ以テ全般ヲ網羅シ盡シタリトスルモノニアラス今後ノ攻究ニ因リ其ノ遺漏ヲ補ハンコトヲ期ス但シ玆ニ算ヘタル諸策中ニモ自カラ輕重ノ差アリ又直接効果ヲ生スルモノト漸ヲ以テ成績ヲ擧クルモノトアルモ輕易ナルヲ以テ看過スルヲ得ス効果遲緩ナリトシテ除外スルヲ許サス蓋シ貿易及産業ノ振興ハ國家ノ基礎ニ關スル重大問題ニシテ而モ我國情ハ有ユル諸策ヲ併用シ最善ノ努力ヲ盡スニアラサレハ成功ヲ見難キ地位ニ在ルヲ以テナリ而シテ如上諸策中更ニ具體的案件ノ提擧ヲ要スルモノアリ猶ホ仔細ニ說明ヲ要スルモノアリ此等ノ爲ニ以下數節ニ分類シ別箇ノ項目ノ下ニ之ヲ再說セントス

又本會ハ曩ニ我財界救治策ノ一トシテ金輸出解禁ノ必要ヲ極言シタリ蓋シ産業ノ健全ナル發達ニハ我貨幣價値ノ囘復ヲ以テ必須條件トス圓價ノ下落ハ貿易上輸出ニ於テ我勞力ヲ不當ニ廉賣シ輸入ニ於テ外品ヲ實價以上ニ購入スルモノナルヲ以テソレタケ我富力ヲ減耗スルモノナリ故ニ圓價ノ下落ハ財界ノ病患トシテ一日モ早ク之カ囘復ヲ圖ラサルヘカラス、或ハ圓價ノ下落カ一時輸出ヲ增加スルヲ見テ其ノ囘復ト産業振興トハ兩立セサル如ク考フル者アルモ是ハ誤解ニシテ圓價下落ハ保護關税ト均ク健全ナル産業ノ勃興國民全般ノ利益ニハ甚タ有害ナルコトヲ思フヘシ是等ニ關シテハ既ニ再度マテ細說シタルヲ以テ今回ハ之ヲ省略スト雖モ本會ハ依然金ノ輸出解禁ヲ主張シ貿易及産業振興策中重要ナルモノヽ一ニ加フルコトヲ玆ニ聲明ス

本緒言ヲ終ルニ臨ミ特ニ附記ヲ要スルコトアリ昨年ノ後半ニ於テ我カ貿易順調ヲ呈シ且外國爲替稍囘復シ各地農村亦生色ヲ

呈セルヲ見テ我經濟界ハ既ニ復興ノ道程ニ入リタリト認ムルモノ多ク株式市場ノ如キ時ニ常調ヲ逸スルモノアルモ是レ最モ戒ムヘキコトニ屬ス思フニ天與ノ恩惠タル繭價ノ騰貴米穀ノ豐作ハ今後果シテ繰返ヘサルヘキカ外來ノ刺戟タル米國ノ繁榮ハ果シテ永續スヘキカ爲替カ今日以上囘復シタル曉ニハ輸入自ラ容易トナリ輸出牽制ヲ受クルコトナキカ彼是綜合シテ考フル時ハ貿易ノ好勢ヲ持續スヘキヤ疑ナキ能ハス假ニ是等ノ事幸ニ有利ノ狀態ヲ保ツトスルモ勞働能率增進シテ我産業ノ基礎確立スルニアラサレハ國際貿易上ニ於ケル我國ノ地位ハ甚タ薄弱ナリト謂ハサルヘカラス若シ一時變態的ノ好景氣ニ醉ヒ早クモ緊張味ヲ失ヒ放漫ニ流ルヽコトアラハ折角囘復ノ曙光ヲ示シタル財界ハ茲ニ逆轉シ將ニ癒エントスル病毒ハ再ヒ彌蔓スヘク世界ノ主要産業國ト伍シテ國際貿易市場ニ雄飛セントスルカ如キハ夢想シ得サル所ナリ此ノ際官民共ニ愈緊縮ヲ加ヘ冷靜ナル考察ト愼重ナル行動ヲ支持センコトヲ冀求シテ已マス

第一項　生産費ノ低減

(一)原料竝ニ原料用製品ノ關稅撤廢

(附)製鐵製鋼業ニ關スル方針

工業原料竝ニ原料用製品ノ關稅撤廢ノ必要ハ緒言ニ於テ既ニ說キタルカ如シ我國ハ工業原料ノ大部分ヲ輸入ニ仰クヲ以テ原料ヲ廉價ニ仕入レルコト生産上有利ナルヤ言ヲ俟タス且我國情ハ精製工業ノ發達ニ力ヲ注クコト肝要ニシテ其ノ道程ニ入リツヽアル今日ニ於テハ原料用製品ヲモ亦廉價ニ輸入スルノ必要アリ以上ノ見地ヨリ撤廢スヘキ關稅品目ノ重ナルモノヲ擧クレハ左ノ如シ

麻織絲　毛織絲　綿織絲　生絲　柞蠶　鐵等

重要産業中現在幼稚ナル情態ニ在ルモ將來有望ナルモノニ對シテハ或ル期間之ヲ保護スヘク其ノ方法ハ關稅ニ依ラシテ補助金給付等ノ手段ヲ取ルヲ可トス而シテ假令重要産業タリトモ發達ノ見込ナキコト明ナルモノニ對シテハ之カ保護ヲ企圖スヘカラス

重要産業中特ニ研究ノ要アルハ製鐵事業ナリ我製鐵事業ヲ觀ルニ內地ニ於テハ原礦燃料兩ナカラ乏ク且滿洲ノ礦石モ概ネ貧礦ニシテ精錬ノ爲ニ多量ノ石灰石滿俺礦石ヲ要シ斯業ノ經營頗ル難事ニ屬ス唯鐵ハ各種生産事業ノ基礎タル最重要産物ニシテ其ノ關聯スル所廣大ナルヲ以テ未タ必スシモ絕望ト視做シ難キ現情ニ於テハ或ル期間之ヲ保護シ其ノ成績ヲ試ミルヲ得策トス之ニ關シテハ(第一)分立セル當業者ノ大合同ヲ企畫シテ大量生産ノ利益ヲ發揮スヘシ(第二)官業ハ種々ノ弊害件隨シ經營上不利ナルヲ以テ八幡製鐵所ハ之ヲ民業ニ移スヘク其ノ過渡方法トシテ相當條件ノ下ニ年ヲ期シ右ノ民間合同者ニ無償貸渡スヘシ(第三)製鐵事業ハ銑鐵製造ニ重キヲ置キ之ニ對スル保護方法トシテ或ル年間補助金ヲ交付スヘシ蓋シ關稅ヲ以テ鐵ヲ保護スルハ廉價ナル銑鐵ノ輸入ヲ阻止シ各種鋼材製造業及造機造船事業ヲ壓迫スルヲ以テ策ノ得タルモノニアラス鋼材ノ關稅モ亦造機造船業ノ發達ヲ妨クルヲ以テ同ク之ヲ廢止スルヲ可トス

次ニ銅ニ言及センニ從來我特殊鑛業ノ一ニ數ヘラレタル製銅業ハ採礦費及精錬費共ニ漸增シテ自營困難トナレルヲ以テ前年銅塊ノ關稅百斤一圓二十錢ヲ一躍七圓ニ引上ケテ之ヲ保護シタルモ猶ホ收支相償ハスシテ動モスレハ更ニ之ヲ高メントスル運動アリ然レトモ收穫ノ遞減顯著ニシテ前途ノ見込稀薄ナル製銅ヲ保護スルハ無意義ニシテ其ノ目的ハ貫徹セラレス徒ニ國民ノ負擔ヲ增スニ過キス寧ロ關稅ノ撤廢ヲ行ヒ低廉ナル外銅ヲ輸入シテ一般産業ノ發達ニ資スルニ如カス唯夫レ急劇ニ關稅ヲ撤廢スル時ハ斯業ノ破滅ヲ來スヘキカ故ニ姑ク現狀ヲ維持スルコト已ヲ得ストスルモ將來ハ必ス銅ヲ無稅品目中ニ追加ス

へク製銅業者ノ宜ク考慮スヘキ所トス

其ノ他原料又ハ原料用製品ニ關スル產業中關税ノ保護ニ頼リテ經營シ之カ爲ニ一般產業ノ發達ヲ阻害スルモノ少カラス是等廢止スヘキ關税中直ニ實行シ難キ事情アルモノハ年ヲ期シテ之カ撤廢ヲ計ルヘシ

(二)生活必要品ノ關税及消費税ノ撤廢

我國民ハ其ノ生活必要品ヲ多量ニ輸入スルノ必要アルヲ以テ是等物資ノ上ニ關税ノ存スルハ物價ヲ昂進セシメ生活ノ安定ヲ脅カスモノナリ生活必要品ノ高價ハ勞働賃金ヲ不相當ニ高メ又金利高ノ原因トモナルヲ以テ二重ニ生產費ノ低減ヲ妨クヘシ關税ヲ廢止スヘキ品目頗ル多キモ試ニ其ノ重要ナルモノヲ擧クレハ左ノ如シ

米　砂糖　鷄卵　生牛　肉類　コンデンスミルク　木材　住宅材料　洋服地等

生活必要品ニ對シテハ獨リ關税ノミナラス內地消費税ヲモ撤廢スヘシ砂糖ノ如キ其ノ適例ナリトス砂糖ニ對スル關税ハ多年臺灣製糖業保護ノ爲ニシテ又國庫ノ收入上內地消費税ヲ賦課セリ聞ク臺灣糖ノ工場單價ハ瓜哇ニ於ケル工場單價ト相匹敵スト云フ然ルニ苛重ナル消費税、不廉ナル運送費其ノ他ノ諸掛費、不當ナル製糖業者ノ收益竝ニ小賣業者ノ暴利等相重ナリテ砂糖ノ市價ヲ騰貴セシメ近時稍低落シテ猶ホ小賣一斤二十七八錢ヲ呈シ國民ハ他國ニ比類稀ナル高價ノ砂糖ヲ消費シツヽアリ試ニ之ヲ英國最近ノ市價ニ對比スレハ我ハ彼ノ略倍額ニ相當ス英國ニモ砂糖ノ關税存スルヲ以テ我ノ市價高キハ租税ノ爲ノミニアラス前記幾多ノ負擔アルカ爲ナルコト言ヲ俟タサレトモ假ニ他ノ負擔ニハ異動ナシトシテ現行ノ關税二圓乃至四圓六十五錢竝ニ消費税二圓乃至九圓ヲ撤廢シ瓜哇糖ノ輸入ヲ自由ナラシムル時ハ砂糖ノ市價現時ノ略半額ニ降下スルニ至ルヘシ加之別項所說ノ如キ方法ニヨリ一般生產費ヲ低減シ以テ租税以外ノ負擔ヲ輕クシタル曉ニハ砂糖ノ小賣直段更ニ大ニ低落スルコト難シトセス畢竟砂糖ニ對スル重税ノ存在スルハ國民ヲ犧牲ニシテ製糖業者ノ爲ニ謀リ粗糖製造ノ利益ヲ壟斷セシムルモノニシテ砂糖會社ハ精製糖ノ損失ヲ粗糖ニテ補塡シ居レリ然ルニ臺灣ニ於テハ米作カ甘蔗ノ栽培ニ比シ地味ニ適シ且有利ナルヲ以テ漸次甘蔗ノ領域ヲ侵スノ傾向顯著ニシテ製糖ニ對スル保護ノ効力ハ逐年稀薄トナルノ事實アリ故ニ寧ロ保護ヲ斷念シテ關税ヲ撤廢スルト同時ニ消費税モ亦之ヲ廢シ一面ニ國民生活費ノ低廉ヲ計リ他面ニ原料ノ廉價ニ因テ精糖ノ對支輸出ヲ容易ニスルノ方針ヲ取リ以テ貿易ノ發展ニ資スヘシ但シ差當リテハ兩税ヲ輕減シ且兩税ニ伴フ幾多ノ缺陷ヲ矯正シ一定年限ノ後ニ於テ之ヲ全廢スヘシ

鹽ノ專賣モ亦苛重ナル一種ノ消費税ニシテ之カ爲ニ醬油味噌漬物鹽魚等細民ノ負擔ヲ重クスル結果ヲ來スノミナラス基礎工業タル曹達製造業ノ發達ヲ阻止スルコト大ナリ鹽專賣法ノ設ケラレタル財源上ノ理由ハ今日既ニ消滅シ唯餘ス所ノ目的ハ內地鹽田業者ヲ保護スルニ在リテ爲ニ政府ハ關東州青島鹽ノ輸入ヲモ制限セリ但シ工業鹽ノ拂下代ハ一般食鹽拂下代ニ比シ低價ニ置キ今後モ幾分引下クルノ計畫アルモ外國鹽ノ實價トハ猶ホ非常ノ懸隔アリ政府ハ宜シク國民全般ノ利害ヲ顧ミ生活費ノ低減ト內地曹達業ノ發達トヲ謀ル爲ニ鹽價ノ低落ニ思ヲ致シ鹽專賣法ノ撤廢ヲ斷行スヘシ

(三)動力費竝ニ燃料費ノ低減

生產動力タルヘキ水力電氣竝ニ燃料タル石炭及石油ノ歐米諸國ニ比シ著シク高價ヲ示セルコトハ亦我生產上ノ弱點ナリ我國ニ於テハ水力電氣增設ノ餘裕猶ホ多キヲ以テ成ルヘク天惠ヲ利用シテ動力費ノ低下ヲ圖ルヲ利トス又今日送電線ノ不統一ハ電力不廉ノ一因ナルヲ以テ之ヲ統一シタル送電線ト爲スコトハ改善策中ノ急務トス但シ之カ爲ニ獨占ノ弊ヲ生シ却テ電力料金ヲ昂騰セシムルハ甚タ不可ナルヲ以テ此ノ點ハ監督官廳ニ於テ嚴重ニ収締ルコトヲ要ス

次ニ石炭及石油ノ高價ナル原因ノ一半ハ關稅、金利高及運送方法ノ不良ニ因ル之ヲ觀テモ關稅ノ撤廢、金融ノ疏通及運送設備ノ改善ヲ必要トス特ニ石炭ニ至リテハ內地炭坑情態漸ク不良トナリテ採炭費益々增加ス加之炭坑業者ハ賣價ヲ協定シ且比較的廉價ナル撫順炭ノ內地輸入ニ一定ノ制限ヲ設クル爲ニ其ノ內地消費量ハ九州炭ノ約一割ニ過キサル實情ニ在リ斯ノ如クシテ內地炭ノ市價ヲ釣上クルノ結果消費者カ使用スル燃料ノ高價ナルコト恐ラク世界工業國中無比ナルヘシ是ハ產業ノ振興ヲ害スルコト至大ナルヲ以テ滿洲炭ハ勿論外國炭ノ輸入ヲ自由ニシ燃料費ヲ低下シ同時ニ貧弱ナル炭坑ニ投下セル資本ト勞力トヲ他ノ有利ナル事業ニ轉用スヘシ石油モ石炭ニ優レル重要燃料ナルヲ以テ之ヲ廉價ニ且豐富ニ供給スルコトヲ企畫スルノ必要アリ

(四)新式機械ノ合理的應用

新式機械器具ヲ合理的ニ應用シテ勞働能率ノ向上ヲ謀ルコトハ生產費低減ノ一方法ナリ我國各種工業中最新式ノ機械ヲ設備スルモノ少カラサルモ合理的ニ之ヲ使用スルモノ案外少キハ事實ナリ其ノ原因ハ職工ノ不熟練ヨリモ監督技術者其ノ人ヲ得サルニ在リ職工ノ技能ハ歐米ニ比シ必スシモ遜色ナキモ之カ監督者タルヘキ技師及職工長ノ實際的技能ノ優良ナラサルコトハ工業實驗家ノ慨嘆スル所ナリ之カ爲ニ精巧ナル機械ノ發達竝ニ其ノ應用ヲ妨ケ勞働能率ノ增進ヲ抑制スルコト爭フヘカラス故ニ彼等ノ技能ヲ高ムル爲ニ(一)專門學校卒業生ヲ盡ク職工同樣ノ實務ニ就カシムルコト(二)職工長タルヘキ有爲ノ青年ヲ工業先進國ニ送リテ實際的技能ヲ習得セシムルコト(三)先進國ノ職工長ヲ雇入ルヽコト(四)職工長ノ優遇法ヲ講スルコト等ニヨリ實際的効果ヲ擧クルコトニ努ムヘシ

(五)理化學ノ研究及機械ノ改良發明

理化學ノ研究ハ工業製品ノ品質ヲ善クシ機械ノ改良發明ハ直接ニ原價ヲ低下シ生產費低減ノ素因タリ故ニ歐米產業界ハ費用ヲ吝マスシテ之ニ從事シ惟レ日モ足ラサルカ如シ之ニ反シ現在我產業界ニテハ理化學ノ研究、機械ノ改良發明ヲ重要視スルモノ尠ク概ネ先進國ノ發明ノ跡ヲ追フニ過キス是レ一ハ當面ノ經營ニ急ナルカ爲ニ考究ノ餘裕ヲ有セサルニ因ルモノニシテ別項所說ノ如ク事業合同ノ愈適切ナルヲ感セサルヲ得ス

(六)總係費ノ節減

事業會社ニ於テ生產ニ直接關係セサル諸經費カ一般ニ過大ナルコトハ我國事業界ノ缺點ナリ卽チ重役ノ報酬、接待費、寄附金、合併ニ際スル交付金、解散手當、諸雜費等然ラサルハナシ就中重役ノ報酬ハ一人當リノ金額多キニ失スルノミナラス概シテ重役ノ員數過多ナルヲ常トス又一人ニシテ二會社以上ノ專務取締役ヲ兼ネ各會社ヨリ尠カラサル報酬ヲ受クルカ如キハ報酬其ノ勞ニ過クルモノナリ概シテ紀律嚴肅ナラス從テ經費ノ支出亂雜尨大ニ流ルヽコト掩フヘカラス殊ニ邦人ノ通弊ハ公私ヲ混淆スルノミナラス私事ニ吝ナルモノカ公事ニ贅澤ヲ致シ愛社ノ忠實ヲ缺クコトニシテ是レ最モ矯正ヲ要ス右ノ如クシテ總係費ハ事業費ニ加算セラルヽカ故ニ自然生產費ノ膨脹ヲ誘致ス今日官民擧テ緊縮節約ヲ勵行スヘキ時ニ當リ事業會社ノ總係費ノ過大ナルハ其ノ緊張味ノ足ラサルヲ表明シ社會風敎ノ上ニモ惡果ヲ來スヘシ歐米產業界カ大量生產ヲ爲シ以テ製品ニ對スル總係費ノ割合ヲ尠クスルコトニ努ムル所亦鑑トスヘキモノニシテ我大小事業會社ノ現情ハ總係費ヲ節約スルノ餘地竝ニ其ノ必要頗ル大ナリ

（七）運送費ノ低減

（八）金融ノ疏通

（九）公課ノ輕減

現在不廉ナル海陸運送費カ物價ノ中ニ包含セラレ產業ノ振興ニ甚シキ故障ヲ與フルコト明白ナリ又金利ノ高率ナルコト及公課ノ苛重ナルコトハ亦生產費增嵩ノ素因ニシテ前者ハ金融ノ疏通圓滑ナラサルニ基キ後者ハ政府財政ノ整理未タ徹底セサルト財政組織ノ不完備ナルトニ因ル以上三項ハ特ニ重要ニシテ猶ホ緻密ニ攻究シ改善方策ヲ指示スルノ必要アルヲ以テ第四項運送機關ノ改善、第五項金融組織竝ニ機能改善、第六項行政財政ノ整理續行ノ下ニ之ヲ詳說ス

第二項　產業經營法ノ改善

（一）事業ノ合同

既ニ陳ヘタル如ク大量生產ハ今日主タル產業國ノ經濟界ニ於テ普ク實行セラルヽ產業方針ニシテ之カ爲ニ益々資本ノ增大又ハ事業ノ聯合ヲ致シツヽアリ然ルニ我國ノ產業情態ハ此ノ點ニ關シテ最モ缺陷多ク產業ノ規模概シテ狹小ニシテ且企業者間ニ殆ト見ルヘキ聯絡ナク爲ニ大量生產ノ利益ヲ享受スル能ハス偶々聯絡ノ存スルアレハ妄リニ賣價協定ヲ爲シテ消費者ヲ苦シムルニ過キス資本ノ合同ハ自カラ競爭ヲ制限シ價格ヲ管理スヘシト雖モ之カ爲ニ民衆ノ幸福ヲ毀損セサルコトヲ念トシ生產能率ヲ高メ製品ヲ廉價ニ供給スルノ方法ヲ考究スルコトニ留意セサルヘカラス抑モ生產事業ニ於テ家庭工業カ工場組織ニ遷リ工場カ又分立情態ヨリ大資本合同組織ニ遷ルコトハ生存競爭上發生スル自然ノ歸趨ニシテ規模ノ大ナルニ隨ヒ經費ノ割合ハ輕減セラレ市場ノ變動ニ對スル彈力性ヲ强クシ又製造販賣方法ノ改良研究ノ餘裕ヲ生スル等利益多大ナルヲ以テ小規模ノモノハ到底之ニ敵スルヲ得サルナリ

勿論合同ト稱スルモ必スシモ同種ノ事業ヲ單一ナル會社ニ併合スヘシトノ謂ニアラスシテ事業ノ性質ニヨリ斟酌スヘキモノトス而モ如何ナル事業ニ於テモ或ル程度マテハ大量生產ノ利益ヲ無視スヘカラス一例ヲ擧クレハ生絲ノ製造ノ如キ絕對ナル大規模經營ヲ利トセサル事情アリト雖モ猶ホ現情ニ於テハ大量生產ニ向テ步ヲ進ムヘキ餘地アルコトハ斯業經驗家ノ語ル所ナリ而シテ資本ノ合同集中ト共ニ一ノ產業ニ必要ナル各種業態ノ聯合組織ヲ爲スヲ必要トスルモノニシテ是レ實ニ大量生產ノ精神ヲ擴大スルモノトス例ヘハ絹織物業者カ合同スルト共ニ其ノ原料タル生絲ノ製造ヨリ製品ノ販賣ニ至ルマテ一手ニ經營スルカ又ハ製絲業者及販賣業者ト組織的聯絡ヲ作ルコト最モ肝要ナリ我產業ヲ發達セシメ國際貿易市場ニ雄飛セントスルニハ資本合同ト組織的聯絡ヲ企ツルヲ以テ急務トス

事業ノ合同ニモ自カラ種々ノ方法アリ例ヘハ（一）獨立ノ會社カ組合ヲ作リ協定規約ノ下ニ產出額價格等ヲ調節スルカ如キ（二）獨立ノ會社カ合同經營ニ一步ヲ進メ相互ニ出資シテ別個ノ會社ヲ設立シ之ヲ中心トシテ各株式ヲ所有スルカ如キ又ハ（三）更ニ一步ヲ進メ全然合同經營ヲ爲スカ如シ其ノ方法ノ得失ハ姑ク措キ事業ノ合同的經營ハ今日歐米產業界一般ノ現象ニシテ殊ニ近時國際的合同ノ傾向顯著トナルニ至レリ

唯資本ノ合同ニハ弊害モ亦之ニ伴フヲ以テ之ニ對シテハ後ニ記スルカ如ク政府ニ於テ相當ノ取締法ヲ設ケ合同ヲ擁シテ橫暴

ニ爲スヲ抑制スルノ要アリ

(二)工業製品ノ單純化及規格統一竝ニ生産品ノ國際化

大量生産ノ有利ヲ知ルト同時ニ工業製品ヲシテ之ニ適合セシムルヲ謀ルヘキコト勿論ニシテ製品ノ單純化及規格統一竝ニ生産品ノ國際化ノ三事項ハ大量生産ト分離スヘカラス又相互間ニ密接ノ關係ヲ有スルモノナリ

我國ノ工業製品カ一般ニ複雜ニシテ多種多樣ナルコトハ衣食住ニ要スル日用品ヲ見ルモ明白ナリ例ヘハ衣服ノ如キ其ノ模樣ノ複雜ニシテ且種類ノ多キハ他ニ比類ヲ見ス嘗テ下駄ヲ作ルニ靴ヲ製造スル如ク機械ヲ以テ桐材ヲ切リ同型ノモノヲ製造シタルニ邦人ノ嗜好ニ適セサルノ故ヲ以テ需要者少カリシト云フ椅子ノ如キモ外品ニ比シ彫刻ノ多キヲ喜フ風アリ總テ個性的ナルノ點ハ稍佛蘭西ノ製作品ニ類似セリ美術工藝ハ固ヨリ冷視スヘキモノニアラスト雖モ工業製品ニ於テハ實用上ノ利便ヲ本體トスヘク複雜ナル製作工程ノ爲ニ大量生産ヲ妨ケ資本及勞力ヲ空費スルコトハ努メテ之ヲ避ケサルヘカラス需要者ノ嗜好流行ハ製造者ヨリ之ヲ作ル場合多キヲ以テ製造者ハ製品ヲ單純化シテ堅牢著實ヲ製品ノ特性トシ以テ産業ノ發達ヲ謀ルト共ニ勤儉素樸ノ氣風ヲ涵養スルニ注意スヘシ

次ニ規格統一ハ大量生産ト一層密接ノ關係ヲ有シ相携ヘテ進ムヘキ當然ノ道程ニシテ近來我工業家カ漸次之ヲ推奬セルヲ喜フモ之カ實行ノ頗ル遲々タルヲ憾トス規格統一ノ有利ナルコトハ今更多言ヲ要セス生産カ專門的トナルホト其ノ效果顯著ニシテ大量生産ヲ遺憾ナク適用シ廉價ニ且一樣ニ製作スル出發點ハ實ニ規格統一ナリ最近ニ獨逸ニ於テ規格統一ヲ造船業ニ應用シ同型ノ船舶ヲ作ルコトニ於テ經濟上成功ヲ收メタル事實アリ其ノ他歐米ノ工産品ヲ見ルニ規格統一ノ應用頗ル盛ニシテ殊ニ米國ノ機關車、自動車、タイプライター、時計等ハ其ノ著シキ實例ナリ又規格統一ハ勞働ノ熟練、精神ノ集中ヲ鍛成シ

得ルヲ以テ科學的經營ニモ關聯スルモノニシテ現代ノ傾向ハ獨リ生産品ノミナラス工場内ノ器具設備及習慣等ニモ之カ適用ヲ見ルニ至リ效益ノ發揮セラルヽ範圍益々擴大シツヽアルコト最モ注目ニ値ス

生産品ノ國際化モ亦我産業發展ノ精神タルヘキ一ニシテ大量生産ト併行スヘキモノナリ從來一地方ノ産物トシテ珍重セラルルモ全國ニ供給シ得ルニアラサレハ産物トシテ取扱フヘキモノニアラサリシカ今日ハ外國ノ需要ニ應シ得ルモノニアラサレハ國産ト認ムヘカラサルニ至レリ蓋シ輸出品ノ目標ハ世界多數ノ人就中文明國人ノ最モ多ク需要スル商品ヲ製作スルニ在リ然ルニ我國輸出品ノ不振ナルハ其ノ根本精神ニ缺陷アルカ爲ナリ卽チ歐米諸國ノ輸出品ハ悉ク自國ノ生活必要品ナルヲ以テ輸出不振ナル時ハ之ヲ內地ニ捌クノ餘地ヲ有シ外需俄ニ起ルモ亦補充ニ苦シマサルノ利アリ之ニ反シ我輸出品ハ內地ノ日常需要品ト沒交涉ノモノ尠カラサルヲ以テ有無共濟ノ便乏シキノミナラス生活ニ關係薄キ爲ニ自然實情ニ迂遠ナルヲ免カレスシテ机上ノ想像ニヨリ往々需要者ノ滿足ヲ得サル商品ヲ製作スルコトアリ我建築技師カ西洋住宅ヲ作リテ失敗スルモノ多キト其ノ理由ヲ同ウス但シ輸出品ト內需品トヲ近接セシムルコトハ邦人ノ生活情態ヲ改ムルノ必要アルヲ以テ之カ實現ヲ期スルコトハ容易ノ業ニアラスト雖モ常ニ其ノ方嚮ニ地歩ヲ占ムルノ行動ヲ取ルコトヲ怠ルヘカラス

(三)販賣法ノ改善竝ニ市場ノ開拓

生産費ヲ低減シ生産ヲ豐富ニスルモ十分ナル販路ヲ開クニアラサレハ其ノ目的ハ貫徹セス生産ニ於テ成功スルモ販賣方法宜シキヲ得サルカ爲ニ半途挫折シタル實例亦尠カラス故ニ生産者ノ活動ハ單ニ製造ニノミ局限セス製品ノ販賣市場ノ開拓ニモ及ホスコトハ産業界近時ノ特徵ニシテ生産業ト販賣業トノ利害ヲ共通シ相反セサルヲ專念トセサルヘカラス近來生産販賣ノ分業漸次衰ヘテ統一セラルヽ傾向アルハ注目スヘキ現象ナリ同時ニ買手ハ次第ニ受動的トナリ賣手ヨリ進ンテ活動スルノ傾

向アルコト亦注意ヲ要ス從來外國市場ニ於ケル我販賣業者ノ行動ハ常ニ巧妙ト稱スルヲ得ス動モスレハ外人ノ爲ニ機先ヲ制セラルル憾ナキ能ハス其ノ原因多カルヘシト雖モ主要ナルモノハ(一)信用ヲ尊重サセルコト(二)仲立業者ノ頤使ニ從ヒ濫ニ廉價ニ供給センカ爲ニ品質ノ粗惡ヲ致スコト(三)調査不備ニシテ市場ノ形勢ニ迂遠ナルコト(四)宣傳方法ノ拙劣ナルコト等ニ在ルヲ以テ先ツ良品ノ供給ト信用ノ樹立ニ注意スルト同時ニ時代ノ趨向ニ鑑ミ生產業者自ラ進テ販賣ニ從事スルカ又ハ適良ナル販賣業者ト提携シテ販路ノ擴張ニ努ムヘシ市場ノ狀況ニ關シテハ優良ナル領事商務官ノ報告ニ期待スルト共ニ斯業者ニ於テ常ニ周密且的確ナル調査ヲ遂ケ海外ノ情勢ニ精通シテ行動ノ機敏ヲ謀リ總テ我製品ノ聲價ヲ高メ需要ヲ誘發スル爲ニ積極的方針ヲ取ルコトヲ要ス

(四)科學的經營

科學的經營ハ米國ニ於テ創始セラレ各種工業ニ採用セラレテ頗ル好成績ヲ告ケ今ヤ世界的ニ應用セラレツヽアル經營方法ニシテ簡單ニ之ヲ說明スルコト能ハサルモ之ヲ要言セハ產業ニ從事スル者ノ能率ヲ高メ勞力ヲ節約スルヲ目的トス故ニ或ハ優良職工ヲ選擇シテ適材ヲ適所ニ置キ或ハ動作ヲ研究シテ勞働時間ト能率トノ關係、疲勞ト能率トノ關係ニヨリ勞力ヲ有利ニ使用セントシ或ハ能率ト環境トノ關係ヲ究メ其ノ他雇傭者ノ幸福增進、事務ノ分擔研究、計畫係ノ設置、執務器具ノ改良等ニヨリ勞働上善美ヲ盡サント企ツルモノナリ歐米大工場ハ大概之ヲ採用シテ勞働能率ノ增進ヲ怠ラス賃金率ノ合理的決定ノ如キ科學的經營ニヨリテ始メテ之カ實行ヲ期スヘシ從來此ノ種ノ研究ニ冷淡ナリシ我產業ニ對シ之ヲ應用スルコトハ其ノ効果ノ大ナルヲ疑ハス但シ勞働組合及團體交涉ト科學的經營トノ關係ハ愼重ノ研究ヲ要スルモノニシテ此ノ兩者ヲ無視シタル經營ハ雇主ノ獨裁權ヲ助長スル傾向アルコトヲ知ラサルヘカラス健全ナル勞働組合ノ成立ト科學的經營トハ分離スヘカラサルコトヲ前提トスルノ要ナリ

(五)勞働情態ノ改善

世間往々生產費ノ低減セサルハ勞働賃銀ノ高位ニ在ルカ爲ナリト說クモノアリ勞銀ハ生產費ノ主要ナル部分ヲ組成スルカ故ニ勞銀不相當ニ高キ時ハ之カ低減ヲ謀ルノ要アリト雖モ勞銀果シテ高キニ過クルヤ否ヤハ其ノ勞働能率ヲ參照セサルヘカラス徒ニ皮相ノ觀ニ囚ハレ勞働賃銀ヲ値切ルモ勞働能率其レ以上ニ降下スル時ハ賃銀ハ事實割高トナリ從テ生產費ハ昂騰スルノ結果トナルヘシ故ニ妄リニ我產業界ノ勞銀ヲ引下ケント試ミルハ當ヲ得タルモノニアラス且夫レ資本家ト勞働者ト利害相反スルカ如ク感セラレ勞銀向上スレハ資本家ノ損失ニ歸シ資本家ヲ肥サントセハ勞働者ヲ滿足セシムルヲ得ストノ思想我產業界ヲ風靡シツヽアルハ歎息スヘキコトニシテ是レ實ニ我產業發展ノ進路ヲ塞ク一大暗礁ナルヲ以テ先ツ之ヲ排除セサルヘカラス抑モ勞働者ノ生活ニ必要ナル賃銀ヲ支給スルコトハ何人モ異論ナシト雖モ單ニ生存ニ必要ナル賃銀ト能率ヲ發揮シ得ル生活ニ必要ナル賃銀トハ之ヲ辨別セサルヘカラスマーシャル教授曰ク農業又ハ不熟練ナル工業勞働者及其ノ家族カ能率ヲ發揮シ得ル生活ニ必要ナル賃銀ハ空氣ノ流通善キ家、暖キ衣類、下衣ノ着換、新鮮ナル水、十分ナル穀物食料、肉、牛乳、少量ノ茶、相當ノ敎育娛樂、母又ハ妻カ主婦タル任務ヲ行ヒ得ルタケノ餘裕ヲ得ル收入是ナリト顧ミテ我產業界ニ於ケル勞働者ノ情態ヲ見ルニ勞働者ヲ安キ賃銀ニテ長時間使役スル程利益ナリト誤信スル資本家尙多數ヲ占メ就中工場ニ於ケル婦人勞働者一般ノ待遇ハ酸鼻ト評スルノ外ナシ勞働者ヲ酷使スルコトハ其ノ健康ヲ害スルヲ以テ必ス勞働能率ヲ低クシ却テ生產費ノ昂騰ヲ誘致ス又勞働者ノ生活情態不良ナレハ折角健全ニ生レタル兒童モ空氣衣食住ノ非衞生ニヨリ虛弱ニ陷ラサルヲ得ス我工場地ニ於ケル兒童死亡率驚クヘキ數ニ上ルモノ主トシテ勞働者ノ不良ナル生活ニ基因ス故ニ今日ノ急務ハ資本家カ勞

働者ニ對スル舊來ノ謬想ヲ打破シ勞働者ノ人格尊重ト情態ノ改善トヲ要求セサルヲ得ス情態ノ改善ニヨリ其ノ能率ヲ高メ資本家モ勞働者モ相共ニ利益ヲ享受スルノ域ニ達セサレハ不可ナリ之カ爲ニ先ツ工場法施行令及健康保險法ノ制定實施ヲ急クヘシ又産業發達ノ方法中特ニ經營法ニ屬スル事項ハ勞働組合ト相待テ始メテ効果ヲ奏シ得ルモノナルカ故ニ健全ナル勞働組合ノ速成ヲ必要トス思フニ勞資關係ノ現狀ニ關シテハ必スシモ資本家ノミヲ責ムヘキニアラス勞働者ニ於テモ自カラ尊重シテ相當ノ節制ヲ保持スルコトハ自カラ資本家ノ反省ヲ促進スヘシト雖モ勞働情態ノ改善ト健全ナル勞働組合ノ成立トハ實ニ勞働者各自ヲシテ勞働ノ尊嚴ヲ確信セシメ之ヲ傷クルカ如キ行動ヲ愼マシムル最善ノ方途タルヲ疑ハス

第三項　獨占ノ弊害取締

(一)産業者ノ獨占行爲並ニ販賣協定ノ弊害取締

凡ソ利益ノ在ル處ニハ弊害モ亦之ニ伴フコトハ往々免カレサル所ニシテ之ニ善處スルノ途ハ努メテ其ノ利益ヲ增長スル一方ニ弊害ヲ抑制スルニ在リ事業ノ合同、生産品ノ單純化及規格統一等ハ經濟上ノ利益多大ナリト雖モ生産品ノ供給ヲ制限シ代價ヲ管理スルコト、當然相伴フヲ以テ若シ當業者カ其ノ獨占ヲ濫用シテ不當ニ價格ヲ釣上ケ利益ヲ壟斷シ之ニ對シテ何等制裁ナキニ於テハ需要者ヲ苦シメ物價ノ昂進ヲ促スニヨリ結局産業ヲ不利ニ導クコト、ナルヘシ此ノ弊害ニ對シ相當ノ取締規定ヲ設ケ監督機關ヲ置クコトハ實ニ政府當局者ノ任務ナリトス

世界産業ノ風潮ヲ觀ルニ大資本家ハ自家ノ利益ヲ擁護スル爲ニ專門家ヲ雇用シテ其ノ立場ヲ確保セントス之ニ對シテ小資本ノモノ並ニ消費者ハ概ネ微力ニシテ之ニ對抗スルヲ得ス此ノ如キ社會的害毒ヲ救治スルノ方法ハ産業ノ進歩擴張ニ伴ヒ益々其ノ必要ヲ告ク就中米國ニ於テハ千九百三年法人局（ビユロー、オフ、コルポレーション）ヲ設置シ獨占事業ヲ調査シ或ル程度マテ其ノ調査ノ結果ヲ公表シ以テ獨占ノ弊害ヲ抑制スルニ努メタリ該機關ノ成功ニ力ヲ得タル米國議會ハ千九百十四年ニ聯邦貿易委員會（フエデラル、トレード、コムミツシヨン）ノ名ノ下ニ獨占事業調査機關ノ權限ヲ擴張シ同時ニ所謂「クレートン、アンチトラスト」法ヲ定メ前記新設委員會ヲシテ該法律ノ監督者タル地位ニ立タシメタリ聯邦貿易委員會ハ半部行政官ト半部司法官トヨリ成立スル合同機關ニシテ大企業ノ內容ヲ調査シ若シ公平ナル競爭ヲ妨害スル廉アル時ハ之ニ對シ警告ヲ發シ尙ホ之ニ服從セサル時ハ裁判所ニ告發スル權限ヲ有シ實効少カラス

思フニ我産業界ニ於テハ事業ノ合同未タ盛ニ行ハレサルヲ以テ其ノ弊害ノ指摘スヘキモノ尠シト雖モ既ニ獨占的性質ヲ有セル少數企業者ニ對シテ觀察スルモ此ノ弊害ハ胚胎ノ虞アリ都市公益的事業ニ關シテスラ競爭者少キ爲ニ自然事業ノ開發ヲ放漫ニシ自家ノ利益ヲ庇保シテ需要者ヲ疎略ニスルノ傾向之レナシトセス故ニ今後事業合同ノ促進ト共ニ弊害ハ必ス發生スヘキヲ以テ嚴重ナル取締方法ノ施設ヲ要ス競爭者ナキカ爲ニ事業ノ發達ヲ怠ルハ不可ナリ獨占ヲ利用シテ製品ノ價格ヲ釣上クルコトハ更ニ不可ナリ

又同一産業者カ聯合組織ノ下ニ不相當ナル賣價ヲ協定スルコトハ是亦不當ナルコト言ヲ俟タス元來聯合ノ目的ハ同業者間ノ聯絡ニヨリ大量生産、製品ノ單純化及規格統一等ノ利益ヲ發揚シ相提携シテ製品ノ改良、生産費ノ低減、販路ノ擴張ヲ行フニ在リ然ルニ現在ノ同業者聯合ノ多數ハ右ノ如キ重要任務ハ殆ト顧ミルコトナク平常相互間ニ於テ所謂商賣敵ノ觀ヲ呈シナカラ唯賣價ノ協定ニ至テハ共同一致シテ價格ヲ釣上ケ規約ヲ守ルコトニ忠實ナルコトハ顰蹙スヘキ事實ニシテ經濟上ヨリ觀ルモ又社會政策上ヨリ觀ルモ取締ヲ要スルモノナリ

(二)小賣業者ノ販賣協定取締

小賣業者カ組合ヲ作ルコトハ盛ニ行ハルヽ所ナルカ組合カ表面唱フル所ノ目的ノ美ナルニ反シ事實ハ概ネ販賣價格ヲ協定スルニ過キス而シテ協定價格ナルモノハ消費者ノ利益ヲ謀ルニ在ラスシテ商品ノ高價ヲ支持セントスルニ在リ小賣業者カ此ノ如キ行動ヲ取ルコトハ一般ノ日常生活ヲ脅威スルモノニシテ其ノ弊害頗ル大ナリ而シテ組合ノ規約嚴守ノ爲ニ若シ協定ヲ破リテ廉賣ヲナスモノニ對シテハ除名處分ヲ行ヒ同業者間ノ取引ヲ停止スル如キ酷烈ナル制裁ハ善事ヲ行ハントスルモノヲ制肘スルモノニシテ輕々看過スルヲ得サルナリ

一般需要者カ小賣業者ニ對スル苦情ハ小賣業者ハ商品價格ノ騰貴スル場合ニハ響ノ應スル如ク値上ヲ實行スルニ反シ低落ノ際ニハ兎角仕入値ノ高キヲ口實トシテ之ニ追隨スルコト遲緩ナリト云フニ在リテ事實亦此ノ言ノ如キヲ認ム若シ自由競爭ヲ爲サシムル時ハ小賣業者モ需給ノ均衡上必ス市價ニ順應シテ小賣價格ヲ高下セサルヲ得ス然ルニ同業者聯合ノ力ト制裁トニヨリ販賣協定ヲ實行スルカ故ニ個々分散セル消費者側ニ在リテハ其ノ價格ノ不當ヲ知ルモ當面ノ需要ヲ充ス爲ニ已ヲ得ス購入ヲ爲シ見ス／＼損失ヲ爲シツヽアリ外國ニ於テハ時トシテ消費者カ不買同盟ヲ組成シテ之ニ對抗スルコトアリト聞ク亦當然ノ處置ト稱スヘシ

小賣業者ノ販賣協定ノ弊害ヲ妨止スル方法ハ極メテ簡單ニシテ先ツ之ヲ禁止シ違反スルモノハ組合ヲ解散シ又ハ相當ノ制裁ヲ加フヘシ此クシテ自由競爭ヲ奬勵スルト共ニ若シ不當ノ價格ヲ唱フルモノアラハ調査機關ニヨリテ正當ノ價格ヲ公表シ消費者ヲシテ其ノ歸趨ヲ知ラシムヘシ之ニ關シテハ英國ノ行フ所頗ル模範トスルニ足ル卽チ同國ニテハ常ニ商品ノ價格ニ對スル取締方法ヲ實行シ殊ニ日用品ノ賣價ヲ調査シテ時々之ヲ發表ス現內閣ハ一層此ノ點ニ注意スルモノヽ如ク最近ニ麵麭ノ價格ノ高キニ失スルヲ見テ之ヲ調査シ其ノ結果ヲ公表シタリ但シ其ノ調査機關ハ官設ニアラスシテ私立ニ成ルモノナレトモ實際頗ル有力ニシテ相當ナル價格指定ニ於テ常ニ成功セリト云フ其ノ他公設市場ノ設置亦暴利抑制ノ一方法ナルモ我國現在ノ施設ニテハ未タ滿足スル能ハス市場ノ規模ヲ大ニシ範圍ヲ擴張シ小賣商品ノ價格ヲ出來得ル限リ引下クルト共ニ廣ク其ノ價格ヲ公示シ以テ公衆ノ利便ヲ計ルヘキモノトス

第四項　運送機關ノ改善

(一)鐵道ノ改善

商品ノ價格ニハ其ノ原料及製品ノ運送費ヲ包含シ殊ニ重量又ハ容積ノ大ナル貨物ノ價格ニハ多分ノ運送費ヲ包含スルカ故ニ物價ト運送費トノ關係密接ナルコト言ヲ俟タス現時世界ノ製造業者カ原料ノ採取又ハ製造上便利多キ土地ニ工場ヲ置カントスルノミナラス工場地ト販賣地間ノ距離ヲ近邇セシメテ運送費ヲ低減シ以テ商品ノ價格ヲ低下セントコトニ努ムルハ之カ爲ナリ然ルニ我國ノ運送機關ハ今尙ホ甚タ不備ニシテ運送費ハ不廉ヲ極メ之カ爲ニ生產品ノ價ヲ高クシテ貿易上多大ノ不利ヲ免レス且國民生活ノ安定ヲ脅威スルコト亦少カラス

運送費不廉ノ原因ハ鐵道ノ不整備、海陸ノ聯絡及水運利用ノ缺陷、竝ニ小運送業ノ渾沌タル情態以上三者ニ之ヲ區別スヘシ先ツ鐵道業ヲ觀ルニ全國鐵道ノ幹線ヲ占有スル我國有鐵道ハ近年著シク發達シタルカ如ク見ユト雖モ主要幹線ノ輸送能力ノ充實ヲ措テ山間ノ枝線ニ過當ナル資力ヲ費スノ非難ヲ免レス例ヘハ山陽九州東北線等ノ幹線ヲ今猶ホ過半單線ノ儘ニ放棄シナカラ僻地ニ多クノ新線ヲ敷設シツヽアルカ如キハ本末錯誤ノ最モ著シキ實例ニシテ是レ多クハ政黨專橫ノ結果ナリトス之カ爲ニ一面ニハ資本ヲ浪費シテ國民ハ無益ノ負擔ヲ爲シ他面ニハ重要線路ニ貨物ノ滯積ヲ來タスモ之ヲ輸送スルノ力ナク財界不況ノ際ニ運賃ヲ引上ケテ收入ノ不足ヲ補ハントスルノ愚擧ヲ敢テ斷行スルニ至レリ

國有鐵道ヲ以テ特別會計ヲ組織スルノ結果トシテ不知不識鐵道自體ノ收支ヲ專ラ顧慮スルノ傾向ヲ生シ國家産業ノ消長ニ直接且至大ノ關係アル運賃殊ニ原料及生産品ノ運賃ノ低下ヲ十分ニ顧念スルノ暇ナキニ至レルヲ遺憾トス元來國家ノ産業政策ヲ基調トシテ運賃ヲ定ムヘキコトハ實ニ鐵道國有ヲ決行シタル一大理由ナリシニ今日ニ至リテハ全然之ヲ忘レタルモノヽ如シ誠ニ慨嘆ニ堪ヘサルナリ

本會ハ曩ニ特別會計ノ整理ヲ決議シタルカ國有鐵道特別會計ハ實ニ其ノ筆頭ニ列スヘキモノナリ又不急ノ地ニ鐵道ヲ敷設スルノ非ナルモ亦本會ノ指摘シタル所ニシテ當局者ハ宜シク鐵道ノ現狀ニ鑑ミ生産ヲ本位トスル輸送方法ノ改善ヲ行ヒ以テ運送費ノ低廉就中貨物運賃ノ低減ヲ謀ルヘシ

（二）海陸聯絡ノ改善及內地水運ノ利用

貨物ノ輸送能力最モ多ク從テ廉價ナルハ海運ノ右ニ出ツルモノナシト雖モ海陸ノ聯絡不完全ナル時ハ積込、水揚、艀賃等ニ失費多クシテ全運送費ヲ增加ス其ノ一例ヲ擧クレハ門司ヨリ東京ニ輸送セラルヽ砂糖ノ如キ其ノ船賃ハ鐵道賃金ヨリモ遙ニ安價ナレトモ其ノ積込諸係費高價ノ爲ニ結局鐵道便ニ由ル費用ト大差ナシト云フ其ノ他海陸聯絡不備ノ爲ニ海運ニ由ラスシテ止ムナク不廉ナル陸運ニ由リ從テ價格ノ騰貴ヲ來ス貨物少カラス米穀ノ如キ其ノ實例ナリ

港灣ノ修築、岸壁ノ完成、積込及水揚機械ノ設備、船舶ト汽車トノ聯絡設備等ニヨリ海陸ノ聯絡ヲ改善シ海運ノ便ニ由リ得ルモノハ成ルヘク之ヲ利用シテ以テ運送費ノ節約ヲ計ルヘシ

次ニ河川ノ利用ハ輸送上便利多キコト古來實驗セラルヽ所ナリ概シテ水運々賃ハ陸上運賃ノ半額以內ナルヲ常トス近來水運ノ退步セルハ一般ニ陸上運送ニ偏重スルノ結果河川ノ浚渫ヲ怠リ曳船作業ヲ等閑視スルニ基因ス故ニ水運ノ利用ヲ獎勵スルノ必要アルト共ニ積載量百噸以上ノ艀舟ノ通航ヲ容易ナラシムル爲ニ或ハ河底ヲ浚渫シ或ハ橋臺ヲ高クスヘシ百噸積ノ艀舟ハ大約荷馬車八十車ニ匹敵スルヲ以テ大型艀舟ノ通航ヲ自由ナラシムルコトハ輸送能率ヲ增進シ運賃ヲ低減スルノ効果大ナルヘシ之ニ關聯シテ河岸ノ物揚場ヲ改良シ又ハ增設スルハ亦必然ノ施設ナリトス

（三）小運送方法ノ改善

國內各地ニ於ケル小運送方法ノ現情ハ最モ幼稚ニシテ驚クヘキ原始情態ヲ今猶ホ存續實行シ居ルカ爲ニ費用ヲ增シ時間ヲ失ヒ物價ノ低下ヲ妨ケツヽアリ實ニ一般物價ノ中ニ包含セラルヽ運送費中ノ大部分ハ小運送費ナリト稱スルモ過言ニアラス今之ヲ證明スル爲ニ生産業者ヨリ販賣市場ニ至ルマテノ運送費ニ關スル當業者ノ調査中ヨリ二三實例ヲ拔萃センニ千葉驛ヨリ兩國驛（距離二十二哩）ニ小麥粉ヲ送ルニ當リ鐵道運賃ノ二圓八十五錢ニ對シ發着地雙方ノ小運送料金合計ハ四圓四十錢ナリ次ニ仙臺驛ヨリ隅田川驛（距離二百十八哩）ニ麥酒ヲ送ルニ鐵道運賃五圓九十五錢ニ對シ小運送料六圓九十錢ニシテ小運送料ハ大運送費ニ對シテ猶ホ高位ニ在リ又青森驛ヨリ隅田川驛（距離四百五十八哩）ニ新聞用紙ヲ送ルニ鐵道運賃六圓八十九錢ニ對シ小運送料六圓八十七錢ニシテ大小運送費カ始メテ相半ハスルニ至ルノ狀況ナリト云フ

小運送費ノ不廉ナル原因ヲ究メテ其ノ改良方策ヲ講スレハ先ツ現在ノ小運送制度ノ不備ヲ擧ケサルヲ得ス現今ノ自由營業制度ハ競爭ニヨリ斯業ノ發達ヲ期スルモノナルモ事實ハ之ニ反シ資力乏シク信用薄キ無數ノ小運送業者カ各地ニ散在シ不正行爲ハ各所ニ行ハレ荷主ニ損失ヲ及ホスコト多シ故ニ之ヲ革正シ少數ノ大運送營業ニ統一シ且相當ノ監理方法ヲ設クルノ必要アリ次ニ鐵道各驛ノ積卸及其ノ搬出入ニ關スル諸設備ヲ實質的ニ改善擴張スヘシ各都市ノ道路ヲ改善シ鋪裝ヲ完全ニシ橋梁ノ負荷力ヲ增加スヘシ小運送用ノ車輛及馬匹ヲ改良スヘシ貨物自動車ノ使用ヲ獎勵シ其ノ關税及公課ヲ輕減スヘシ其ノ他施

設ヲ要スルモノ多ク小運送ノ情態ハ我國産業ノ發達ニ比シ著シク後レタルタケ改善ノ餘地最モ大ナリ

全國民カ小運送ノ爲ニ幾何ヲ消費スルヤ之ヲ算定スルコト固ヨリ容易ナラサレトモ斯業權威者ノ言ニ據レハ其ノ金額ハ一ケ年無慮二十一億圓ナルヘシト云フ之ヲ全國官私鐵道ノ貨物收入一ケ年二億圓内外ニ對比スルモ小運送費カ經濟上重要ナルコト明白ニシテ其ノ改善ノ如何ハ直接物價ノ高低産業ノ興廢ニ影響シ國民ノ生活ニ至大ノ交渉ヲ有スルコト言ヲ俟タサルナリ

第五項　金融組織竝ニ機能改善

(一)銀行組織ノ整備

金利高率ナルコトカ我産業界不振ノ最大原因ノ一ナルコトハ説明ヲ爲スヘク餘リ明白ナリ但シ最近稍低落ノ趨向ヲ示セリト雖モ前途大ナル低下ヲ望ムコト猶ホ困難ナルモノヽ如シ

之カ主因ハ金融ノ疏通圓滑ナラサルカ爲ニシテ更ニ深ク究ムレハ金融界ノ血脈ト視做スヘキ一般金融機關竝ニ其ノ中樞タル日本銀行ニ於テ共ニ其ノ組織ニ缺陷アルニ基ケリ故ニ現情ヲ改善シテ金利ヲ低位ニ導ク爲ニハ先ツ根本的ニ銀行組織ノ整備ヲ行ハサルヘカラス此ノ問題ニ包含セラルヘキモノハ日本銀行ノ組織ヲ變革シテ一般金融機關トノ關係ヲ改善スルコト、普通銀行ノ合同、長期金融機關ノ統一及全版圖内發行權ノ統一等トス以下其ノ大要ヲ説明セントス

日本銀行カ金融界ニ於ケル過去ノ功勞ニハ敬意ヲ表スト雖モ現在ノ組織ニテハ健康體ニ於ケル心臟カ血脈ニ對スルカ如キ圓滑且敏捷ナル動作ヲ以テ一般金融機關ヲ援助シ金融ノ疏通ヲ自由ニスルコト困難ナリ元來同行ノ如キ株主銀行カ内地唯一ノ發券銀行卽チ準備銀行トシテ立ツコトハ既ニ不條理ニシテ之ヲ國營トスルヲ當然トス唯五十年ノ古キ歴史ヲ有シ信用ヲ累積シ來レル現時ノ日本銀行ヲ根本的ニ改革スルハ事固ヨリ容易ナラス然リト雖モ永ク現情ニ滿足スルヲ得サルヲ以テ之カ組織ヲ變更シ一般金融機關トノ聯絡ヲ整備スルト同時ニ其ノ責務ヲ擴大シテ其ノ機能ヲ發揮セシムルコト緊要ナリ

次ニ必要ナルハ普通銀行ノ合同ナリ小銀行ノ分立ニハ信用ノ薄弱、持久性ノ缺乏、總係費ノ比較的膨脹等ノ弊害アルヲ以テ相互ニ合同スルカ又ハ大銀行ニ併合シテ以テ産業界ニ於ケル合同ノ大勢ニ追隨スヘキナリ近來政府ノ慫慂又ハ當業者ノ自發ニヨリ合同ヲ實行スルモノ尠カラスト雖モ全體ヲ通觀スル時ハ其ノ進捗猶ホ遲々ト稱スヘシ貯蓄銀行及信託會社ニ對スルカ如ク普通銀行ニ對シテモ亦法規ヲ以テ資本ノ最小限度ヲ設ケ一定年限内ニ實行セシムルコト合同促進ノ一法ナリ大藏省及日本銀行共ニ宜シク合同ノ順序方法ニ關シ考査ヲ遂ケ一層ノ努力ヲ以テ之カ機運ヲ助成スヘシ

長期金融機關ノ統一モ亦必要ナリ日本勸業、日本興業及各地農工銀行ハ農業又ハ工業ニ對スル金融機關トシテ創設セラレシカ此外ニ北海道拓殖及朝鮮殖産銀行アリ何レモ特殊ノ目的ヲ有スト雖モ或ハ全然重複ノ業務ヲ爲シ相互ニ領域ヲ侵蝕シ更ニ普通銀行ノ業務ヲモ營ムノ實情ナリ而モ是等長期金融機關ノ間ニハ何等統一ナク聯絡ナクシテ有無相補濟セス危急ニ際シ相援助スルノ準備モナシ故ニ是等類似ノ銀行ヲ統一シテ一ハ以テ債券ノ發行ヲ容易ニシ一ハ以テ長期資金ノ金利ヲ低下スルニ努ムヘシ

又長期金融機關カ長期融通ヲ爲ス方法ニモ種々改良ノ餘地アリ英國ノ銀行カ取引先ナル工業會社ニ與フル融通方法ノ如キ又米國聯邦土地銀行竝ニ農業地金融組合ノ貸付方法ノ如キ大ニ參考ニ値ス要スルニ工業會社ト金融機關トノ關係ヲ密接ニスル爲ニ一段ノ努力ヲ冀望ス

最後ニ植民地銀行ト視做サル、朝鮮臺灣兩銀行カ各新版圖内ニ於テ特別ノ發行權ヲ有シテ之ヲ利用スルト同時ニ日本銀行兌換券モ亦此ノ地ニ流通シ二樣ノ紙幣ヲ有スルコトハ嘗テ我國カ斷行シタル幣制整理ノ精神ニ背違スルモノナリ朝鮮臺灣共ニ

政治上安定シ行政事務モ內地ト密接ニ赴キタル今日ハ幣制ヲ統一スルモ何等ノ支障ナク速ニ之ヲ日本銀行兌換券ニ統一スルヲ可トス朝鮮臺灣兩行ニ與ヘタル特權ヲ剝奪スルカ如キモ之ニ對シテハ別ニ代償ヲ與フレハ可ナリ

(二)銀行滯貸ノ整理

各地銀行中商工業挫折ノ餘波ヲ受ケ又ハ自己ノ不注意ニヨリ多額ノ滯貸ヲ生シタルモノ枚擧ニ遑アラス而シテ其ノ大部分ハ整理未了ノ儘歲月ヲ經過シ損失ニ屬スヘキモノヲ資產中ニ計上シ表面ハ計算ノ辻褄ヲ合ハスモ內容ハ大ナル損傷ヲ包藏セリ今日銀行ノ貸付金カ預金ニ比シ猶ホ遙ニ超過セルハ此ノ事實ノ一端ヲ證明スルモノニシテ滯貸ニ對スル利息ヲ元本ニ累加スルモノ多額ニ上ルノ結果ニ外ナラス殊ニ是等利息ヲ收益中ニ計算シテ配當ヲ繼續セントスルハ益々內容ヲ惡化スルノミニシテ其ノ職能タル產業扶植ノ資格ナク實力ナキモノナリ此ノ種不良ノ金融機關カ各處ニ存在スル限リ金融ノ圓滑ハ固ヨリ望ムヘカラス

之ヲ整理スルノ方法ハ唯斷乎トシテ滯貸ヲ切落スニアリ之カ爲ニハ或ハ減配又ハ無配當ヲ必要トシ或ハ減資ヲ必要トス成ルヘクハ是等銀行カ自發的ニ整理ヲ斷行スルヲ希望スト雖モ若シ不可能ナル場合ハ政府ニ於テ手ヲ下スヲ可トス政府ハ法規上銀行監督ノ權能ヲ有シ常ニ檢査ヲ實行スト雖モ從來ノ檢査ハ往々不備ニシテ急所ニ觸レサルノ憾アリ故ニ適良ナル檢査官ヲ任命シ十分ナル檢査ヲ勵行シテ不良貸金ノ整理ヲ促進シ減資、減配又ハ無配當等其ノ症狀ノ輕重ニ應シテ處理セシムヘシ玉石ヲ辨別セスシテ一率ニ減配ヲ慫慂スルカ如キ皮相的ノ方策ハ用ヒサルノ愈レルニ如カス

(三)預金部、特種銀行及特種會社ノ徹底的整理

政府ハ最近ニ預金部ノ制度ヲ改メ又特種銀行ノ整理ヲ斷行シ或ル程度マテ改良スル所アリシモ整理ノ尙ホ不徹底ニシテ後患ヲ貽スモノ少カラサルヲ遺憾トス本會ハ曩ニ預金部ノ改造ニ關シ意見ヲ發表セシカ本會ノ主張スル如ク全然獨立ノ機關タラシメ以テ其ノ資金ヲ不確實ナル方面ニ投下スルノ宿弊ヲ根絕スヘシ現制ノ下ニテハ諮問機關ノ設置ニヨリ公正ナル裁斷ヲ得ル如ク認メラルト雖モ實際ハ形式的ニ偏シ易ク政府當局ノ意志ニ追隨スルノ傾向ナシトセス將來當局者ノ更迭ニ伴ヒ或ハ再ヒ濫用セラルヽコトナキカ猶ホ不安ノ念ヲ禁スル能ハス

特種銀行ノ整理ニ至リテハ外觀大英斷ヲ施セルカ如キモ果シテ根本的ニ腐朽ヲ滌除シ前途健全ニ復スヘキヤ疑ナキ能ハス株主ニ對スル配當ノ減少ヲ恐レ姑息ナル整理ニヨリ社會ノ耳目ヲ蔽フ如キコトアラハ他日禍根再ヒ蔓生シテ整理ヲ繰返ヘスノ必要ニ迫リ累ヲ金融界ニ及ホスヘシ元來特種銀行ノ多數併存スルコトハ金融政策ノ上乘ナルモノニアラス或ハ政府ノ保護ヲ恃ミテ經營不注意ニ流レ或ハ當局ノ意志ヲ迎合シテ方針ヲ誤ルコト其ノ實例ナシトセス是レ特ニ考慮ヲ要スルコトニシテ根本的ニ特種銀行ノ制度ヲ革新シテ之ヲ統一スヘシトノ說識者間ニ行ハルヽモノ決シテ理由ナシトセス

又政府ノ保護ヲ受クル特種會社ニシテ狀態不良ナルモノアリ是亦特種銀行ト同一ノ理由ニヨリ之カ改造ヲ斷行スヘシ

(四)健全ナル信用取引ノ誘發

資金ノ取引ハ一般商業取引ト同シク信用ノ發達ニヨリ始メテ圓滿ニ行ハルヽコト言ヲ俟タサル所ニシテ信用ハ實ニ銀行業者ノ生命ナリト稱スヘシ歐米銀行業者ト顧客トノ間ニ於ケル信用ノ發達ハ實ニ驚歎ニ値ス飜テ我銀行業ヲ見ルニ信用ノ發達ハ預金貸金等ノ計數激增ニ伴ハスシテ取引先ハ銀行ヲ信用セス銀行ハ取引先ヲ信用セス更ニ銀行相互間ニ於テモ常ニ疑惑ヲ抱クコトハ誠ニ慨歎ニ堪ヘス金融ノ疏通圓滑ヲ缺キ從テ金利低落セサルコト亦之ニ基因ス思フニ我國ノ信用幼稚ナルコトハ商

業道徳ノ進歩遅々ニシテ背信ノ行爲多キト概シテ證書文言ニ重キヲ置クノ致ス所ナルヲ以テ根本的ニ教育ニ力ヲ用ヒ思想ヲ善導スルノ要アリト雖モ現時銀行業者カ信用取引誘發ノ爲ニ積極的態度ヲ取ラサルコト亦障碍ノ一ナルヲ以テ銀行ノ心掛及經營振ノ改善ハ亦以テ信用取引ノ促進ニ資スヘシ之ニ關シ現時ノ缺點ヲ指摘シ數個ノ改良方法ヲ擧クレハ左ノ如シ

甲、信用調査ノ改善　銀行ハ取引先ノ信用ヲ調査スルニ或ハ興信所ニ依賴シ或ハ自ラ調査機關ヲ置クヲ常トスルモ興信所ノ信用報告ハ往々鮮明ト誠實ヲ缺キ又銀行内ノ調査モ不備ノ爲ニ貸出ヲ誤ルコト尠シトセス其ノ結果當業者ハ神經過敏トナリ信用取引ノ發達ヲ抑止スルコト多シ

乙、信用識別ノ必要　銀行カ取引先ノ勸誘ニ熱中スルノ餘リ信用薄弱ナル者ト輕々シク取引關係ヲ結フ弊アリ是等取引先カ失態ヲ起スノ結果ハ羹ニ懲リテ膾ヲ吹クノ譬ノ如ク信用アル取引先ニ對シテモ疑惑ヲ抱クコト尠カラス畢竟信用ヲ重視セス玉石ヲ混淆スルノ招致スル所ナリ

丙、熟練ナル行員ノ養成　行員ノ擔任事務ヲ屢變更スル爲ニ行員ニ事務熟達ノ暇ヲ與ヘス殊ニ取引臺ノ前ニ立ツ行員カ顧客ノ實情ニ通セサルカ爲ニ適當ナル判斷ヲ爲スヲ得ス又ハ其ノ感情ヲ害スル場合多シ歐米ノ銀行員カ多年顧客ト近接シ其ノ内情ニ精通スル爲ニ取引ノ圓滑敏捷ナルコト取テ以テ模範トスヘシ

丁、信用作興ニ關スル銀行ノ協力　銀行相互間ニ於テ信用作興ノ觀念ハ近來概シテ退歩ノ形跡アリ我國ニテハ取引先ハ往々多數ノ銀行ニ關係アルカ故ニ銀行間ニ於テ聯絡ヲ通シ例ヘハ一商人ノ債務現在總額ヲ相互ニ通知スルカ如キ最モ必要ナリ不渡手形ヲ出シタルモノニ對シ取引停止處分ヲ爲スハ信用擁護ノ一方法ナレトモ破綻暴露ノ後ニ於テハ事既ニ晩シ宜シク事前ニ於テ聯絡ヲ保チ信用作興ニ盡力スヘシ

以上ハ何レモ實行シ易キモノニシテ銀行トシテ當然爲スヘキコトヽス殊ニ中央銀行トシテ一般銀行指導ノ任ニ在ル日本銀行ハ率先シテ健全ナル信用取引誘發ノ爲ニ大ニ努力スヘシ

第六項　行政財政ノ整理續行

本會ハ曩ニ行財政ノ整理續行ヲ決議シタルカ其ノ詳細ノ理由ハ前回報告中ニ詳説シタルヲ以テ之ヲ繰返サスト雖モ本項ハ國際貸借ノ改善竝ニ生産費ノ低減ト密接ノ關係ヲ有スルヲ以テ重ネテ之ヲ提出シタリ蓋シ政府ハ全國第一ノ消費者ニシテ政費ノ大部分殊ニ軍事費ハ不生産的ニ消費セラルヽヲ以テ之カ緊縮節約ハ貿易及生産事業ニ對スル抑壓ヲ緩和スルコト大ナリ斯ク言ヘハ本項ハ只消極的ニ貿易及産業ノ振興ニ資スル如ク見ラルヽモ節約ノ結果國民ノ負擔ヲ輕減シテ餘力ヲ生産ニ用ヒシメ又國債ヲ償却シテ金利ノ低落ヲ招クニ於テハ有力ナル積極的方策タルヘシ故ニ政費ノ緊縮就中軍備ノ縮少ヲ續行シ必ス公課ノ輕減國債ノ償却ヲ見ルニ至ラサレハ已ムヘカラサルモノトス

嘗テ山本内閣成立ノ當時緊縮ニ關シ十數項ニ亘レル訓令ヲ下シ又加藤（高明）内閣モ一昨年亦十餘條ノ訓令ヲ發布シタリ何レモ政費ノ各般ニ亘リ周密ヲ極メタルモノニシテ中央地方官衙共ニ是等訓令ヲ勵行シタランニハ緊縮ノ進捗見ルヘキモノアリシナランモ言行ノ間ニ猶ホ大ナル距離アルヲ恨トス且既往十年間ニ於テ地方政費ノ膨脹最モ急激ナルモノアリ國民ヨリ見レハ政費ハ中央ト地方トノ別ナク同シク負擔ニ歸スルヲ以テ同一ノ注意ヲ以テ之ヲ監視スヘキニ拘ハラス往々彼ニ寛ニシテ此ニ嚴ナルハ權衡ヲ失フヲ以テ此ノ際地方財政ニ對シテモ徹底的整理ヲ要求セサルヘカラス近來財界ノ稍囘復セルヲ見テ早クモ積極的方針ヲ希求シ又農村景氣ノ好轉ニヨリ再ヒ地方政費膨脹ノ趨向ヲ招クカ如キハ最モ憂慮ニ堪ヘス諺ニ曰ク百里ヲ行クモノハ九十里ニ半ハスト我行財政整理ノ前途猶ホ遼遠ニシテ更ニ一段ノ奮勵ヲ要スヘク今ニ於テ弛緩ヲ生スルカ如キハ餘リニ輕佻タルヲ免カレス

政費節約ノ爲ニ行政組織ノ改善及執務振ノ改良ヲ併行スルノ要アリ之ニ關スル政府ノ努力ハ未タ世人ノ期待ニ副ハス又本會カ曩ニ首唱シタル財政組織ノ根本的革新ハ必ス實現ヲ要スルモノニシテ就中左ノ諸項ハ最モ重要ナリ

甲　歳出入ノ正確ナル均衡ヲ保ツコト

乙　國庫剰餘金ハ總テ公債銷却ニ充當スルコト

丙　豫備費ヲ增額シ以テ責任支出ノ弊ヲ杜絶スルコト

理由ハ既ニ詳說シタルヲ以テ之ヲ省略スルモ是等ヲ實行スルニアラサレハ政費ノ徹底的節約ハ企圖スルヲ得サルコトヲ茲ニ言明ス

第七項　官業ヲ民業ニ移スコト

前項ニ於テ製鐵所ヲ民間ノ合同會社ニ貸渡スコトヲ說キタリ此ノ以外政府ノ經營スル生産事業猶ホ多キモ其ノ大部分ハ何レモ年ヲ期シテ民業ニ移スヘキモノナリ本件ニ關シテハ嘗テ本會ニ於テ之ヲ決議シタルモ産業振興ト至大ノ關係アルヲ以テ茲ニ之ヲ再記シ其ノ實現ヲ熱望スルモノナリ

抑モ産業カ尙ホ幼稚ナル時代ニ或ル緊要事業ニ對シ民間資本家カ未タ手ヲ染ムル能ハサル時ニ於テ政府カ代リテ之ヲ計畫スルコトハ已ヲ得スト雖モ斯カル過渡期ハ既ニ經過シ政府ハ唯民間ノ事業ヲ指導シ監督スルヲ以テ職能トスヘキ今日ニ在テハ現ニ官營ニ屬スルモノヲ盡ク民營ニ移スヲ至當トス是レ民間ト同一事業ヲ營ム時ハ民業ヲ援助スヘキ任務ノ外ニ奔逸シテ民業ト競爭スルノ地位ニ立ツヲ以テナリ勿論有力ナル政府之ヲ經營シ租税ノ賦課ナク資本ニ對スル利息ノ支拂ナク其ノ營業費ノ大部分ハ豫算ニ因テ定メラレタル政費ノ支出ニ仰クヲ以テ民間同業者ハ之ニ對抗シ得ヘキ道理ナクシテ其ノ結果ハ民業ニ對シ禁止的壓迫ヲ爲スモノナリ是レ官業ヲ民業ニ移スヘキ理由ノ一ナリ

官業ナルカ故ニ事業ハ發達スヘキカト云フニ決シテ然ラス右ノ如ク金利及租税ヲ負擔セス經費ハ豫算ヲ以テ支出セラルヽカ故ニ事業經營ニ對スル實際ノ損益明白ナラス事業ニ彈力性乏シク從事者ノ奮闘力稀薄ナルヲ免カレス故ニ官業ハ冗費多クシテ能率擧ラサルヲ常トス且經營ノ局ニ當ルモノハ一定ノ俸給ノ下ニ使用セラルヽ官吏ナルヲ以テ幸ニ人格者ヲ得ル時ハ事業ニ對スル責任觀ハ之レ無キニアラサルモ猶ホ民間事業家カ事業ノ消長盛衰ノ影響ヲ直接自家頭上ニ受クルトハ同日ノ論ニアラス若シ經營者其ノ人ヲ誤ラハ或ハ奸商ノ乘スル所トナリテ不正續出シ或ハ政黨ニ利用セラレテ政治ヲ腐敗シ其ノ弊ニ堪ヘサルモノアルヘシ是レ官業ヲ民業ニ移スヘキ理由ノ二ナリ

官業中ニハ現ニ利益ヲ收ムルモノナキニアラサルモ大抵收支相償ハスシテ其ノ損失ハ間接ニ國民ノ負擔ニ歸ス今之ヲ民營ニ移スモ必スシモ利益ヲ擧ケ難ク或ル時期ノ間補助ヲ與フルノ必要アル事業之レアルヘシト雖モ之ニ要スル支出ハ必ス現在ヨリ減額シ同時ニ其ノ効力ハ必ス大ナルヘシ是レ官業ヲ民業ニ移スヘキ理由ノ三ナリ

官業整理ノ聲ハ漸次有力者間ニ唱道セラルト雖モ當局者斷行ノ勇氣ニ乏シキヲ遺憾トス事業ノ性質ニヨリ直ニ實行シ難キモノハ別ニ過渡方法ヲ設ケ或ル年限ノ後ハ純然タル民營トスルヲ以テ適當トスヘシ

第八項　實業教育ノ刷新

教育當事者カ教育ノ方針ヲ誤リ人物ノ養成ヲ疎漫ニスルコトハ一大缺點ニシテ根本的改革ヲ要スト雖モ差當リ必要ナルハ實業教育ノ刷新是ナリ卽チ智識ノ開發往々理論ニ趨キテ實際ニ疎ク學者ヲ作ルニ傾キテ實務家ヲ鍛成スルコト尠キハ現時教育界ノ通弊ニシテ從テ世ニ出タル後モ唯机上ノ空論ニ巧ニシテ實用ニ適セサルモノ多シ是レ教員其ノ人ヲ得サルコト亦一因ナ

リト雖モ主トシテ教育方法カ徒ニ注入ヲ事トシ實物ニ觸ルヽノ機會ヲ與ヘサルニ因レリ産業ノ眞正ナル發達ニハ剛健著實ナル人物之カ經營ニ當ルノ必要アルト同時ニ實生活ニ適シ實際的ノ頭腦ヲ具フルニアラサレハ成功ヲ見難シ故ニ濫リニ修業年限ヲ長クシ高尙ナル學理ヲ授クルヨリハ實業教育卽チ實業補習學校商工學校等ノ增設及刷新ニ力ヲ注キ實際的人物ノ養成ニ努メ卒業生カ社會ニ出ツレハ直ニ實用ニ應シ得ルコトヲ以テ目的トスヘシ

然レトモ雇用者タル實業當事者ニ於テモ此ノ精神ヲ以テ人ヲ遇セサルヘカラス由來學校卒業者ノ採用ニ當リ竝ニ爾後ノ拔擢ニ至ルマテ其ノ出身學校ト學業成績ニ重キヲ置キ著シキ差格ヲ置クハ現時ノ實業界ニ於ケル弊習ニシテ是ハ從業者ノ發奮ヲ抑止シ有能者ノ進路ヲ塞クヲ以テ結局自家事業ノ不利ヲ招クモノナリ宜シク反省ヲ加ヘ性格ノ良否實際ノ力量及執務上ノ實績ヲ以テ銓衡及黜陟ノ標準トスヘシ自然ニ教育當事者ヲ誘發シ之ニ適應スル爲ニ教育方針ヲ革正セシムルニ至ルヘシ凡ソ是等ノ事タル急速ニ効果ヲ來スモノニアラスト雖モ著々實行スルニ於テハ漸次勢力ヲ增殖シ産業振興ノ根柢ヲ形成スルコト固ヨリ疑ヲ容レサルナリ

本會ハ當問題ヲ研究スルニ當リ内外ノ著書ヲ參照シタル外各種ノ專門家ヲ聘シテ其ノ意見ヲ聽キ公平ノ結論ヲ得ルニ努メタリ其ノ氏名ハ玆ニ掲記セサルモ本報告ノ是等諸君ニ負フ所多キヲ附言シ感謝ノ意ヲ表ス

經濟攻究會會員（イロハ順）

岩佐珵藏
池田成彬
石橋湛山
西尾豐
西野惠之助
伯爵 堀田正恒
星島二郎
岡實
大口喜六
若槻禮次郎
渡邊鐵藏
川上直之助
田中鐵三郎
田中次郎
辻村楠造
名取和作

長島鷲太郎
植村俊平
山田英太郎
山口堅吉
山口喜三郎
町田忠治
增島六一郎
福田美知
小林正直
江口定條
有賀長文
明石照男
結城豐太郎
水町袈裟六
志立鐵次郎
志村源太郎

經濟攻究會

假事務所　東京市京橋區南鍋町一丁目八
電話銀座一六六八番